

総合研究

第 10 号

2022 年 3 月

講演録

成島出監督×新総合研究センター長 道端忠孝・ご対談

成 島 出

どうなる日本の政治

橋 本 五 郎

2020年の日本を振り返って！
— まさかの1年だった・・・—

福 岡 政 行

2021年の日本を展望する！？
— オリンピック中止か・・・—

福 岡 政 行

コロナ禍と日本の政治・経済
— ポスト菅政権の人材不足 —

福 岡 政 行

解散総選挙
— どうなる政界地図 新総理は？ —

福 岡 政 行

研究論文

大学生の散文理解による再帰性の理解
— 2次的誤信念理解と類推を規定する作業記憶 —

光 田 基 郎

漱石文学における結婚と離婚—所有と愛をめぐる—

橋 元 志 保

いじり、助言、陰口、愚痴、我慢における
行動選択と効果の認識との関連

瀧 澤 純

目 次

講 演 録

成島出監督×新総合研究センター長 道端忠孝・ご対談	成 島 出 (1)
どうなる日本の政治	橋 本 五 郎 (9)
2020年の日本を振り返って！ — まさかの1年だった・・・ —	福 岡 政 行 (31)
2021年の日本を展望する！？ — オリンピック中止か・・・ —	福 岡 政 行 (43)
コロナ禍と日本の政治・経済 — ポスト菅政権の人材不足 —	福 岡 政 行 (57)
解散総選挙 — どうなる政界地図 新総理は？ —	福 岡 政 行 (69)

研究論文

大学生の散文理解による再帰性の理解 — 2次的誤信念理解と類推を規定する作業記憶 —	光 田 基 郎 (79)
漱石文学における結婚と離婚 — 所有と愛をめぐる —	橋 元 志 保 (93)
いじり、助言、陰口、愚痴、我慢における 行動選択と効果の認識との関連	瀧 澤 純 (115)

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「成島出監督 ×
新総合研究センター長
道端忠孝・ご対談」

講師 映画「いのちの停車場」監督

成 島 出

司会 ノースアジア大学 総合研究センター長
ノースアジア大学 法学部教授

道 端 忠 孝

日時 令和3年5月10日 午後1時50分～2時30分

会場 秋田市文化会館

道 端 こんにちは。これより、令和3年度ノースアジア大学総合研究センター主催、前期公開講座を開催いたします。この前期公開講座にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日が前期公開講座の1回目となります。成島出監督と私との対談及び東映映画「いのちの停車場」の特別先行上映会となります。

この特別先行上映会は、東映株式会社並びに同社手塚治社長のご好意によるものでございます。深く感謝申し上げます。

それではご登場いただきましょう、成島出監督です。大きな拍手でお迎えください。

本日は秋田においでいただき、誠にありがとうございます。まず始めに、お越しくださった皆様にご挨拶をいただけますでしょうか。

成 島 秋田の皆様、こんにちは。「いのちの停車場」監督の成島出です。本日は本当にありがとうございます。東京は今コロナで大変なことになっていまして、これも5月21日に公開予定ですが、劇場が東京は開かない状態なので、5月いっぱいには延期となり6月からの公開となります。そんな中、本日は秋田の皆さんに観ていただけることを本当にうれしく思っています。本日は楽しんで下さい。

道 端 ありがとうございます。どうぞおかけください。

それでは、お話を聞いてまいります。今日はノースアジア大学明桜高等学校の生徒がたくさん会場に来ています。普段なかなかお聞きすることができない貴重なこの機会に、まずは映画監督について、ご質問をさせていただきます。ズバリ、映画監督になるために必要な「学び」について、お聞かせいただければと思います。

成 島 はい、「学び」と言ってもなかなか難しいんですけども、僕の場合は41才で映画監督になりました。と言うのも、皆さんと同じ高校生の頃は本当に進路に悩んで、高校時代は映画に目覚めていなかったもので、将来はどんな生き方をすれば自分が幸せになれるのか、全くわかりませんでした。私は山梨県甲府市の山の中で育ったんですけど、東京では映画館で3本立ての映画が500円で観れることを知って、あまり学業にも精を出さずに映画館に通い詰めるようになり、そして23才の時に初めて自主映画を撮って、大島渚監督の推薦でこの世界に入ったんですけど、27才の時に助監督の一番下でカチンコをたたきました。ただ、それからすぐ監督にはなれなくて、31才でようやく脚本家になって、そこから脚本を書くようになり、ようやく生活ができるようになりました。それまではずっとバイトをしながら助監督を続けていました。でも脚本家になってもなかなか安定はしなくて、バイトをしながら脚本を書く生活が続く、

ようやく監督になったのが41才の時です。

ですので、皆さんに「学び」として伝えられることは一つもないんですが、ただ映画の場合、一つの答えを簡単に出せずにうろうろするというのがまさに映画の作り方そのものだと思っています。そういう意味では、皆さんにヒントを言えるとすれば、今すぐ焦らなくても、必ずどこかにゴールはあると信じて頑張ってもらいたいと思います。僕の場合は20代でデビューした同じ仲間も結構多いですけど、今はこうなって見ると41才の監督デビューというのはかえって良かったなと思います。今はすごく映画を楽しむことができていますので、若い子たちは、そんなに焦らずに遠回りしてもいいんじゃないかと、僕は経験上そう思います。

道 端 どうもありがとうございます。映画監督として、やりがいを感じるのはどんな時でしょうか？

成 島 はい、今言ったように僕は割と一人で作業してきたんですけども、脚本家も一人で、ただ映画監督はその仲間が集まって皆で一つのものを作ろうと、一つの目標に向かって行くという集団作業によるチームワークは、やりがいがあります。今日も皆さんに映画を観ていただきますが、最後のローリングではものすごい数の人数が出てきます。あれは2ヶ月くらいで集まり、そして散っていくというのがやりがいと言うか、映画の醍醐味だなと思っています。

道 端 ありがとうございます。これまで長い間撮影してこられたと思うんですけども、苦勞されたことがあればお聞かせいただけますでしょうか。

成 島 苦勞したことはもちろんたくさんありますが、やはりコロナは相当きつかったですね。この撮影は2020年9、10月で割とおさまっていた時期ではあったんですけど、とは言っても吉永小百合さん含めた俳優陣はマスクができませんので、普通であればテストと言って練習を何回かやって、本番もうまく行かなければ何度もやる形ですが、今回はそれができないので一発勝負というような状況でした。毎朝皆で検温してから、衛生班がついた状態で手洗いを行い、なんとかクラスターにならないように徹底しました。クラスターを起こしてはいけないと言っても、マスクなしで付き合わなければいけないし、三密になるといけないと言っても、カメラマンの助手は遠隔操作ができないですから、カメラの横に立つなど、どうしても密になってしまうんですね。メイクさんや衣装さんも俳優さんと接触しますので、実際には三密を防ぐのは無理なんですよ。その中で撮らなければいけないので、まだ今ほどPCR検査が簡単にできる状況ではなかったし、もちろんワクチンもない中で、今回のコロナがきつかったです。ただ一つだけ良かったのは、皆さんに映画を観ていただければわかり

ますけど、吉永さんがものすごい集中力で、テストの1回目から台詞が完璧に全部入っているんですね。吉永さんが全然とちらないものだから、周りがとちる訳にはいかないので、皆で一発OKを目指すという形が自然とできていったのが唯一良かった所だと思います。でももう二度と、コロナ禍での撮影は勘弁してほしいなと思います。普通の撮影がどれだけありがたいかということをしごく思いました。

道 端 ありがとうございました。最後の質問ですが、映画監督として一番大切なことは何ですか？

成 島 一番大事なこととなると難しいですけども、一つは一緒に作っていく仲間です。今回は、今は亡き岡田裕介さんを筆頭に吉永さん以下のチームワークが一番大事ですかね。あとは、個人的には映画でできること、例えばこの映画の場合はやはり命のことを考えてほしい、家族で考えてほしい、在宅のことなどいろいろ知ってもらい、どうしたら自分は幸せに生きて、幸せに死ぬのかというヒントになればと思っていました。娯楽映画ではあるんですが、皆さんの幸せの役に立つことができればいいなと、どの作品を作る時にも考えています。

道 端 ありがとうございます。続いて、本作品をこれからご覧いただきます、「いのちの停車場」に関する質問をさせていただきます。

「いのちの停車場」は、ノースアジア大学総合研究センターの客員教授をしておられた、東映株式会社の岡田裕介会長が陣頭指揮を執っておられましたけれども、そのご縁から、今日成島出監督よりお話を伺っております。生前、岡田会長がこの映画に対してどのような思いを抱いていたか、お聞かせいただけますでしょうか。

成 島 はい、このノースアジア大学総合研究センターの客員教授というのは今回初めて知りました。岡田会長は随分前から、10年近くご縁があるみたいですね。岡田さんはもともと俳優さんですし、スピーチの名手なので、その後というのはなかなかプレッシャーで、皆さんをクスっともさせられませんが、そんな会長とのご縁で私が来ました。この映画に関して言うと、やはり吉永さんと岡田さん、岡田さんは東映のプリンスで、お父様は岡田茂さんという先代の社長でしたので、THE 東映育ちで小さい頃から京都太秦で東映のスター達と遊んでいたような人でした。根っからの東映人だったんですが、その中でも高倉健さんと吉永小百合さんがビッグスターでした。高倉さん亡き後、今は吉永さんが現役で頑張ってるしゃいますけれども、やはり高倉作品、吉永作品は特別なものだったと思います。そんな会長が特別な思いを持っていた吉永作品のメガホンをとるとするのはやはり私としては緊張するところではありまし

た。でも前にここで岡田会長のお話を聞いたことがある方はご存じかもしれませんが、とんでもないダジャレとか親父ギャグを話す、不思議な話術のある方でした。我々がどんなに緊張していても、そういった話術で笑いをもたらしてくれて、現場でも皆をリラックスさせてもらって、とても気遣いの方でした。岡田裕介会長の遺作となったこの作品を監督することとなって、まさか最後の遺作となるなんて思ってもいませんでした。まだまだお元気で、体調が悪いということも聞いてなかったし、若干血圧が高いということは聞いていましたけれども、病気に対して、自分の体や健康にはものすごく気を使っていて、定期的にも病院で検査も受けられていましたから、この完成を見ずして亡くなってしまったのが本当に残念でなりません。今言ったように、吉永作品に対して特別な思いがあったと思うので、何とか完成した作品を見ていただきたいのですが、我々のオールラッシュという、最後の編集ラッシュのその前、去年の11月16日に編集ラッシュを観ていただいて、「まあいいんじゃないか」と言ってくださったのですが、その後11月18日に、岡田会長が亡くなりました。ですので、今日は岡田さんのご縁があったこの場所で、ご縁のあった皆さんと、きっとその辺で岡田会長もニヤニヤしながらご覧になってくれると思います。

道 端 ありがとうございます。監督ご自身のことに関わるんですが、監督はちゃんと闘った経験をお持ちということで、この作品を撮る上で大切にされていたことをお聞かせいただければと思います。

成 島 僕は2017年に小細胞肺癌という、肺がんでも厄介なもので、国立がん研究センターに入院しました。幸い手術ができて、抗がん剤治療後3年半経ちましたが、再発もせずに過ごせています。僕はがんだとわかった時に、小細胞肺癌というものをよくわかっていなかったので調べてみたら、すい臓がんと同じくらいの5年生存率なんですね。ステージⅠでも5年生存率は35%くらいで低くて、ステージⅡになると50%よりも数値が悪くなります。がんだとわかった時は、データで見た場合に、平均寿命だとすると2年あるかないかだったので、あと1本映画を撮れる撮れないかと思っていました。ただ、このがんになったことでキャンサーギフトと言うらしいのですが、本当に世界が美しく見えるようになりました。さんまさんの言葉で「生きてるだけで丸儲け」ってありますけれども、まさにその通りです。それまでは普通の風景だったものが美しく見え、それまで普通だったことがどれだけありがたいか、それは人との関係だってそうです。コロナになって初めて、これまでの日常がどれだけありがたいかと感じるのと同じように、がんは全くコロナと同じで、がんの後は生きてるだけでありがたいな、仕事で映画が撮れるだけでありがたいなと本

当に思いました。私のがんになった時に、吉永さんと岡田さんが神社でお守りを買ってきてくださって、「早く治して、また一緒に映画を作りましょう」とお手紙もいただきました。それはどんな抗がん剤よりも効きましたね。そうやって励ましていただいて、頑張っただけで約束を守れたことが一番うれしいと思います。今日観ていただく映画の最後で夜明けのシーンがあるんですけれども、これは僕が入院中でまだ助かるかどうかわからなかった時に、四人部屋の窓際のベッドだったのですが、ものすごい綺麗な夜明けを見たら不思議と涙が出てきて、悲しいという感情ではなく、ただ美しい、世の中は美しいと思ったんです。だから、ラストのこの夜明けはそんな思いを込めて撮らせてもらいました。

道 端 ありがとうございます。今、コロナウイルス感染が大変な状況でありますけれども、改めて“いのち”について考えることが多くなっておりますけれども、“いのち”に真摯に向き合う本作に出会えたことについてどのように思われますでしょうか？

成 島 これは原作者である南さんの小説との出会いが最初だったんですけれども、日本人はもともと昭和頃、1970年代後半くらいまでは自宅で亡くなるという、看取りが多かったんですよね。その後から病院で亡くなるということが一般化してきました。これから超高齢化社会に入っていくのに、自分の最期をどう迎えたいか、「そんなこと縁起でもないから言わないでよ」という時代でしたけれども、そうではなくて、最期どう死ぬかということは、どう生きるかと同じなので、ご家族や大事な人と話すということはとても大事なことだと思います。今回、この映画を通じていろんな先生や患者さんとお話をさせてもらって、やはり津波は絶対来ないということではなくて、実際津波が来たらどうしようという話をしておくことはとても大事なことだと思います。生きることと死ぬこと、死ぬことは100%ですので、必ず大事な人と話し合っておくことが、最後まで幸せに生きることに繋がっていくだろうと思って、この映画を撮りました。

道 端 ありがとうございます。これから映画をご覧くださいますが、この作品を観て、どんなことを感じてもらいたいと思っておりますでしょうか。

成 島 今言いましたように、やはりどう生きるかという、充実した生を全うしてどう死ぬかということがこの映画のテーマです。高校生の皆はまだ先が長いですが、この映画の中でも松坂桃李さんと広瀬すずちゃんの若いコンビが出てきます。彼らは未来に向かうこの映画の希望です。松坂くんは、医者になりたいけれども国家試験が全然受からないという、昔の僕みたいな、うろろうして自分の進みたい道が見つからない青年の役です。最後にはいろんな人と触れ

合って、お医者さんになることを決意するという部分を、若い方は自分の物語として観ていただけたらいいなと思います。吉永さん達の世代の方々は、この映画を同じ地平で感じてくださって、どんなことを感じたのか、ご家族や一緒に来ている方がいらっしゃれば話し合っていたきたいなと思います。

道 端 どうもありがとうございます。まだまだお話をお伺いしたいのですが、お時間が迫ってまいりました。最後に一言、メッセージをお願いいたします。

成 島 今はコロナで本当に大変ですけども、人との繋がり、絆が生きてく上で一番大切だと思います。秋田の皆さんにこの映画を観ていただいて、少しでも感じるころがあれば、大切な方や仲間、ご家族やお友達に良かったよと広めていただけたらありがたいと思っています。今日は本当にありがとうございました。

道 端 監督、どうもありがとうございました。以上で、対談を終了させていただきます。成島出監督でした。大きな拍手でお送りください。

皆様にお願いがございます。この「いのちの停車場」は、先程監督がおっしゃられたように、当初の5月21日全国公開がコロナの関係で遅れるということですけども、ご家族ご友人にこの映画をお話していただいて、勧めていただければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。上映は、14時30分からとなります。どうぞごゆっくりお楽しみください。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「どうなる日本の政治」

講師 読売新聞社特別編集委員

ノースアジア大学 客員教授

ノースアジア大学 教育諮問委員

橋 本 五 郎

司会 ノースアジア大学 総合研究センター長

ノースアジア大学 法学部教授

道 端 忠 孝

日時 令和3年7月11日 午後1時30分～3時00分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館 271 教場

道 端 こんにちは。これよりノースアジア大学総合研究センター主催の講演会を開催いたします。この講演会にお越しいただきまして誠にありがとうございます。本日、司会を務めます、総合研究センター長の道端と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、橋本五郎先生をお迎えしております。橋本五郎先生は、読売新聞社特別編集委員で、本学客員教授であり、本学の教育諮問委員を務めております。皆様もご存じの通り、橋本先生は新聞、テレビ等多方面で大活躍されております。本日の演題は“どうなる日本の政治”でございます。コロナウイルス感染症が拡大している中で、無観客での東京オリンピック開催、コロナワクチン接種の遅れ、総選挙等、さまざま気になることがございます。橋本先生より、今後我が国の政治がどうなっていくか、お伺いしたいと思います。それでは、よろしく願いいたします。

橋 本 この中で、コロナワクチン接種を1回でもお済になった方、手を挙げてください。わかりますね、それでは2回受けた方はどうでしょう。途端に少なくなりますね。私の実家は三種町で、10歳年の離れた一番上の兄がようやく今日、ワクチン接種1回目です。しかもそれまでが大変でした。何度役場に電話しても話し中、いくらかけてもつながらない。ついには、人にうつしても責任取れないと怒鳴り込もうとした矢先、ようやく今日だと連絡が来たということです。こう見ていると、本当に自治体、市区町村はどうなっているのでしょうか。怠けているとは言わないけれども、秋田は随分遅いです。私の場合は八王子での接種で、5月に1回目、6月に2回目を終えています。申し込みにもいろんな方法があり、1つは応募順で、インターネットでは20分で受付終了、電話でも1時間半で終了という状態でした。私はその日テレビに出ておりましたので娘に頼みましたが、1回目は駄目でした。競争になってしまうわけで、インターネットを使えない人はまず申し込みができない、子供に頼むしかないという話です。一見公平なようで、決して公平ではないのです。一番の公平は何かと言うと、あらかじめ市区町村、自治体が日程を決めて、この日にあなたが来てください、無理なら別の日にしますとやってしまう方がずっと良いのです。年寄りはおうたうたになっちゃう、それだけで病気になってしまうくらい、皆さん大変な思いをするんです。こうやって見ると、何が公平か非常に難しい問題です。

天皇陛下は一昨日か一昨日あたりにようやく1回目をやっていますね。こんな状況です。私がいなくなってもどうってことないけど、天皇陛下がいなくなったらえらいことになります。1番最初にやってもらわないとおかしいじゃ

ないですか。それが、先にやると「上級国民」だと言われる、自分だけ特別だと言われると普通の国民と同じように順番待ちをしている。でも天皇陛下は特別なんですよ、総理大臣も特別なんですよ。地方自治体の市長にしる町長にしる、率先してコロナ対策をやっているわけですから、そういう人達が早く打たないでどうするんですか。私はすごくおかしいと思います。例えばオリンピック選手は皆尻込みするわけですよ、自分が先に打つと特別な人間だと思われてしまう、そうじゃなくてもオリンピックに対して批判があるから。人の命は同じです、私達は先にやらなくていいですと、こう言うわけです。しかし、先にやってもらわないと困るんですよ。どんどんオリンピックが近づくと、今度は打ったことによる影響が出るかもしれない。オリンピックに出る選手達が先にやらなくてどうするんですか、私はおかしいと思います。その前に、早く皆に行き渡るようにしなければいけないというのが大前提です。大前提ではありませんが、例えば余ったワクチンをどうするかで、どこかの町長が自分たちに打ちましたね。まだワクチン接種初期の頃です。ところが「なんで自分達に打ったんだ」と批判されたから、「我々は医療関係者である」と主張しました。町営の病院を所有していれば医療関係者と言えますが、そういう理屈をつけないと認められないのではないかという、悪しき平等主義だと思います。だから総理大臣が最初に打つべきだったんです。イギリスのジョンソン首相は最初に打ちました。考え方としては、「副反応があるかもしれないから、私が最初に打って、大丈夫だということを皆さんにお伝えしたい」と言えば理屈がたつわけです。皆がおそろおそろやっている感じが非常にありますね、堂々と言えば良いじゃないですか。天皇陛下は一番先、総理大臣だって先、私はそう思います。

オリンピックは無観客という形になりましたが、テレビに出ている人達は中止論が多いです。新聞でも、朝日新聞は社説で堂々と中止論をやりました。私は中止論の人の気持ちがわからない。理由はいろいろとあります。かねてからオリンピックに反対しているのはどういう人かと言うと、まず商業主義批判です、莫大なコマーシャル、放送権料がある、それでオリンピックのIOC委員は“IOC 貴族”となっている。こんなところにお金を使っておかしい、商業主義に毒されていると。私も全くそう思います、全くそう思うんだけど、しかし中止論からは何も生まれないのです。というのは、中止は簡単ですよ、やめちゃえばいいんだから。一切なし、これほど簡単なことはありません。

しかし、開くために関係者がどれほど大変な思いをしているか。アスリートは大変ですよ、1年延びたことで、新たな対応をしなければいけない。改めて、自分の中にあったやる気をまた起こさなければいけない。その間、池江璃花子

さんだけではなく、多くの人が大変な思いをしています。この大変な思いというのはすごく大切なことで、決して無駄ではないと思います。それから今、選手村をどうするか、オリンピック参加者の送迎をどうするか、感染者を出さないために組織委員会はじめそれぞれで大変な思いをしています。大変な思いをすると“思い”が大変というだけではなくて、そのためにいろいろな技術、工夫をしなければいけないわけです。これは目に見えない形で確実に技術革新が行われ、それは次の段階で必ず役立つと、私は思います。いろいろな場面でいろいろな工夫をしている。中止論からはそれが生まれないわけですよ。「やめた。」とそれでおしまいでは、何も生まれません。

それから、今年はなぜオリンピックやるべし、しかも有観客で、となったのでしょうか。これは、コロナが収束しない限り、拡大する一方の状況では開けないです。つまり、開けるということは、それだけ感染をおさえてきたということです。命が大事か、オリンピックが大事か、とよく言いますよね。どちらかを取ってどちらかを取らないという二者択一の話ではないんです。だから、中止論からは何も生まれない。その努力がなくなるわけですから。例えば聖火ランナーで言えば、三浦雄一郎さんは88歳、入院していましたが、聖火ランナーとして走るために半年間、その日のために備えました。このような人は、数限りなくいると思います。たかが聖火ランナーじゃないんですよ、これであの世にいけるといえる人がいるくらい。初代内閣安全保障室長だった佐々淳行さんは、2018年に亡くなりましたが、彼はオリンピックまで生きてようと必死でした。けども、それを見ることなく亡くなってしまった。そういう人がいるんです。オリンピックってそういうものだとは私は思っています。

何よりも、おそらく世界のどこの国よりも、日本で開催できる力があると思います。感染状況で言えば、例えばこんな状況でアメリカで開けますか？イギリスで開けますか？フランスで開けますか？それは、やはりきちんと統率が取れていないといけないし、入念な準備が必要だし、いろんなことを考える必要があります。だから今回のオリンピックは、この世界的な大流行の中で、100年に1度の事態が起きた時に、この日本でオリンピックが行われたということは世界の歴史に残ります。文明史的に残ります、コロナに打ち勝ったと。それに対して、「そんなこと必要ない」「残らなくなったら構わない」「人の命が大切だ」と、そう思う人もいるでしょう。でも、私はやる意味があると思います。大前提として、コロナを収束させなければできない話ですから。けども、オリンピックをやるために収束させるわけではないです。結果として、収束の方向に向かわせて初めてできる、ということであって。だから私は、努力すべきだと

思います。だんだん政治家も、見ていると皆アリバイ工作に走っています。コロナが拡大した時に、「いや、私は言ったじゃないか、拡大すると。あれだけ言ったのに」必ずそういう人が出てきます。それをみんな、政治家も含めて、後から何か言われないようにしなければいけない、という雰囲気になっていて、私は違うと思います。

コロナの問題にしたって、今居酒屋は大変だって話、それはそうでしょう、大変なのはいろんなところで大変です。でもコロナによって、言い方は悪いですが儲かっているところだっていっぱいあります。例えばマスクを作るにしても、これだけ使っているわけで、しかも一日中使うわけですから。薬屋さんだってそうです、そうやって見ると、コロナがもたらしたものの、それはマイナスだけではなく、いろんな工夫によって技術革新が行われます。それからオリンピックの問題は、もう一つ言えるのは 1964 年の東京オリンピックの時に何があったかで、この時には東海道新幹線や東名高速道路が開通しました。皆その目標に向かって作ったわけです。よくアスリート第一と言いますが、オリンピックは選手だけの話ではなく、飛躍的に技術が革新されました。例えば、昨年 2020 年のオリンピック、その目標に向かって何が行われたか、一つだけ例を挙げると、それは自動運転です。最初に日産、その後トヨタもやりましたが、2020 年を目標としていました。飛躍的に技術は発展します、技術が発展すると言っても、それは人の幸せのためじゃなければいけません。だから、オリンピックは単にアスリートの問題だけではなくて、社会そのものの、産業そのものが大きく変わる、そういうきっかけになり得ます。だから私はそういう意味で、中止論からは何も生まれないと、そう信じて疑いません。

ただ、先日の東京都議選でいうと、自民党の現有議席は 25 から 33 に、実は 50 取るのではないと言われていたが、結果 33 どまりになりました。公明党は 23 人が全員当選し、2 つ合わせても 56 ですね。過半数は 64 なので、都議会では自民党と公明党合わせても半分を超えることはできなかった。しかも自民党の場合は、前は 23 しか当選しておらず、後に 2 人加わりますが、これに次いで二番目に悪い成績です。都民ファーストは 45 もあったのが 31 に減り、共産党は 18 から 19 に 1 つ増え、立憲民主党は 7 から 15 になり、とは言え元々は 7 ですからね。となるとどこも勝ったところがない、“勝者なき都議選”だったと言えます。それはその通りで、なぜこの結果になったのか、それはやはりコロナが一番の要因です。オリンピックだと言う人もいますが、そんなことはありません。オリンピックを無観客でと都民ファーストが言い、それから中止論を立憲民主党が言ったことで議席が伸びました。これらの結果

の要因は、やはり一番大きいのはコロナです。

今朝のニュースで厚生労働大臣が言っていましたが、ワクチンはかなり行き渡るようになってきているんですよ。ところが何で届いていないか、例えば開業医が在庫を持っていたとして、接種する人が来ないから、結果的に在庫として抱えてしまう、あるいは2回目を接種するために2回目用にとっておく、という状況になり、抱え込む量がいっぱいになってしまっとうまくワクチンが行き渡らない、ということを言っています。であるならば、どこにいくらあってもそれがどう使われていないのか、なぜ把握できないのか。そこに一番の問題があるんですよね。出すには出したが、しかし行き渡っていないのはなぜかと。ただ、そうするとマイナンバーがどうだ、という話になってしまうのですが、配ったところにどのくらい配ったのかというのはわかっているはずですよ。そんな計算がなぜできないのかと私は思いますが、日本の場合は国と地方自治体の間の連携が非常にうまくいっていません。

あるときから、地方分権といって権限を地方に持っていく、というのが流行りだした時がありました。例えば今言われているのが保健所で、保健所は市区町村がやっているわけですよ、だから国が「早くPCR検査やれ」等と声をかけても全然届かないわけです。そうすると保健所は、やはり国直轄にすべきではないか、という議論もあるぐらい、国と地方はうまくいっていない。ある委員会でその話をしても「それは無理なんです、いくら話しても国に届かない、そういう仕組みになっている」と言われました。そうすると、西村大臣みたいに「居酒屋には金融機関、銀行から金貸さないぞ」といった発言をする。これまた乱暴な話です。そういうことではなくて、居酒屋が酒を提供しなくても営業できるように考えるのが政治であるはずなのに、銀行を使ってやらせようという魂胆、考え方が変です。でもこれも笛吹けども踊らずの状況である結果です。

そうすると、この1年半何をやってたのかとつくづく思います。あの時だってマスクがなかなか届かないというので、アベノマスクを考えました。このアイデアは結構良かったと思います。2枚ずつ皆にうまく配給できていたらですが。ところが、まずどこで作るか、作るには時間がかかります。それから、配達業者をどこにするか、結局は郵便局になりましたが、途中で作ったものが粗悪品で回収したり、作ったマスクを郵便局までどうやって運ぶか、等時間を要している間に、だんだんマスクが市場にも出回り、届いた頃にはもう要らない、という始末です。挙句の果てにはサイズが小さい等、もう散々でした。でも最初の考えは悪くなかった。ただ、どこで作ってどうやって配ってどうするのか

まで考えないで、号令かければできると錯覚していました。現場を知らないからこういうことになります。

つくづく思うのは、日本の場合、特に国と東京都の関係がそうですが、トップ同士の関係が良くないと駄目です。小池さんは、すぐパフォーマンスをしてしまいます。この前の都議選はどこも勝者がいなかった、それを敢えて“勝者なき都議選”と言うけども、もし勝者がいたとすれば、それは小池百合子だと思えます。と言うのは、都民ファーストは自分で作った政党だから、本来は応援に行かなければならない。しかし、それをやると自民党の二階幹事長に怒られる。二階は行くなと言っているんです。「お前がいつか、自民党に戻る時を考えて、それはすべきではない」という調子で「行くな」と言うわけですよ。じゃあ、自民党と公明党の応援に行くか、となるとむしろ有権者から反発を受ける。それで、「どちらも行かない。あるいは、どちらにも行く」と小池は言っていたそうです。都民ファーストだけではなく、行くときは都民ファーストにも自民党にも公明党にも応援に行くと。あるいは、どこにも行かないと。この二つに一つだと言っていたらしいです。

ところが、過労ということもあって、結果的に行かない方法をとりました。すると都民ファーストの人達は「自分の作った政党に来ないとは何事だ!」と怒りました。しかし、実際選挙に入ると行く先々で「小池さんは大丈夫ですか。あなた頑張ってください」と言われ、これは、出てこない方が良くかもしれない、その方が同情票が多く取れると考えました。そして実際、選挙戦に入ると都民ファーストの支持がどんどん上がっていきます。これは小池に対する同情票です。しかし、そこで終わらないのが小池百合子という女性です。投票日前々に退院し、行くことは一言も言わずに、投票日前日に都民ファーストの応援に行きます。3カ所を回りましたが、それでまた支持が上がりました。何でそんなことをしたか、それは、自分はこれだけ力がある、一桁だと思われていた都民ファーストが、私が行けばそうじゃなくなる、その力を見たかと、そう思わせたかったんです。これは私の単なる推測ですがね。それをこの前の火曜に、フジテレビのプライムニュースで伊吹文明と二人で番組をやった時に、「いやいや、勝者なきと言うけど、もし勝ったとすればそれは小池だ、こういう意図通りになっている」と言いました。すると伊吹に、「五郎さんのような高名な政治評論家がそういうことを言うから、だんだん小池が大変な人間であるかのように思われてしまうんだ、それが良くない」と言われました。しかし、私はそこまで考えていると思います。

この前、安倍晋三が辞めた後、ポスト菅として5人程名前を挙げました。茂

木敏充、岸田文雄、加藤勝信、河野太郎、小泉進次郎、この5人です。あの時、石破茂の名前を挙げませんでしたよね、安倍は大嫌いですから。私は2週間に1回くらい安倍に会うので、なぜそんなに嫌いなのか、聞いてみました。理由としてまずは、責任を取らない。防衛大臣の時に、現場の最高指揮官として物事を決めようとしなかった。「総理大臣、どうぞ」と言う、こんな無責任な防衛大臣がいるのかと。それを自衛隊の人に聞くと、全く同じことを言っていたそうです。だから、絶対石破は駄目だということで名前を挙げませんでした。それでは名前を挙げられた中で一体誰が有力なのかとなると、なかなかないわけです。そうすると、小池の名前が出てきます。盛んに聞かれていますよね、国政に出ないかと。そんなこと一回も言ったことはありませんし、思ったこともありませんというような内容を話していますけども、これはわかりません。国会議員でなければ総理大臣になれません。安倍晋三が挙げた茂木、岸田、加藤、河野、小泉というのは、おそらく次の幹事長候補くらいのつもりで挙げたのではないかとの見方もあります。

ここで講演をしたのは、去年10月、菅内閣ができてからでしたね。その時もお話したと思いますが、スタートはものすごく高い支持率でした。地味なのに何で高い支持率なんだろうと思いましたが、まず一つは、「安倍辞任効果」です。安倍さんが辞めて初めて、この内閣はどういう内閣だったのか。日本憲政史上、一番目は桂太郎、二番目が佐藤栄作、三番目が伊藤博文でしたが、その桂太郎を凌いで一位になりました。なぜこの内閣は、連続7年8カ月、しかもその前に1年、長くできたんだろう。モリカケ、桜の問題はあったけれども、この内閣はどういう内閣だったかと冷静に考えるようになりました。その時に、それを支えている人がいて、それが菅官房長官でした。ということで、辞めたことに伴って菅の評価がむしろ高くなりました。それから二つ目は、今コロナという非常時の状況の中で、総理大臣が変わるとすればやはり経験した人の方がいいのではないかという、「非常時効果」もあったでしょう。それから三つ目は、「生い立ち効果」と私は言っています。自民党総裁選に出た時に、「自分は雪深い秋田の田舎で生まれて、そして農家を継ぎたくなくて東京に出てきて、大変苦勞してきました。工場で働いてお金を貯めて、そして2年後に法政大学に入った」と。こういうことを聞かされたのでは、我々田舎から出てきた人間はもうたまらない、これだけで感動します。だから地方票をあんなに獲得した、生い立ち効果があったと思います。

総理大臣になってからもう一つ、私は「国民目線の各論効果」と言っています。携帯電話料金を引き下げします、不妊治療をする際には保険適用にします、

もっともっとデジタル化を進め、さまざまな手続きが早くできるようにします、という具合に、国民の誰もが反対できないようなこと、しかも生活に直結するようなことを言うてくれたということで、あれだけの高い支持率になりました。小泉、鳩山に次ぐ高い支持率でスタートしたわけです。しかし考えてみれば、そこにコロナという非常時の対応がどうなのか、というのは入っていませんでした。そこで問われてしまう、このようなことが起きた時に、一人ではできません。さっきお話したように、例えばマスク一つにしても末端までどうやって流れているのかわからなければできないことで、チームでしかできないことです。ところが菅さんの場合は、今まで叩き上げでやってきた、信じられるのは自分の目と自分の耳しかない、そう思っずずっとやってきているわけです。だから今なお、いろんな人に会っています、例えば杉山産婦人科のお医者さん、不妊治療の話ならこの人に聞けば良いと思っています。それからアトキンソン。旅行についてはこの人、という具合に個別に話を聞くわけです。これは良し悪しで、その人達には役人の発想がないから、企業、会社をおこしてやってきた人の話が、菅さんにとってもストンと落ちるし、役人に対抗できます。常に個人商店でやってきていますからね。

しかし、コロナには個人商店では駄目なわけですよ、もっと組織的に、戦略的にやらないといけません。ワクチン接種だって、個別接種だけでなく大規模接種と併せながらやらないといけないのと同じことです。総理大臣の一日の日程は公表されるわけですが、そうすると杉山産婦人科の先生と会った場合、それ自体が商売に使えます。それは、私から見るとかなり危険に思います。政治が商売に利用されてしまうおそれがあるからです。例えば経団連の会長から話を聞いてためになるか、という問題もありますけれども、個別に会っている危険性について考えないといけません。例えばの話では、何か不祥事が起きると、総理大臣が関わっているのでは？とみられてしまう。しかし悲しいかな、内閣が出来て9カ月くらいになりますが、依然としてその手法でやっており、私は限界があると思います。

この1年半の間、一体何が良くて何が悪かったのか。大きく見れば、重症者、死者をなるべく出さないようにしよう、そのためには一度の場所で多くの人が感染する、クラスターを出さないようにしよう。クラスターを発生させないためには、濃厚接触者を早くつぶしていこうと、この方法は太極拳間違っていません。ただ、どんどん変化してきています。最初は、若い人はかからないとか言っていました。でもそんなことはなくて、今はむしろ若い人の方が多い。そうやって見てみると、何が違って何が変わっていないか、きち

んと見極めなければいけないと思います。酒屋さんが敵にされている、これも変な話で、2人まではいいけど3人以上は駄目だと言います。私もこの前、3人で行く予定だった計画も、まん延防止等重点措置の期間だったからやめました。だけど考えてみてほしいのは、広い店内で、仕切りや衝立があって3人集まるのと、背中同士がぶつかるような居酒屋で、1人だけど客がいっぱい入っているのではどちらが危険ですか？場所や状況によって全然違いますよね。一律にしなければできないこともあります、一番の問題は、何をしてはいけない、という話ばかりだということです。これだったら大丈夫ですよ、ということ強く推奨する、こういう場所だったら飲んでも構いませんよ、等と提案すべきです。とにかく、するな、してはいけないということばかりです。そういうあり方についても問題があると感じます。

それからもう一つは、政治のやり方の問題です。菅の場合一生懸命やっているけどなかなか響かない、というところがあります。総理大臣が、会見で紙ばかり見ていたらそれを指摘され、紙ではなくプロンプターを見て対応したらそれも指摘され、なんだかんだ言われるわけです。私に言わせれば、別に事細かに総理大臣が言う必要はないのです。断固として、「これだけはやります、詳しいことは大臣に聞いてくれ」と、それでいいと思います。例えば、アメリカの大統領であるフランクリン・ルーズベルトは、ちょうど世界大恐慌が1929年にあって、それからまもなく、第二次世界大戦が始まる時代にアメリカの大統領になった人です。小児麻痺で、体も不自由でしたが、当時アメリカは大統領には任期がありませんでした。今は、1期4年、2期までで、8年しかできない仕組みになっていますが、あの時はなかった。結果として、彼は4選します。8年やり、さらに4年、そして当選してまもなく、第二次世界大戦が終わる前に亡くなります。この人は、“炉辺談話”、囲炉裏端で話すようなことをやった。ホワイトハウスから国民に呼びかけるわけです。当時はテレビがありませんでしたから、ラジオで「今、第二次世界大戦と世界大恐慌の2つの大変な事態になっている。しかし私達が恐れなければいけないものは何か、それは恐怖心そのものだ、恐れる心を一番恐れなければいけないことだ」と就任演説で言いましたが、ホワイトハウスから直接国民に呼びかけて30回やったそうです。それから12年の間に記者会見を600回以上行うなど、直接国民に訴え続けました。

日本の場合、記者会見をやってはいますが、総理大臣は細かく紙を読むようなことをやる必要はありません。そうではなくて直接、とにかく今度の措置、我慢してくれと伝えるべきでした。それでは店をやっていけない、そういう人

達にはこれまで本当はもっと早くやるべきだったけども、申請して、申請が受け付けられて、それから手続きをして…なんてまどろっこしいことはやらない。まずこれだけ、「去年売り上げがあったと申し込んでくれ、必要な書類は後から精算するから、それに応じて直ちに出示します」と、これだけでいいじゃないですか。不正があれば後でわかります。この前の売り上げはこうだった、ということの後で出してもらえればいいんです。でも必ず言うんですよ、「税金だからね」と。不正に使われてはいけなから、念には念を入れてちゃんと所得について出してもらいますよと、いう話です。今はそういう状況じゃない、今必要な金がある月後に来たって、何の役にも立たなくなってしまう。その時には店がなくなっていたという話になるわけですから。要するにやろうと思っても、法律的な制約や、なかなか現場がその通り動かないとかあるだろうけど、政治的な責任でやれば良いと思います。ただいつも、自信なげになってしまう。だからこういう時こそ、政治が責任を持ってすべきだと思います。

私は去年からずっと、政治評論家として「解散はいつか？」と聞かれてきました。私は、「年内はない、年の初めもない、オリンピック前もない、あるのは、オリンピックが終わった後」とずっと言い続けてきました。これは結構勇気が必要です。だって、その前にあったらどうします？目も当てられない。だから「ある」と言った方がいいんですよ。「ある」と言っていない場合には、「あれほどあると言っていたから、皆警戒して、その結果なくなってしまった」と言い訳ができるけど、「ない」と言って「ある」と、もう言い訳がつかない。だから皆揃って、「ある」ようなことを言っていました。去年がそうでした、まず内閣ができてすぐ「ある」と言っていましたね。それから、年内に「ある」と言っていた。それがないと今度は年初めに「ある」、次は予算が通ってから「ある」となるわけです。だけど私は、年内も年明けも、オリンピック前も「ない」と言ってきた。なぜ「ない」か、これはやはり菅という人の性格です。きちんと実績を残して国民の真意を聞きたい。仕事をしない内に、何もしないで何で裁いてもらうんですか、という話ですから。要するに、ある程度自信もあったでしょう、仕事を認められて初めて解散する、そんな性格の人です。

二つ目の理由は、現在のコロナの状況下では、解散することを許さないと思います。コロナがこんな状況なのに、今やれば自民党が勝てるからという理由で、そのためにやるなんてけしからん、となります。解散をするには「大義」が必要です。なぜやるのか、理由が必要です。そもそも解散とはどういうことか、これは国会議員の首を切ることです。解散すればその時点で国会議員は首を切られます。選挙で通らない限り、出てこられません。これは大変なことで、

簡単にできることではないです。だからそれに対抗するように、今度は切られる方の議員が総理大臣の不信任決議、この総理は信用できないとなると不信任をつきつけることができます。これは、総理大臣の首を切ることであり、これでバランスをとっているわけです。その場合に、コロナという状況の中で解散する大義はあるのかと。おそらく、コロナが完全におさまるなんてことは考えられませんから、批判を受ける状況では解散できないだろうという理由で、コロナの収束具合、そしてオリンピックが無事終わった後だろうと思っています。

しかし、衆議院の任期は10月で切れてしまいます。任期満了選挙、解散しないで選挙になることもあります。解散もできなかった政権は弱い政権だと言われ、今まで事例は1回しかありませんでした。それは三木内閣の時に、任期満了選挙をやりました。なぜそうなったかというと、この時に“三木おろし”がありました。第一次三木おろし、第二次三木おろしとあったんです。私が政治記者になったのが1976年で、5月のある日、読売新聞が“三木おろし、椎名工作”という、椎名悦三郎という人が、三木をおろす工作をし、それが発覚しました。てんやわんやで、5月から12月まで7カ月間続き、解散ができないまま、三木さんは任期満了選挙を迎えました。そして自民党は議席を減らし、三木内閣は退陣し、その結果福田内閣ができました。その時の1回しかありません。解散ができないということは、自分が国会議員をクビにできる、総理大臣が持っている最大の武器を使うことができなかったということです。それは、その内閣がいかに力がなかったかという証だと言われています。そうすると菅さんは、なんとしてでも任期満了選挙は避けたい、そう思うでしょう。あと1ヶ月もしないで任期満了が来るから、どちらでもいいじゃないかと思うかもしれないけれども、しかし総理大臣の地位にある人なら、必ずや任期満了選挙を避けようとするでしょう。そうすると、残された道はオリンピックが終わった直後しかあり得ないです。

ではその時一体どうなるのか、自民党は、今はいっぱい議席を取っていますから、減ることは確実です。人によっては、50以上減るだろうとも言われていました。しかし次第に、野党がそれほどでもないようになってきて、内閣の支持率が今は少し回復していますけれども、依然として不支持の方が多いです。これはひとえに、コロナの感染状況と似ています。コロナの感染者が増えていくと、内閣の支持率が下がっていく、こういう関係です。ということは、この感染者をどれだけ減らせるかで、内閣の支持も違ってきます。内閣の支持と自民党の議席とは必ずしも一致しないことがあります。依然として自民党の支持が高いですから、だけどそれもわかりません。なぜわからないかと言えば、この

前の都議選もそうですが、野党が一つになれば、立憲民主党と共産党が片一方出さないという方法です。いろいろ議論もありますが、共産党がたつところには立憲民主党は出さず、立憲民主党がたつところには共産党は出さない、というやり方です。それである程度の成果を得ています。共産党は18から19になり、立憲民主党は7から15になっていますから。となると、一緒になればある程度勝てるということです。しかも共産票は、公明票と同じで非常に堅いです。ある調査で見るとすごくおもしろいのですが、共産党が立たないところで、立憲民主党に共産党支持者の票がどれだけ行ったかという、ほとんど行っています。ところが、立憲民主党が候補者を出さないところで、共産票に立憲民主党支持者の票が行ったかという、それは半分くらいしかありません。つまり、共産党支持者は立憲民主党支持を忠実に守っていますが、立憲民主党支持者は皆が共産党に票を入れているわけではないです。こういう関係ですが、しかし小選挙区では1人しか選べませんからね、それは野党が一つになれないと勝てないところがあります。

そうやって見ると、今度の衆議院選挙を占う場合に、コロナの状況、内閣支持率の状況、それからオリンピックがどうなったか、ということももちろんあるけれども、野党がどれだけ結束できるかが大きな要素になると思います。だから、今から予測はできないと、聞かれたら答えるようにしています。でもやはり一番大きいのは、当面はオリンピックだと思います。オリンピック関係者にコロナ感染者が出ないという状況は考えにくいですが、無事に終わったとなるかどうかですよね。そのためには競技を中止することだってあり得るだろうし、そういうことも考えなければいけない、ここは逆にこだわらないでやらなければいけない、そう思います。アメリカの新聞では、無観客になったことが“大失態”だと書いています。よく言うなと思いますけどね、アメリカはあれだけの感染者、死者を出してですよ、自分の足元をちゃんと見てくれよと言いたいところですが、やはり先程お話したように、日本だからこそできたんだ、という大会になってほしいな、そう思います。

橋本聖子さんがこの前、読売新聞でインタビューされていて、私は読みながらとても感動しました。「私達はこれまで一生懸命準備をしてきて、アスリートの姿を見て、歓喜という、本当の意味でスポーツの祭典にしなければいけないという、“祝祭”と言いますか、皆が喜ぶイベントにしなければいけない、そう思って来ました。しかし今こういう状況になり、そうではなくて開会式のイメージはもっと厳かな、コロナで大変な状況の中で私達はここまで来た、そしてアスリートがその中で全力を尽くして、今まで苦難に耐えてきたことを出

そうとする、そういうもっと厳かな気持ちでその日を迎えなければいけないと思うようになりました。」とありました。私はあのインタビューを見て、この人は深い人だなあと、そう思いました。橋本聖子さん自身、冬季オリンピックではスピードスケート、夏季オリンピックでは自転車競技で、全部で7回出場しており、スピードスケートでは1500mで銅メダルでした。だから、この人の言葉の中には深いものを感じました。それは苦勞してここまで来たからでしょう。スポーツの背後にあるもの、並大抵の苦勞ではないことを皆、やりながらここまで来ているのです。だから新聞もそうですけれど、金メダルの獲得数よりも、その背後にあるものを私達は大切にしなければいけないと思います。

コロナによって私達の生活は変わりました、私は週に2回大阪に行っていたのが、東京でやるようになりました。ついこの前、「ミヤネ屋」と「ウェークアップ」は大阪に行きましたけども、また緊急事態宣言下で東京からリモートでやるようになると思います。リモートが盛んになって、大学の授業もオンラインでやるようになって、新入生は全然学校に行っていないわけですが、東大の調査によりますと、新入生の25%、四分の一がこのままでいいと思っている。別に学校に行けなくても構わないし、オンラインの方が授業を聞き取れるし、それから自分の意見も見える、という人が増えています。これは困ったものです。「スッキリ」という番組は、スタジオに皆入ると密になっちゃうから、隣の部屋からやっています。ところが困るのは、自分が言いたい時ってあるでしょ？でも言いたい時は割り込んでいかなないとできないです。そこにいれば、「俺言いたいことありますよ〜」と手で合図したり目線を送ったりできます。すると向こうも気づいてくれて話を聞いたりするわけです。

ところがオンラインでやると、手を挙げるわけにもいかないし、やりづらくてしょうがない。もし、本日のこの講演がオンラインだったら、一人一人がどんな表情しているか一度に全部わかりませんから、それを「これは新たな日常だ」とか言われても、そうなっては困ります。「生活様式を変えないといけない、コロナで学んだ新たな日常に慣れなければいけない」とよく言われます。何を言っているのか、新たな日常なんか慣れる必要はない、元に戻るだけでいいと、私はそう思っています。良く言うじゃないですか、「ものを言う時は、ちゃんと相手の目を見て言いなさい」と、オンラインでどうやって見るんですか。できるだけ早く元の日常に戻った方がいいと思います。

でも、コロナにはいろんな要素があって、私も講演がほとんどなくなったので、ものすごく時間が取れるようになりました。それから、大阪に行かなくてもいいから、その分についても時間が取れるようになりました。そうすると、

やろうと思えばいろんなことができるようになりますよね。一番大きかったのは、うちで食べるご飯がいかにうまいかということです。それを言うともた娘に言われるのが、「お父さんは外でばかり食べているから。毎日作っているんだよ、だからそういうこと言うんだ」と言われましたが、改めてご飯のおいしさを思うようになりました。だから私はできるだけ、コロナで大変だというだけではなくて、コロナで良かったことは何なのか、考えようとしています。去年も本を2冊出したし、いろんなことが可能だったということで、できるだけプラスに物事を考えようと。一生の間におそらく、こういう経験することはないでしょうから。「お前そんなのんきなことを言っているの、死活問題の人がいっぱいいる」と言われれば元も子もありませんが、「きちんと給料もらっているから、そんなこと言えるんだろう」とも言われてしまうので、なかなか言いづらいところもあります。しかしそうじゃなければ乗り切れないような気がしています。私達がこの1年半で学んだことは何だろう、やはりきちんと総括する必要があると思います。

専門家の人達も、例えば酒の問題で言えば、理屈として「酒を飲むと気持ちがゆるんで、声が大きくなって、それがもとになって感染者が増える」と言います。しかし実際そうでしょうか？統計的にどうでしょう。今、統計的に多いのは家庭内感染であり、誰かが持ち込んできた上での感染です。誰かが持ち込んできたから感染するのであって、問題は元々どこからなのかを見極めない限り駄目ですよ。でもなかなかそこまで辿れなくなってしまった。保健所も忙しくなり、濃厚接触者も当初はやっていたけど、いくら人手があっても足りない状況になり、だんだんやらなくなってしまった。だからそうすると、この1年半で何が分かって何がどうだったか、専門家の分析をしてほしい。ところが今言っているのは、このままいったら1000人を超えとか、そういう話ばかりです。そんなことは、このままいけばそうなるし、専門家に言われなくてもわかることです。そうではなくて、ならないようにするためには何を具体的にしたら良いか、ということを専門家には話してほしい。なんだ専門家も我々と同じようなことしか言っていないと、非常に不満に感じます。だから皆競って、「大変だ」しか言わないわけです。この前の日本医師会の会長が特にそうでした。

ここは専門家と政治をどう考えたら良いのか、難しいところですが、例えばドイツのメルケル首相、十何年やっていますけども、理科系の人だから、医学の専門家ではないけども理解はできる。オーストラリアの首相も確か理科系ですね。ところが日本は理科系の人ほとんどいません。そうすると、専門家の

意見を聞くしかない。しかし当然ながら、感染症の専門家の意見だけでやるわけにはいきません。もっと総合的に考えて政治は決断しなければいけないわけですから。そうすると、総理大臣はそれだけ理解する能力があるのか、という話になります。大切なことは何なのかというと、専門家と為政者をつなぐ、優れた知者がいなければいけないと、東大の西垣通さんが言っています。というのは、為政者は専門家の意見を丸ごと全部聞くわけにはいかない、しかし聞かないからと言って、本人はどこをどうすれば良いのか、それはやはり政治という観点から見なければいけません。しかし知者がわかっていながら、政治がやるべきことは何なのかということもある程度理解しつつ、知者が介在する必要があると言っています。私はとても大切なことだと思う。そういう人達が、今の内閣にいるかという話ですよ。そこは残念ながら見えません。「専門家の意見を尊重します」と言うのと「それだけやっていけばいいんですか」となってしまいうから、チームとして間をつなぐ人がいる組織にしないと、こういう非常時には対応できないと思います。

だからこの1年半を、一体何が足りなくてこれからどうすべきかを考えた時に、例えば医者の問題もそうですよね、医療逼迫が一番大きい。しかしそれをうまく融通し合う、融通し合うためにはどうすればいいのか、どこにどれだけの病床があって、ここを動かせばこうなるということ、全体を見渡せるようなところがないと駄目ですよ。ただ闇雲にやれと言ったって現場はそうはいかないです。そういうことを本当は1年半の間に、例えば医療計画、各病院の状況を1カ所で統一できるような仕組みを一体どれほど作ろうとしたのか、何らその形跡は見えませんね。とにかくその日その日で終わらせてきた印象です。結局はワクチンの問題だって、外国からいかに手に入れるか、そのためにはファイザーの親方の所に総理大臣が電話でお願いするとか、そういう感じになっています。もっとそれを組織的に、戦略的にやるということを着々とやっていくべきだったのではないかと思います。マスコミの対応の問題もあります、毎日感染者が何人だとか、店が大変だという話ばかりやっていますから。そういうことも含めて、戦略性に欠けているとつくづく思います。

前にも言ったかと思いますが、やはりどういう内閣かということは大きいです。例えば中曽根内閣の時に、後藤田正晴が官房長官でした。これは役所をガチッと使っていたし、伊豆大島の三原山が噴火した時に役所の間では、なかなか対応が決まりませんでした。その時、さっと内閣官房に権限を持ってきました。そして官房長官中心としていろんなことをやるわけですよ。伊豆大島が噴火した、溶岩が流れてきている、大島の人達を救わなければいけない、どうし

たら良いか。島だから、船で救うしかないわけですが、そのために、近くを航行していた大きな船を大島に向かわせます。例えば南極観測に向かう“しらせ”も大島付近を航行していたので、当時、南極観測の管轄は文部省だったので、文部大臣を通じて「ただちに大島に向かえ」と指令しました。ただ、“しらせ”も南極に行くのが職務なので断ることもできますが、断ろうものなら「もし死者が出たらお前のせいだぞ」と言われてしまう。だから“しらせ”も行かざるを得ませんでした。それから東海汽船という大きな船会社に、船はできたけれどもまだ航海に出ていない大きな未就航船があったので、運輸大臣を通じて、東海汽船に「行け」というわけです。これも行かなければならない義務はないのですが、これも「もし死者が出たらお前のせいだぞ」と脅されるから行くわけです。それで明け方、島民を皆船に乗せて、脱出させることに成功します。これは明らかに法律違反ですね、何の権限があってやるんだと。けれども、誰も批判しません、そもそも法律がないから。法律がない時は政治がやるしかないんです。でも、皆を救えば誰もおかしいだなんて言いません。そう考えれば、今度の場合だってはっきり言えばいいんです、「法律を今から作っても遅い、だけどそれでは間に合わない、だから政治の責任でやります。もしそれで駄目だったら私が責任を取ります。」と。それでいいんです。

まず去年の一斉休校は、あれは安倍晋三が文部科学大臣に相談しないで実行しました。それで専門家の意見を聞かないと囂々（ごうごう）たる批判が出ました。子供から教育権を奪う等、嫌なことを皆言っていました。私は違う、「彼は英断だよ」と安倍さん本人にも言いました。だってあそこで、学校でクラスターが発生したらどうします？誰が責任取るんですか？あの判断は間違っていないよ。結果として、どこの学校もクラスターは発生しなかったんですよ？それが一斉休校したからかどうかはハッキリしない、そうじゃなくてもクラスターは発生しなかったかもしれない。けれども少なくとも、あれをやることによってクラスターが発生しなかったという事実があるわけですから。政治とはそういうものですよ、そんなことを恐れない。例えば、大変だから避難しろ、今避難しなければ駄目だと言って、結果洪水が起きなかった、だけどそれは、今は皆言いますよ、「空振りでも良かった」と。危機の時とはそういうものですよ。それを判断するのは、極めて高度なことです。専門家がまだ大丈夫と言っているかもしれない、しかし政治の判断としてもっと早くやっておいた方がいいと、非難されたって構わないという、その姿勢があまり見えません。この前、4回目の緊急事態宣言を出した時、菅さんが言っていましたね、「先手先手でやったんです。」と。先手と強調する必要はないんじゃないかと思いましたが、

これまで後手後手とばかり言われていましたから。しかもその前日までは、緊急事態宣言ではなく蔓延防止等重点措置をやるだろうと言われていた。それが急に、東京の感染者が九百何人出たというのが一番大きいですが、緊急事態宣言となりました。政治の決断で先手を打ってやったと言いたかったのでしょう。

1日100万回のワクチン接種についてもそうです、本当にそんなことができるのかと、できないことをホラ吹いているんじゃないかと言われていました。しかし私は決してそう思いませんでした。あのおかげで、地方自治体が重い腰を上げて、あれで早まったんですからね。あの発言がなければもっと遅くなったと思います。要するに、政治の役割は何かというと、高度な政治判断です。高度な政治判断は、時に専門家の意見と違う場合があるかもしれません。批判されないためには、専門家の意見をそのままやってしまえばいいわけです。しかし、その専門家とは誰でしょう、感染症の専門家だけですか？感染症の専門家だけだと狭くなってしまうというので、竹森俊平と小林慶一郎の経済学者2名を入れました。ところがこの2人は、感染症学者と同じようなことを言うようになってしまった。というのも、「お前あの時に、もっと大変な状況なのかもしれないのに言ってなかった」と言われるのが嫌だから、合わせてしまうんですよね。だから同じになってしまう。だからその時に、その専門家も重視しながら、政治の判断は自ずと違うところにあるかもしれないと考えるべきです。

この頃私が不満なのは橋下徹で、しきりに“国民感情”と言いますよね。いつから国民感情派になったんだろうと。あの人がやってきたことは、大阪市長、大阪府知事時代も、府民感情とは別に、あくまでも“大阪都構想”をやろうとしました。これは反対者が多いけれども自分はやるんだと、むしろ政治とはそういうものだ。世論調査で政治をやっている場合ではない、という感じでした。それが、評論家になった途端に“国民感情”です。この頃は同じ番組で同席することがないから、機会があれば絶対生放送で言ってやろうと思っています。「橋下さん、あなた随分変わりましたね」と。同じ“はしもと”だから、2人一緒にウェークアップ出た時に辛坊くんが「はしもとさん」と呼ぶと2人とも返事したので、あの日以来、ウェークアップでは、橋下徹は橋下さんで、私は五郎さんになりました。それで、同じ“はしもと”同士、「国民感情とは何ですか。あなた1億2000万人に聞いたんですか？世論調査ですか？世論調査で政治やれと言うんですか？国民の中にこういう声が多いかもしれない。しかし私は違う、違う道を進むべきだと思う。そうじゃなくて、国民感情ばかりを振り回していると思う。世論政治では、あなたが一番嫌うポリティズムになってしまいますよ。」と言おう言おうと待ち構えてるんだけど、なかなかその機

会がありません。“国民感情”も怪しいですよ、ひと頃の野党みたいなもので、「国民はそう思っていない、国民とは何か」と新聞社の世論調査になってしまいますから。

昔、相当古いですが高千穂ひづるという女優さんがいまして、その父親が二出川延明さんで、パ・リーグの審判を務める、大変硬骨な方でした。ある試合で球審をしていて、二出川さんがセーフと判定し、監督がアウトだと文句を言う場面がありましたが、二出川さんは受け付けませんでした。しかし、翌日の新聞記事の写真ではランナーの足がベースに届いておらず、捕手にタッチされていて、完全なアウトでした。その時、その写真を突き付けられた二出川さんは何と言ったか。「それは写真が間違っている」と言ったんです。今では、監督がリクエストを出すと試合を中断し、判定を映像で見ることができますよね。なんだかさみしいなと思います。審判はそれだけの権限があるわけだから、自信を持ってもらわないと困ります。確かに写真の角度によって随分見え方が違うとはいえ、二出川さんの写真が間違っているという発言、堂々たるものですよ。政治家も、「私はあくまでも確信を持ってやったんだ」とそのぐらいの姿勢を見せてほしいです。

イギリスは労働党と保守党の二つの大きな政党があり、ずっと労働党が政権を持っていました。それが1979年、サッチャーさんの所属する保守党が政権を奪還します。当時イギリスは、国がだんだん大きくなるにつれ都市や経済発展もさびれ、時代に取り残された英国病の時代でした。その時サッチャーが登場して、選挙で何を言ったかという、「私は確信の政治家です。旧約聖書の預言者達は『私は皆さんにコンセンサス、同意を求めない。政策、ビジョンに賛成ならば私に付いてきてください、反対なら付いてこなくていい』と言いました。イギリス国民の皆さん、私は旧約聖書の預言者達と同じことを言います。私の主張に賛成なら、私に付いてきてください。しかしこの憂鬱な、陰気臭いこのイギリスの空、これを何とか変えたいんです。」と演説しました。そして保守党は政権を獲得します。私は政治家ならば、そこまで腹をくくってほしいと思う。「私は、乏しい限られた知見、そして情報の限りを尽くしてこの判断をした、だから付いてきてください。もし間違っていたら、私は謝罪し、責任を取ります。」と言ってほしいですよ、そうすると、もう少し我慢するかという気にもなる…なるかならないかは難しいところですけども。この頃は年をとると段々説教調になってしまいます。

私は1976年から政治記者をやって、その時は三木武夫、その後福田赳夫、大平正芳、菅さんを含めて23人かな、総理大臣を見てきて、我々が若い時に

中曾根康弘らを見ているから、そうすると僕らととんと年をとると安倍晋三は十歳近く若いから、目線が段々上からになってしまいます。だから上から目線は良くないと子供に言われる、けども上から目線の何が悪いんだ、目線には上からもあれば下からもある、横からも斜めからもある。そういうさまざまな目線で見なければ、本当のことはわからない、と言っているんですけどね。今日も上から目線になっているかもしれませんが、やはり政治家はもっと奮起して、自信を持つためにはそれだけ勉強しなければいけませんから、死に物狂いで勉強してもらわないと困る、そう思います。それでは、時間になりましたので終わりにします、どうもありがとうございました。

道 端 橋本先生、どうもありがとうございました。コロナ禍の政治や生活、政治家の役割等さまざまな内容をお伺いしました。質問を受け付けたいと思います。質問なさる方は、挙手して、マイクを持ってまいりますので、マイクが届きましたら、お名前を言って質問して下さい。ご質問したい方いらっしゃいませんか？

質問者 秋田県で初めての総理大臣が誕生したわけですが、テレビで見ていると、国民に対する、訴える力が感じられないです。橋本さんは秋田県出身で総理の先輩であるわけですが、もっと国民に訴える話をすべきであると、アドバイスをしていただければありがたいと思っております。

橋 本 ありがとうございます。今は総理補佐官として柿崎くんがいますが、彼は高校が横手で、菅さんの出身の近くです。柿崎には、総理が特定の人と個別に会うと疑われちゃうよという内容も話したりしています。ただ、長年のスタイルでやってきた人に変えろと言っても無理なんですよ。小泉純一郎みたいに、中身がなくても「感動した!!」の一言で感動させてしまうような、タイプもさまざまです。菅さんはそういうのは無理で、やはりこういう時は全身奮ってやらないといけません。だから、自分の声が皆に届いてないのではないかと散々言われているが、それもなかなか変わらない。

私が期待するのは、コロナが落ち着けば、この政治は国民目線の各論ということをしていろいろやっていますから、わりかし国民に歓迎されると思います。けどもその前につまづいている状況です。おそらくいろんな人に言われていると思いますが、彼は少し頑固なところもあるけれども、急に変えろと言っても無理な印象があります。しかしおっしゃる通りで、せっかくきちんとやっても評価されないということになりますからね。私が言ったからといってどうなるか分からないところもありますが…。その人の味わいが出てくるように、周りがサポートする必要があります。こういう場合に一番効果があるのは、家

族です。森さんが辞める時も、結局は孫に言われたからです。わりかし素直に聞くんです、家族の場合は。私も努力してみますね、同じ同県人として。一人の者にあらゆるものを要求するということは難しいですけどね。ただ損だなと感じることはあります、一生懸命、それなりにやっているでしょうからね。

道 端 ありがとうございます。他にご質問のある方いらっしゃいませんか？

質問者 すごくためになる、楽しいお話であつという間という感じでした。オンラインではなくて、この対面で参加できたのが本当に良くて、リアルの良さを感じる時間でした。お聞きしたいのは、例えばこういう発言がニュースに出てくると解散が近いとか、明日から新聞を見るのが楽しくなるような、解散にまつわるメッセージがあれば教えていただきたいです。

橋 本 普通は“話し合い解散”というのが、突然の解散よりも多いです。というのは、皆準備が要りますからね。解散に備えて、まずお金を管理し、事務所をどこに構えるか、ポスターをどう作るか、等です。だから、解散になりそうだとすると走り出すわけです。走り出すと、やらざるを得なくなります。それだけ走っているのに、先延ばしされたのではまたお金を使ってしまう。借りていた事務所を返して、また借りる手間も出てくるから、話し合い解散としての大きな流れが一つあります。それは日々の新聞で、だんだん空気が醸成されていくということがありますね。

一方で、突然の解散もあります。それは、例えば安倍晋三は、党内で解散しようという時にやらないで、むしろやるべきではない時にやっているケースがすごく多いです。結果として、安倍晋三の時は自民党が6回の国政選挙を全部勝っています。これは今までの常識ではあり得ないことです。なぜかと言うと、衆議院選と衆議院選の間にはいつも参議院選が間に挟まる形で進んでいきます。衆議院選挙というのは政権選択選挙であり、政権をどの政党に取らせるかという内容です。この選挙に勝って政権を取ると、今度は2年後の参議院選挙では自分達の選んだ政権はその時やっていない、大体その通りにはやっていないんですよ、予定通りにうまくできませんから。そうするとそこでお叱りを受ける。必ず衆議院選で勝った後は参議院選で敗れる、そして衆議院選で勝つ、という具合になっています。ところが安倍晋三の場合は、やるべきではない時にやって勝っていて、全部勝っているんですよ。あれだけ批判されながらも、おもしろい政権ですよ。だからそういうケースもあります。

しかし菅という人はおそらく、党内がそういう空気でなければやる人ではありません。それから先程お話したように、ちゃんと自分の実績を堂々と引っさげてやるタイプです。しかしそれももはや、オリンピック後はいつかとなると、

わずか1カ月の間にやるかやらないかというか、大して日にちに差がないわけですよ。そうすると今度の場合は、明らかに限られた中で、時期が1週間2週間違うかの話です。だからおそらく、オリンピックはなんとか乗り切れたということで、パラリンピックが始まる頃には一斉にスタートしているでしょうね。与野党問わずスタートすると思います。おそらく新聞の報道も、「さあ決戦の場へ」というような雰囲気じゃないですかね。まだオリンピックの時は、感染状況にビクビクしながらやっているでしょうから。だから明らかに、これまでの解散前の空気とは違う姿が今回は出てくるだろうと思います。すでに始まっていることとすれば、「自由で開かれたインド太平洋」推進議員連盟という議連や、「町内会や自治会の活動を応援する」議員連盟なんて、何で今頃できるのかと思いますが、全部選挙に向けての活動ですからね。そこに入らないと後でポストが回ってこないかもしれないということです。それから政治資金パーティをこの前愛知でやっていましたよね、延期したところもあったけど、今そんなことをやっている場合かと、僕は思います。でも政治家としては次に備えなければいけない、そういう意味ではすでに走り出していますよね。

道 端 時間になりましたので、本日の講演会を終了いたします。橋本五郎先生、どうもありがとうございました。橋本先生にもう一度、大きな拍手をお願いいたします。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「2020 年の日本を振り返って！ — まさかの 1 年だった… —」

講師 白鷗大学 名誉教授

ノースアジア大学 総合研究センター客員教授

福岡 政 行

司会 ノースアジア大学 総合研究センター長

ノースアジア大学 経済学部教授

藤 本 剛

日時 令和 2 年 12 月 5 日 午後 1 時 00 分～ 2 時 30 分

会場 ノースアジア大学 40 周年記念館 271 教場

藤 本 本日の公開講座にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日の演題は「2020年の日本を振り返って！まさかの1年だった……」です。12月ということもあり、何かと慌ただしくなっていました。福岡先生は秋田のことも心配しておられました。どういったお話が聞けるのか、とても楽しみです。それでは福岡先生、よろしくお願いいたします。

福 岡 私は、1日に10回、体温を測るようにしています。前回の公開講座が9月でしたが、他の講演もいくつかある程度で、他大学の講演はリモートでの開催が多い状況です。世の中はすっかり様変わりしています。夜に外食に出かけても、10時にはお店が閉まるので、9時頃に食事を終えて外を歩いても、全く人通りはありません。タクシーに乗るのも嫌なので、ホテルに数日宿泊していました。現在は割引が多いので、4泊なら普段は10数万円かかるのですが、5万円くらいでした。さらに、Go to イート券も1万円くらいついてきましたが、この額はコンビニでは使い切れないし、ルームサービスで利用しました。やることなすことがとんでもない1年でしたが、原因はおそらく菅総理だと思います。

レジュメの内容に入ります。まずプレリウドですが、昨日のニュースでは新型コロナでの死者が54人、重傷者が505人でした。連日最大人数を更新している状況なのに、菅総理はGo to キャンペーンをやると、それも来年の6月末まで。この感覚はおそらくトランプ大統領以上に、国民の命と健康を考えていないなと思います。Go to キャンペーンを続ける理由は、やはり日本国が沈んでしまうということで、経済優先です。日本は二千万人の方が亡くなっています。アメリカの27万人と比べると100分の一だからいいだろうと。

国民の命と健康を守るために、コロナ患者を受け入れている病院の受付やガードマン、掃除の人まで含めて、1ヵ月に一律10万円でも15万円でも、医療関係者に支給することをしないと、医者や看護師の使命で受け入れると言っても、おそらくそれは難しいと思います。普通の病院の看護師さんでも、最低でも月々5万円くらいは支給してあげるべきだと思います。病院や介護施設で働く方々にも月々3万円でも5万円でも、体を触ってケアしなければならないような人達には、そのような対応をせざるを得ないのではないかと、思います。人の命の重さを、子供達がニュースで見て何を感じるのかなと思って暮らしています。このコロナは透明人間のようです。こればかりは本当にわかりません。私は電車に乗る時も、短い距離でも特急料金を払って誰もいないグリーン車の端の席に座ります。昨日の飛行機も一番前に座って、マスクしてじっとしていましたが、駄目な時は何をやっても駄目なんですけどね、って医者に言

われるとどうしようもありませんが。東京で仕事がある時は、午後2時頃、電車もあまり混まない時間帯に乗って、夜の会合が21時頃に終わってもタクシーで帰らないでホテルに泊まりながら、細心最大の注意をしています。

経済は、ホテルニューオータニの担当者によるとゴールデンウィーク時は、宿泊者が1割もいなかったそうです。その後も2～3割で、これでまた、暮れの忘年会シーズンで、おそらく来週くらいに数字が治まらなければ、私は東京発着ものを全てアウトにせざるを得ない。Go to キャンペーンはエビデンスがないと言っていますが、感染経路が50%わからないのであれば、やはり人の移動があることが最大の問題だろうと思います。ワクチンについては、かなり期待はできますが100点満点ではなく90%程度だということと、やはり体への副作用も報告されています。日本に来るのは、皆さんにはおそらく来年の3月か4月くらいだと思います。寒さが明けるとコロナが収まると言っていますが、今年のケースを見るとそんなに簡単ではないし、コロナも少しずつ変異しているらしいです。専門の医者から聞くと、安心はできないが、ワクチンができればオリンピックはできる、ワクチンができなければ、夏のオリンピック時は南半球は冬ですので、ブラジルやアフリカは大変だということで、おそらくできないであろうと聞きました。

レジュメ1番目、菅政権ですが、個人的に付き合いがあることは前回お伝えしました。いわゆる横浜のドン、藤木幸夫さんはIRを猛反対して、命をかけても辞めさせるという方で、大学と福井県の大先輩です。年に2、3回食事をするんですが、その時は必ず菅さんがいました。前回の9月に講演会で来た時に、水面下で菅さんに決まっていると皆さんにお話しました。背景は二階俊博であり、“政治は二階(・・)で決まる”ということで、菅さんは二階に「人事は任せる、自民党の金庫のお金も任せる」ということを含めて、二階・菅という形で決まり、麻生・安倍を外しにかかって長期政権、後継者は岸田以下、後で触れますが、パツとした人がいないです。そこで小池百合子の関係もあって、野田聖子を側近に置きました。野田聖子なら初代女性の総理大臣としていろいろあったと思いますが、菅さんは根回し万全でもって、そしてそのために、杉田和博官房副長官を使います。昨日の記者会見でもほとんどメモを見ながら話しています。国会の答弁を見てもわかるように、少し理解力が足りないのかなと、私の意見ではなくて霞ヶ関永田町の新聞記者や官僚から漏れてきています。

次に側近不在ということで、本当に信頼できる政治家の側近はいません。要するに無派閥でやってきて、何人かの秘書さんとやってきたということで、お気づきかと思いますが、外交や経済もカタカナをたくさん使います。“カーボ

ンニュートラル”だったり“デジタル庁は…”等いかがなものかと思います。唯一の側近は、杉田官房副長官です。学術会議であの6人を外した方です。彼の一番のエピソードは、TBS ワシントン支局長の山口という男が成田空港に着いた時に、高輪警察の刑事が逮捕状を持って逮捕しようとしていた時に、彼は杉田官房副長官に電話をし、そして警視庁の幹部から、「これは所轄のやることではない、警視庁の問題だ」とスルーさせたことがありました。前川喜平事務次官については、内閣調査室が尾行し続けて写真を撮り、発覚しました。これも警察官僚でもある杉田官房副長官によるもので、敵に回したら怖い、ある記者から「先生、気を付けて下さい」と言われています。霞ヶ関の官僚は皆ヒラメで、上の言うことしか聞かない。だけど最近、もう耐えられないと。東大法学部で一番優秀な人間は霞ヶ関にいません。アメリカの大学に行きます。その後はおそらくニューヨークでお金を扱うような仕事に就くんだと思いますが、とにかくヒラメ官僚が増えてきている印象です。

レジュメ2番目、安倍前総理と桜疑惑、そして卵疑惑、アキタフーズの疑いについてです。吉川貴盛元農水大臣が、安倍内閣時代に農水大臣在任中に大臣室やホテルで500万円もらった。とにかくお金配りの上手な広島県福山市の会社ですが、主立っては大島理森衆議院議長にも数百万円。すでにこれは政治資金の報告書内で明らかになっていますが、吉川さんの場合には、わかりやすいということと、非常にガードが甘い方ですので、立件されていくと思います。問題は、安倍晋三前総理の件についても、東京地検は本気で動いているということで、秘書の壁があります。おそらく第一公設秘書は、立件されて略式起訴になるし、会計責任者は刑事罰になる可能性があります。国会は終わりましたので、今晚か明日には、東京地検は安倍晋三前総理に会うと思われます。東京地検の検事の周りには、各社30人くらいがついて追いかけるという状況ですが、最新の情報は、黒川弘務東京高検庁検事長が辞めるその段階で、検事総長は安倍晋三のシンパではない、今はもう違う方になっていますから。この段階で東京地検は森友問題の時の仕返しをしなければいけない、赤木さんの自殺だけではないんだと。あの時にことごとくみんながパスしてしまった、大阪高検の次席検事に女性の方がいます。彼女はいいなりの女性ですので、このまま大阪高検の検事長になる予定ですが、流れは変わるかもしれない。

黒川検事長が解任された麻雀問題で、産経と朝日の記者とやっていたのですが、賭け麻雀で辞めた段階から、徹底的に調べたということです。そしてもう一つ、大きなポイントは、2018年から日本でも司法取引が始まりました。要するに、「お前が全て話してくれたら罪は軽くする」という制度です。ロッキー

ド事件の時に、コーチャン証言をアメリカで取りました。それを担当したのが私の先生で、後に東京地検特捜部長になった、河上和雄という弁護士です。当時は日本に司法取引がありませんから、アメリカに行って、コーチャンから証言を取りました。話してくれたらあなたは罪にしません、そう言われれば、自分を守るため、逃げることは得意ですからね。この事件を調べていくと、河井夫妻のことについて、県議や市議がペラペラ話しているのはそのせいだと思います。おそらく、彼らは名前が出てきても立件されません。これはもう略式扱い、罰金だけ払えばいいと、そういう仕組みです。話は戻しますが、アキタフーズから出て来た書類を見たら、相当な金額を渡している、当時の元会長さんはおしゃべりな方で、どんどん調べていくと、とんでもないことが発覚し、東京地検は読売新聞に情報を流して、ホテルニューオータニと全日空とで司法取引をしました。見積書や領収証はある期間保管していなければいけませんから、それを印刷して提出しました。

このように東京地検は、リークを受けながら司法取引を関係者にして、約20人の安倍晋三事務所の関係者、特に地元の秘書さん、そして桜の会に出席した主立った方々を対象に、東京と山口県で事情聴取しました。その時に、検察は「司法取引しましょうか、あなたの名前は出ませんから。ただ、言うことは言っていたかないといけません」と。これにより、予想以上に、想定外の証言を得ました。毎年参加している人もいますからね。その中には、「ニューオータニで食事をして、桜の会の会場である新宿御苑で芸能人と写真を撮り、そして桜の会が終わったら歌舞伎座や雷門、スカイツリーなどの都内観光です。そして夕方に帰る。こんな楽しい旅行はない」と証言する人がいるくらいです。安倍さんが総理になって、桜の会の規模は1,000人以上に参加者が増えた。桜の会は、本来はオリンピックで成績を残した方や、文化・芸術で頑張った方等が参加者中心となっていて、政治家は数人程度です。小泉純一郎さんで、地元である横須賀の人を100人程度、麻生太郎副総理で多くても50人程度だと思います。それが安倍さんの時は下関から900人以上、しかもおそらく毎年参加している。これは、黒川検事長が辞めた後の司法取引がかなり行われていたのかなと思います。まだ想像の段階ではありますが。そして、黒川さんが検事長を辞めるとなった段階で、安倍さんはわざわざカメラを連れて病院に行き、潰瘍性大腸炎が深刻だということで総理を辞め、ほとぼりが冷めるまで静かにしていようということで菅総理の誕生につながります。

この数日、二階・菅ラインは安倍サイドを切るまではいきませんが、かなり冷たくあしらっています。おそらく来週中、年内、安倍総理大臣の国会での参

考人になる可能性があります。それでもって、安倍さんは政治家を辞めざるを得ない状況まで追い詰められるか、いずれにしても影響力は失うことになる。そして麻生太郎さんも息子に譲る準備をしていますので、いわゆる二階・菅ラインで“国土強靱化地域計画”、20兆円規模で、そんなの今必要ですかね？まずコロナ対策と、ひとり親、シングルシルバーのような収入が低い人や医療関係者にバックアップ事業として2兆円でも3兆円でも使ったらいいのに、何か違うよなあ、と思ってしまいます。

卵事件については、おそらく吉川一人だと思っていますが、他の名前もこれから出てくるとは思います。二階さんが軸になってきている。だけでも80才を超えていて、奥様も亡くなられて、自身の役職よりも自民党の金庫と自分の関係者を大臣にしたい、キングメーカーになろうとしています。でも私から見るとそこまでの人物ではないかと思っていますし、どこかでボロが出る可能性だってあることをお伝えしておきます。

そしてレジュメ3番目、ポスト菅さんがいない。これが実を言うと二階・菅の強さであって、うまく周りを振り分ければ、長期政権にもなる。4年でも5年でもいくぞ、と思っていた節があります。野党も駄目、マスコミも無気力でしたが少し変わってきました。岸田文雄は私の後輩で、広島でのボランティアも手伝ってくれていたので応援したいと思っていたのですが、負け戦をしたがらず勝ち戦ばかりに乘ろうとする。「麻布高校から、東大ではなく早稲田に来た人間は根性がないな」と言ったことがあります。いい奴ですが、ちょっと難しい人間です。それから野田聖子さんは小池百合子の友達で、かなりやんちゃな女性です。まだお金の問題が言われていますが、今は二階さんに取り入って雑用をやっています。石破茂は派閥の長もやめています、悪い奴ではないですが政治的なセンスがない。一緒に食事をしたこともあります、暗い印象です。河野太郎は、最近ひよってきました。自分の出番は次ではないが、次の次くらいだろうと。河野太郎は利口すぎるというか、勘はいい男ですが、周囲のことがわからないという弱さがあります。

問題は、東京都知事の小池百合子です。この人は、都知事はいつ辞めてもいいと思っています。来年のオリンピックはやりたいと思っていますが、それよりも「あんな連中が総理をやっているなら、私の方が良いんじゃないの」と思っていて、まだ野心があります。彼女は都庁のPCR検査担当の幹部ですが、数名が配置転換になりました。彼女の好き嫌いの激しさは深刻だと言われている、ノイローゼ状態になった人もいるほどでした。小泉さんや細川さんと親しい関係でこれまでやってきましたが、彼女には、アドバイスするような人もおそら

くないだろうと思います。小泉進次郎くんは、全く番外になりました。美人の奥さんがいて、お子さんが産まれて駄目になってしまった。そして明らかに、彼は勉強不足だと思います。彼は大学でも野球をやっていたくらい野球が大好きですが、政治についてはまだまだです。

二階さんのキングメーカーについては話をしましたが、国土強靱化計画で堤防を作るよりも、それよりも太陽光パネルや風力発電を作るとか、やれることはあるはずです。ここに来て、無駄な公共事業がどんどん増えている印象があります。立憲民主党の枝野という男は、やはり難しいです。東北大学を出た弁護士ですが、力不足。野党である、国民民主党の玉木という男も辞めた方がいいなと思ってしまいます。今はまだ共産党の方がマシなのかな、と思ってしまいます。維新については、橋下徹さんが頻繁にテレビに出ています。レギュラーもやっていて、選挙に出るのかなと思う程です。大阪府知事や大阪市長では何か弱いから、橋下さん自身がもう一度総選挙で出てくるのか？という話を官邸番の記者に聞いたら、「いえ、金銭的な問題です。維新の会が、財政的に厳しいからじゃないですか？本人は政治をやる気は2万%ないと思います」と言っていました。でも、朝から夜までずっと出ていますよね。私は一度、10年程前ですが、彼とテレビ番組で大喧嘩をしたことがあって、キリがないからやめてくださいとテレビ局から言われたことがあります。以上が野党ですが、マスコミも駄目かなと思っています。

レジュメ4番目、アメリカ大統領選ですが、バイデンさんが勝ちましたが、どう見ても過去の人だな、年齢以上に軽い認知症というか、私も最近人のことは言えないですが、同じことを2、3回言うらしいです。耳もあまり聞こえないとか、体力不足だと言われていますが、とても良い人だそうです。3.11のあと、副大統領時代だと思いますが、宮城に来てくれています。その時の皆さんと一緒に話している姿は、これがアメリカの副大統領なのかと思う程、ビックリするくらいに相手の話を大切に聞いてくれ、ソフト目線です。今回の広報担当や経済担当は、ことごとく女性ですもんね。問題は副大統領であるカマラ・ハリスさん、相当な才媛です。頭の回転で言えば、彼女の右に出る者はいない。アメリカのディベート、討論をした場合に彼女に勝てる人はほぼいません。彼女がおそらく3年後くらい、次の大統領選の直前にバイデンは体調不良の為に辞職し、大統領が辞めたら副大統領が自動的に大統領になりますから、選挙の半年前に、初の女性大統領、ハリスが誕生する。彼女は半年やってその後2期8年を経たら8年半くらいやることになります。バイデンは、基本的に側近におまかせです。ですからFRBの議長に、弱者救済をやってくれとお願いしま

した。具体的には、マイノリティ、黒人を含め、少数民族の仕事のない人達に仕事を与えるか、何らかの形で助成をしてくれという内容です。そのような点では、民主党はかなり動いているという印象です。

問題は、その後にもしかしたら対中国路線はこのままいけますが、おそらくどこかで習近平とバイデンは手を打つと思います。習近平もしたたかですから、おそらくどこかのタイミングでバイデンと話をする。習近平をワシントンに呼ぶという場合もあり得ます。この推測はつきますが、問題はその後で、北朝鮮の動向です。北朝鮮サイドから、今はアメリカの悪口を言うなという内容で非公式な文書が出ていると、韓国側で情報が出ています。こんな手段を金正恩がやるのかなと思っていたら、妹の金与正が関与しているのではないか、との見方でした。ここからは私の推測ですが、思い切ってバイデンのいるワシントンに行って開国しないと、中国は嫌がらせをしてくるし、金正恩はあの年齢であの太り方で糖尿病ですから、コロナに対する恐怖心もあると思います。もしかしたら来年の夏ころ、コロナが落ち着いた段階、あるいはオリンピック期間の東京、もしくはワシントンに行くこともあり得ます。北朝鮮からアメリカまで行く飛行機はおそらくないと思います。ですから、行くとなるとどこかに借りることになると思います。

レジュメの5番目、コロナは来年の春くらい、東京なら3月～4月、秋田なら5月くらいでしょうか、ワクチンがある程度できて、日本人が打ち始めるのは大体2月くらいからでしょうから、高齢者、医療関係者、持病のある方からになると思います。オリンピックの開催可能性は五分五分で、コンビニと薬局だけはいいです。コンビニは売り上げは伸びていませんが、テイクアウトを含めて買いやすさが便利で、薬局は消毒液とマスクが要因ですが、アイリスオーヤマはマスクの工場を作っておそらく大成功だと思います。デリバリーが商売になり、今後はライフスタイルが商売の中身を変えていくことも起こりうるだろうと思います。

問題は、秋田県についてです。私が十数年前に来た時は、人口は106～107万人でした。おそらく今年は96～97万人です。ところが、いろいろ計算をすると、2050年には60±2万人だろうと言われています。約110万人から60万人に減り、あの秋田駅の閑散とした姿、キャッスルホテル前の立派な建物、閑古鳥すらも鳴かなくなっている。人口100万人以上だった県が60万人になる。秋田駅前を車で通った時に、“保育園 園児募集”と書いてありました。まず、東京ではないことです。東京はどの保育園も定員いっぱい、むしろ保育士さんが欲しい状況です。大阪の人口を見ると、2040～2050年で800万人

程度から141万人減ると言われており、鳥取は数年前で59万人だったのが2050年には44万人、日本で一番人口が少ない県です。私のゼミ生の鳥取のテレビ局の記者から聞きましたが、今から5年ほど前スターバックスは、ありませんでした。いずれ日本は、東京と名古屋のメガリージョンです。リニアモーターカーも、品川から出発して名古屋で停まって、おそらく京都・大阪は別枠となり、それでもって日本はそこにおさまってしまうくらいです。日本の人口も3000万人減って9000万人程度になってしまうんですから。今では東京の人口すら減っています。テレワークが普及してきて、それなら埼玉、千葉、茨城に住もうと、庭付き一戸建ての住宅に住む人が増えています。地方都市は、想像以上に大変です。地方の大学に関して言えば、国公立だけで十分で、私立大学は介護系や看護師とか、専門職じゃないと難しいです。少子化ですから、児童教育である幼稚園教諭、保育士も厳しい。そういうことを含めて、状況が変わってきているということです。

レジュメ6番目、コロナで解散総選挙がどうかということですが、おそらく3月くらいまではできません。コロナがこの状況の中で、野党も不信任案を出すことはしません。そうすると、コロナが落ち着いたなとなりそうなのがゴールデンウィーク前後。しかしオリンピックまであと2ヶ月、そろそろ外国人選手が日本に入国してくる時期です。そこでできるか、全て終わって任期満了の9月では、丸4年となります。これは杉田官房副長官が、内閣調査室で世論調査しています。支持率は65%から55%まで下がりました。でも予想以上に下がらないです。その要因は、携帯電話料金の値下げです。自民公明維新は、スクラムを組んでやります。公明維新もけんかをしないようになりました。橋下徹さんが間に入っているのも事実です。菅さんと大阪府知事も関係は良好です。これらがスクラムを組んでまとまればいいけど、おそらくまとまっていません。

そんなところに、小泉純一郎さんが北海道寿都町に講演で行きました。原発ゼロやカーボンニュートラルに触れていました。水素電池や電気自動車、燃料電池の水素で充電して、ガソリン自動車はいずれなくなると。ドイツは2030年代を目指し、日本もその方向で動いていますが、おそらくトヨタも日産もホンダも動くと思います。カーボンニュートラルは大事です。私は原発ゼロの方向にハッキリうつるべきだと思っていましたが、宮城県女川原発が再稼働することになりました。私は女川に何回か行っていて、あの地形を見て、ちょっと高台にあったからなんとか震災を逃れたけど、あそこで万が一のことがあったら、仙台もアウトだし松島もアウトです。ただ、原発ゼロの会は密かに動いているということだけはお話しておきます。

レジュメ 7 番目、商店街はなくなります。秋田はすでにその状況だと思えますし、岐阜に行った時にも、駅前の商店街はもうないです。立ち飲み屋のようなものは何ヵ所か出てきましたが、全部今は駅ナカで、そのそばにあるスーパー、そして駅から離れたところに高島屋というデパートがありますが、いつ引き上げることになるのか、という状態です。デパートで残るのは、東京駅大丸とか、新宿駅高島屋とか、横浜の店舗くらいだと思います。

知り合いの子供がこの 4 月に早稲田大学に入学したのですが、まだ一度も学校に行っていないそうです。全部テレワークで、ゼミも 1 年生だからまだない。テレワーク・テレストアディ、パソコンとスマホがあれば勉強ができるけどと。そして、断三密についてですが、ずっと一人でいると変になりますよね。だから本当であれば大声を出したいし、会話がないと人間は駄目になります。人間は本来密じゃないと駄目ですが、それが今はできない。私は月に 1 回、少人数で大学や中学の同級生の会を開いています。短い時間でもそうやって会うことで、頭の回転を維持しています。

私は定期的に散歩やスクワットをしたり、できないのにホームページに徒然日記を毎朝 5 時に起きて書き込んでいます。この 2 ヶ月、10 月くらいから“2050 年の日本”について話していますが、講演を聞いた人や主催者から、「先生、早く本にして出してください」と言われました。2050 年の日本という国はどんな国になっているのかな、ということです。簡単に言うと、日本の人口は約 3,000 万人減って、9,500 万人に、ピンと来ないけど、3,000 万人減るということは 4 分の 1 が減るわけで、秋田は実感があると思います。そして、赤ちゃんも今は 80 万人くらいですが、40 万人を切る。0 - 18 才の人口も、どんどん減って 800 万人ちょっとです。18 で割れば 50 万人前後ですから、となると 2040 年以降は 30 ~ 40 万人、団塊の世代はある程度いると思いますが、そんな時代になっていく。先程話した大阪・鳥取に加えて、北海道・島根・秋田も深刻です。やはりメガリージョンが東京・名古屋に集中する。ただ、おそらく 30 年以内に南海トラフが四国から近畿地方南部で起こる可能性が高いと、言われています。そうすると、ますます関西地区が駄目になっていくのかなと思ってしまいます。京都は観光客が来ていますが、大阪は難しいだろう。

消費税 25%、食料品 15% の二重税率、結構大変ですよ。と言うのは、消費税収入が一番多くて、20 兆円を超えました。仮に 25% になると、これが約 50 兆円になります。つまり人口が減って法人税や所得税が入らなくなれば、約 100 兆円のうち消費税で半分まかなって、法人税や所得税は合わせても 30 兆円いかないので、あとは国債を発行するしかない。ヨーロッパでは消費税

25%はざらにあるので、そういう時代になるかもしれない2050年頃には、お寺やお墓がなくなります。最近では四十九日をやらないところもあるし、遺体を病院から火葬場まで直送し、家族葬すらやらないし、お坊さんも呼ばない、そしてお寺の墓地も要らない、となってしまう。

結びですが、日本をどうにかしなくちゃと思っています。3割自粛生活、今までは競馬新聞もスポーツ新聞も3紙ずつ買っていましたが、今は2紙ずつに減らし、なんでも1つやめる。公務員は要らない。あんな暇そうな秋田県庁や秋田市役所見たら、よく皆さん税金払ってますよね。銀行の窓口の方がはるかに忙しそうでしょ？今はテレワークで全部できますよ。職員も給料も2割カット、それだけで8兆円浮きますよ。それを医療関係者やひとり親・シングルシルバーに助成すべき、ちょっと切り替えれば済む話です。それから、介護付きで、食堂や大風呂のあるシルバー住宅を街の真ん中に作る。その脇に低家賃住宅があるようなコンパクトシティを作るのはどうか。江戸川区では、介護施設系のシルバー住宅とひとり親向け住宅が隣り合わせになっているところもあります。私は中学の母校の前に住んでいますが、子供の声が聞こえてとてもいいなと思います。高齢者の中には、子供の声がうるさいという人もいますがね。

コンビニについては、イトインスペースが店内の端にありますよね。仙台にあるイトインスペースでも、OLさんやお年寄り、若い人もそこで食べている。イトインの利用者が多いのであれば、その脇にコインランドリーがあれば洗濯している間に食事やコーヒーが飲めて便利です。都内のローソンでは、100円ローソンで野菜も売っています。

来年の3月は、おそらくコロナが深刻な時期で、公開講座は難しいと思います。今日がもしかしたら今年度最後の公開講座かもしれませんので、皆さん良いお年をお迎えください。

藤 本 福岡先生、どうもありがとうございました。それでは、ご質問のある方は挙手をしてお知らせください。

質問者 本日は、どうもありがとうございました。原発の核のゴミについてですが、どんどん再稼働が進んでいくと、ゴミも増えていきますが、最終的にどうなっていくのでしょうか。

福 岡 本当に良い質問です。今は福島原発の損傷した核のゴミは、あの中にあります。ただ福島は地震が多いから外さなければならなくなって、北海道の稚内の南30kmくらいに幌延町があって、そこに地下処分場の実験場があります。地下の深さ約30mで、フィンランドのオンカロをまねて作っています。日本

でもどこかには作らないといけないので、消去法でいうと、北海道は、オホーツク海側は比較的地震が少ないので、網走とか根室あたり、そして幌延町かなと。そうなった場合、住民の皆さんには移ってもらわないといけないですが、どこかで決めない限り、寿都町と神恵内村では無理です。

藤 本 他にご質問のある方いらっしゃいますか？

質問者 本日はどうもありがとうございました。コロナが始まった時は飛沫感染だと言われていて、その後今度は空気感染だと言われるようになりました。そう考えると、コロナの感染力を考えると私を含めて、ここにいる人達の体内にはすでにコロナの菌があるのではないかと思うのですが、先生のご意見を頂戴できますでしょうか。

福 岡 都内の病院は、有料ですがPCR 検査をやってくれます。私も一度検査しましたが、陰性でした。病院関係者に会って聞いたら、コロナウイルスは大体8、9時間生きています。体の表面や髪の毛には付いているそうです。そのウイルスは3、4 mは動くそうです。都内で朝夕の通勤ラッシュ時の混み具合を考えると、どうやってもウイルスはつきますよね、そうやって増えているんだと思います。コロナがどんどん広がってくると、陰性で抗体を持っている人が増えてくる気がします。ところが最近のコロナは、時間が経つとどんどん変異していくようなので、うがい・手洗い・マスクが引き続き重要と思います。

藤 本 福岡先生、どうもありがとうございました。皆さん、福岡先生に盛大な拍手をお願いします。この後にゼミナールを開催いたしますので、どうぞご参加ください。本日はどうもありがとうございました。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「2021 年の日本を展望する !? ーオリンピック中止か…ー」

講師 白鷗大学 名誉教授

ノースアジア大学 総合研究センター客員教授

福 岡 政 行

司会 ノースアジア大学 総合研究センター長

ノースアジア大学 経済学部教授

藤 本 剛

日時 令和 3 年 3 月 6 日 午後 1 時 00 分～ 2 時 30 分

会場 ノースアジア大学 40 周年記念館 271 教場

藤 本 今日は、令和2年度最後の公開講座の講演会となりました。本日の演題は「2021年の日本を展望する!?オリンピック中止か……」です。オリンピックが中止になるのかどうか、大変貴重なお話が聞けるかと思います。それでは福岡先生、よろしくお願いいたします。

福 岡 冒頭に嫌な話を二つします。オリンピックは、これまで開催については五分五分くらいでしたが、ヨーロッパ等の動きを見ると、できないとは言いませんが、おそらく7割程度は厳しいのではないかという雰囲気になってきました。特にイギリス、フランスの変異ウイルスの問題で、ヨーロッパサイドは状況がかなり厳しくなってきたと。アメリカの東海岸は良いのですが、西海岸の方で感染者数が減らないということなので、ヨーロッパの主立った2、3か国が来ないと、オリンピックにならないのではという雰囲気なので、そのことも含めて後程お話しします。

もう一点、ニュースを見るのが嫌なのは、5歳の子供が餓死するという信じられない事件がありましたね。パチンコなどに全部お金を使って、水くらいしか与えないという状況でした。白鷗大学の時に、あるゼミ生がコンビニでバイトをしていた時に、小さい子がアザだらけで来るので、「どうしたの?」と聞くと、「う～ん。」くらいしか言わず、どう見ても怪しいと思ってすぐに警察に連れて行きました。そしたら児童相談所に連れていかれて、一週間後に橋から突き落とされて死にました。犯人はおじさんだったかと思うんですが、その事件を見た時に、現在の栃木県知事が当時宇都宮市長で、彼は責任を取って、自身の退職金を半額にと言いました。ただ、その時の児童相談所と福祉課の人間の言葉は、本当に血が通っていないと感じました。その子供の家に言った時に、1月なのに水道や電気が止まっていて、家の中から子供の泣き声がするんですが、ドアが閉まっていて名前を呼んでも返事がなかったので帰ってきましたと。それをテレビで見て、すぐに当時の宇都宮市長に連絡し、呼びつけて怒鳴り上げたことがあります。その後、神奈川県相模原でも同じような事件があって、憲法第15条、「公務員は国民全体の奉仕者である」と。公務員は、3年経つとこんなに楽な良い仕事はない、と思う。特に、児童相談所です。イギリスの場合は、少しでも変だと思うと親と子を離すんです。人権や親権は関係ありません。子供の命が最優先です。これは我が日本にはないところであり、変えなければいけないと思いながらも20年経っています。このお母さんも情けないというか、マインドコントロールされているなと思いました。

秋田県は、コロナの感染者数ゼロが続いているので、とてもうれしいです。東京の後に秋田の感染者数を必ず見ていました。先日の岐阜の講演会の時に、

やはり東京の人が怖いと言われました。秋田県は、この冬の寒い時期でも感染者数ゼロというのは、秋田県民の律儀さであると思っています。東京はやはり減りません。現在、一番ひどいのは千葉県、総武線沿線です。東京から千葉市に行く間の市川とか船橋、幕張のあたりが、ものすごく出ています。ディズニーランドも近くにあるので、その関係もあるかもしれません。孫に1年以上会っていませんが、それが非常に辛いです。今回東京から秋田に来て、この後仙台にも行かなければならないので、対策をして移動しています。このコロナが、年内いっぱい、最悪来年まで持ち越しになった場合、5月のゴールデンウィーク明けくらいにオリンピック中止が最終的に決まると、経済がガタッと落ちます。いろんな費用がかかるのは国がなんとかすればいいんですが、気持ちが皆沈んでしまう。そしてやはり東京で300人、千葉・埼玉・神奈川で100人以上の状態が続いていくと、日本経済は非常に厳しいです。秋田の川反のみならず、銀座の夜もなかなか厳しいです。ここまで状況が悪化してくると、お金の問題です。補助金があり、事業所を辞めても1日5、6万円、小さな店だとどうでしょう、雇い人が1人だったとして、家賃が10万円だったら180万円、良いですね。差引しても5、60万円は手元に残ります。ある程度の規模の企業になると大変で、規模別で、辞めろというのなら国が保障して、そのお金が何十兆円かかっても、ここを乗り切るしかない。日本も最近動き出しましたが、沈んでいってる印象です。電車には乗れないのでほぼ車で移動していますが、運転手さんたちも皆マスクをしながら、車内の感染防止対策がしっかりされすぎていて、その光景もちょっと嫌だなあと感じます。

それでは、レジュメ1番目、オリンピックの内容に入ります。ワクチンの性能の良いものが出始めるのが6月頃の場合、世界中にワクチンがまわらないということと、ヨーロッパの変異種が出始めたという点から、5月中頃までに落ち着かない場合には、ヨーロッパサイドで選手をオリンピックに参加させない国が数か国出てくると、オリンピックを中止せざるを得ないという方向になりつつあるということです。このことがあって、緊急事態宣言を3月21日まで延長しました。しかしその段階でおそらく終わらないと思います。これから花見のシーズンですが、ブルーシートは敷かず立見で見るとか、プロ野球は観客の入場制限を決めてオープン戦も開幕しました。他のスポーツでは無観客で試合をしているものもありますよね。少しでも観客が入れば雰囲気も出て盛り上がると思うけれどもなかなかそうはうまくいかない。最大の問題は、選抜高校野球です。開催の実現はなかなか厳しいところがあり、関西大阪は確かに減ってきてはいますが、ここにきて新変種ウイルスが出て来たということで気に

なっています。皆さんも気になっているかと思いますが、なぜ橋下徹さんはあんなにテレビに出ているのか。私は選挙に出るのかなと思っていたのですが、早稲田大学の同級生であり、コメンテーターの大谷昭宏が言うには、「維新は財政力がないから、橋下はもう政治はやらないけど一生懸命稼いでいる」と。どこのチャンネルでも朝から夜まで出ていて、彼は一時、テレビ出演のギャラは100万円でした。でも今のテレビ局はそんなにお金がないから、おそらく数十万円だと思います。私が朝の情報番組、「スッキリ」に出ていた時は、それでも2時間で15万円くらいでしたが今では3万円です。状況はだいぶ変わっています。

この緊急事態宣言で、おそらく首都圏はおさまりません。その最大の理由が満員電車です。朝に多少の時間のズレはあっても、東京のラッシュアワーはとても乗り切れません。私は何十年間も乗っていないし、そもそも嫌なので大学に残ったというしたたかな人間です。思い切って、朝番と午後番に企業も大学も変える。朝8時からの人と午後2時からの人で分け、昼の1時間だけ会話可能、朝番は午後1時まで勤務、午後番の人は夜8時まで勤務、そして昼の時間に打合せをすると。テレワークだけでは無理ですし、そこまでやらないとコロナはきっとおさまらない。やっとここに来て「先生の言っていた案、考えますよ」と霞ヶ関の上級国民のごく一部が言い出しました。オーストラリアの女性首相のように大胆にやるべきです。日本の今の広がり、年末年始にかなり自由に動かしてしまった、あのままずっと緊急事態宣言をつなげておけば、この状況にはならなかったのではないかと。ちょっと打つ手が後手後手になっていますよね。夜の街はほぼ死にかかっています。赤坂に食事に行った時に、そのあたりは料亭街ですが、20時頃は芸者さんが一人も歩いていません。稽古の合間に介護士や保育士の資格を取るために勉強に通っていますと料亭のおかみさんから聞きました。日本の経済は完全に落ち込んでいますので、これでオリンピックまで中止になったらさらに大変です。

レジュメ2点目、解散総選挙についてです。オリンピックがなくなれば、おそらく解散総選挙は7月、東京都議会議員選挙に合わせるのではないかと思います。オリンピックが開催されれば解散総選挙はできませんし、コロナワクチン接種もしなければいけませんので、学校含めて投票所になるようなところはワクチン接種会場にもなっている場合が多いですので、おそらくオリンピックが終わって8月末解散、9月の任期満了ギリギリという流れになるのではないかと思います。レジュメの順番が逆になりますが、その前に菅総理がどこで辞めるのか、辞めざるを得なくなるのか。今回の総務省の問題で、おそらく

アウトだと思いますが、今はマスコミが弱腰で、やっとTBS系列と朝日放送系列が批判しました。オリンピックが中止になる段階で、コロナ及び総務省の問題を含め、谷脇総務審議官の問題によっておそらく検察が動けば、菅総理はそこで辞めざるを得なくなると、永田町国会近辺では言われています。

菅総理の後任となると、これがまた大変です。人気がある者に任せようということで、一時は河野太郎がかなり有力でした。しかし彼は言うことは立派だけど、ワクチンを含めてやっていることはハッキリしていないとわかってきました。河野洋平さんは控えめだけど息子は派手なだけで若すぎる。一時は、菅総理も二階幹事長も河野太郎、小泉進次郎の「太郎次郎関係」で選挙だけでも乗り切ろうと思ったんですが、候補としての河野太郎はなくなってきたのではないかと思います。そうすると、次には野田聖子の名前が挙がってきますが、彼女は依然としてやる気です。二階さんが後ろについています。小池百合子の話をしなければなりません、もしオリンピック後の9月に解散総選挙だと、小池百合子が都知事を辞めた後に野田聖子と組んで、何かやろうとする動きが依然としてあります。この二人は、好きではないけどお互いの力を利用することでコミュニケーションをとっている印象です。ですからオリンピック前ならありませんが、オリンピックが終わったら、小池百合子はもう一度国政へという野心は相当なものがあると思います。野田聖子も岐阜の大学に行っていますが、正直なところ難しいです。石破茂については、彼が思い切って小泉進次郎を連れて30人くらいで、自民党から出て野党と組み、共産党も拡大協力する、という話が前から流れています。石破茂という男は、選挙制度改革時にかかなり長い間一緒に講演していました。とてもいい人ではありますが、日本の地方や経済を勉強すればいいのに、と思ってしまいます。そうすると、他にいません。小泉進次郎は、結婚してからあまりやる気を感じられなくなり、人気先行で潰れてしまった印象で、やはり人材不足です。それは長かった安倍政権の中で、大したことのない人間が比例復活で当選したことによって、なんとなく目立ちたがりの人間が残り、スキャンダル等の不祥事で辞めていく始末です。国民目線で、「どうしてもこの人だ」という人がいないと、小池百合子はそれを敏感に感じ取り、だから彼女の野心もなかなか衰えないです。二階さんと合わない麻生太郎はどうしても辞めさせたい、麻生太郎はああいう性格ですから持ち手のカードがないんです。面倒を見ることもない。言いにくいですが、麻生さんが総理になる時、赤坂の料亭やホテルオークラで何回か食事をした時にアドバイスをしました。総理就任後に食事をした時に、その時は「本当にありがとう」と感謝されましたが、それっきりです。普通は、それ以降もパーティや公の場

で会ったら挨拶するものだと思うのですが、彼の場合は全くありません。それじゃ駄目だろうと思いますよね。心が少しでもあれば、見かけたらちょっとでも声を掛けると思いますよ、自ら出向いて頭を下げます。そういうところが彼にはありませんので、ちょっと厳しいかなと思います。

野党の話をししますが、私は立憲民主党のリーダーである枝野幸男の選挙の応援をしたことがあります。彼は宇都宮高校出身で、東北大学法学部に進学し、司法試験に合格しました。とても優秀ですが、人間が小さいかなと思います。人望はありませんが、上司の野田佳彦や菅直人、鳩山由紀夫が情けなくて、結果消去法で決まったのですが、華がないです。周りにいるのは全て松下政経塾の教え子だったりして、何かやろうとする姿勢が全くないです。山井和則は私のゼミ生みたいなものですが、頭が良く、京都大学を卒業しており、介護施設で働いた経験もあるいい奴ですが、トップリーダーとしての器ではなく、結局無理だという話になり、どの野党に任せるのということになります。一度政権を変えないと、霞が関の上級国民は、内閣人事局ができてからは全部ヒラメで、ゴマすりが全部上を向いて全く下を見ない。下を向いて何かしようとする全員飛ばされてしまうそうです。与党もない、自民党もない、野党もない、共産党にするわけにもいかない、維新もちょっと難しい。だから、日本の国は、オリンピックが終わって経済が悪くなったら本当に駄目になってしまうので、私は秋田に逃げてきて、田んぼを借りて自作しようとひそかに思っています。

公明党についても、創価学会の会員が高齢になったことで票数が伸びません。山口那津男と以前はとても親しかったんです。あんなに頑張っているのに自ら大臣をやりませんから、偉いでしょ。いい奴だなと思ったら、最近やはり公明党はどんどんシュリンクしているので厳しい、ですから新しい政党を立ち上げるしかない。でもそんな腕力はなく、財力はユニクロの株を売ればなんとかなるかもしれませんが、やる気もない。

ただ私は、戦後日本の大きな20年間の政権交代に2度関わりました。1度目は、細川護熙さんが総理になる時に、熊本県の熊本日新聞の講演会に行った後、当時県知事だった細川さんに呼ばれ、二人で会いました。その時に彼は、「知事を辞めて国会議員になり、総理をやりたい。新しい政党を作るから協力してほしい」と言いました。それが日本新党です。そこに小池百合子さんが行きました。それは今から20年近く前のことですが、それで細川さんが参議院で勝って衆議院で圧勝し、8会派、自民党を除く全ての会派が連立を組み、首相公邸で記念写真を撮ったことがあります。私は東京新聞のバッジをつけて端

で見えていましたが、当時鳩山由紀夫が官房副長官でした。彼とは友愛の関係で古い付き合いですが、「先生いつまで続きますか、細川さん飽きっぽいですから」と言っていて、わずか半年くらいでしたかね、国民福祉税、消費税を上げるという案で小沢一郎さんが官邸に来て、細川さんが激怒しました。そして細川さんから電話が来て、「辞めます」と、2月のことでした。「予算だけは通してから辞めなさい」と言い、4月に予算が通るまで、踏ん張ったという経緯がありました。やはりどこかで、駄目元で政権交代しないと、永田町も霞ヶ関も官邸も緩んでしまう。今度、もしそういうチャンスがあれば、警察官僚であり、内閣官房副長官の杉田和博と手を組まないと刺されますから。彼はものすごい警察情報を持っていますから、彼と手を組んで日本の政治を動かしてみたいという気持ちはあります。

2度目は、ご記憶にあるかと思いますが、鳩山由紀夫政権が誕生した時です。この時はNHKで党首討論がありました。その時私はコーディネーターを担当し、岡田克也、鳩山由紀夫がいました。ホテルオークラの大きな会場で、民主党系議員の前で1時間、NHKで全国中継されました。この時に高い評価を受けて、民主党は夏の選挙で圧勝したというケースがありました。コロナがもう少し落ち着いて、選挙がハッキリしてきたらやってみようと思っています。それが、今の日本全体の政治の状況であります。

レジュメ4番目に入ります。ここから少し暗い話をしばらくしますが、“2050年の日本”という本は、現在は書き上げて最終確認の段階で、今後電子書籍で発行予定です。私はパソコンが得意ではないので助手が一生懸命直してくれていますが、これを書くきっかけは、実は秋田県です。私はこの公開講座に10年以上来ています。10年前の3.11、私はその日に秋田空港に着いて、その後キャッスルホテルにチェックインした時にちょうど地震がありました。部屋に入ろうとしてエレベーターを降りたら、急に揺れだして、部屋に入ったらすごく揺れて、テレビをつけようとしても停電でつかない。携帯電話で東京にかけようとしてもつながらない。そんな状況でした。その日はホテルの部屋に入れず、1Fのロビーで過ごすことになりました。雪も舞っていて結構寒かったのを覚えています。あれから10年が経ちましたが、その年の2月、ニュージーランドで地震がありました。3.11の地震の後、当時白鷗大学のゼミ生とワゴン車で2カ月ほど、東北でボランティア活動をしました。その時に、行く先々で、「この前のニュージーランドの地震の時、津波が膝下くらいまでしか来なかったから大丈夫だろうと思っていたら、実際にはとんでもない状況だったんです」と泣きながら話していました。今は必ず寝るときには、自宅でもホテル

でも携帯電話と財布と Suica と水だけは近くに置くようにしています。備えあれば憂いなしです。ニュージーランドの地震はかなり頻発しているそうです。日本でいえば、宮城県から福島県だった震源地が茨城県に南下している様子がありますので、今後不測の事態が起こるかもしれないと考えるようにしています。

現在の秋田県の人口が96万人、10数年前は110万人だったと思います。そして昨日ホテルに着いて、秋田魁新報を買って読んだら、一面に「おとしの出生数が5000人を下回る」とありました。仮に5000人だとして、80才まで生きても40万人、現在の人口96万人が、80年後には40万人、社会減が大体2000人だと言われています。秋田の大学卒業、あるいは秋田の進学校を卒業し、都市部の大学に進学しても、県庁やテレビ局、新聞社、銀行等はほぼ就職先はないです。社会減が2000人、出生数が4000人となると、2000人しか増えないので、80年で16万人という計算になります。“世界の人口”という本を読んだら、人口が減って、再び増えたという歴史は世界でも前例がないそうです。どうでしょう、2人目産まれたら300万円、3人目産まれたら500万円をお母さんに支給するとすると、間違いなく産むと思います。それくらいのことをやらないといけませんよね。フランスはこれに似た政策で、一時期出生数が2.2まで上がりました。保育料を無料にするとかではなくて、無駄な公務員の給料を2割カットして、その分を政策にまわすような覚悟を持たないと駄目です。

自分のふるさとが好きなら、秋田で料理の得意なおばちゃんを集めて、きりたんぼの新しい味を考えてみるとか。今日はこの後仙台に行くのですが、秋田のお土産を買っていこうと思っても、まず稲庭うどんがあって、きりたんぼ、比内地鶏、金萬だけではちょっと…って感じですよね。空港や駅で見てもあまりない。だったら、三色稲庭うどんではカレー味、キムチ味、ノーマル味とか味を変えたらいいんです。仙台では三色最中がありますから。萩の月にはかなわなくても、三色最中は頑張っています。秋田でがんばってやってみようという気持ちを持ってほしい。でも秋田の人は、「先生無駄なことはやらないで」と言われてしまう。私達は先が短いし、後は野となれ山となれ状態です。ふるさとを愛そうという気持ちがないのか、九州の人なら、「じゃあやろうか!」という雰囲気が出てきています。

2050年、秋田県の人口は50万人を切ると言われています。約30年後のことですが、現在40代、50代は生きていたとしても、もう葬式をやってくれる人はいません。それだけではなく、保育園や幼稚園だって、今現在で5,000人も産まれない状況で今後どうなるのか。秋田では保育園の園児を募集していま

すが、東京では保育士を募集しています。その辺りの差が地域ではっきりと出てきています。秋田県にとって、どういう形でプラスになるかという点についていろいろと考えました。私は、中学・高校の一般教育を徹底的に行い、東北大学や東京の早慶上智、MARCH、東京大学等を含めて、一流大学に送り込む。結果的に、彼らが戻ってくる場がないんだったら、中高一貫教育と同時に、企業誘致で土地がタダみたいに安いんだから、10億円、100億円使ってやったらどうか。福島県浪江町では、水素発電を行っています。今後重要になり得る水素電池の工場を建てる、そうすれば、東京と秋田の行き来ができるようになる。秋田は雪は重いけど、冬はおいしいものがたくさんあるし、川反に行けば、秋田美人の女性がたくさんいますから、空き店舗を全面ガラス張りにして、綺麗な女性と飲める立ち飲みバーを作るとか。何かやろうとすれば、方法はいくらでもあります。こんなことを、ふるさとを愛する若者でもおばちゃんでも、集まって考えてみて欲しい。

最後の結びです、陸前高田市の戸羽太市長と、3.11の震災直前に顔見知りになりました。彼はヤンキーで、数年間アメリカ滞在歴があり、かなりフーテンな人間でした。3.11の直前である2月に市長になったのですが、そしてあの大地震が起これ、私は白鷗大学のゼミ生とボランティアカーで向かい、物資を持って東北中を回りました。仮設の居酒屋で戸羽市長と飲んだ時に、「女房が一番津波の後、小学校に子供がいることを確認し、近所の足の悪いおばあちゃんのことを頭にふと浮かんで、その家に向かっていたところに二番津波が襲ってきて、車ごと波にのまれてしまった」とのことでした。私は辛くて話を聞いていただけでしたが、市長は涙を流さずに話していました。そしてしばらくして、市役所の職員が来て一緒に飲み出しました。地震の時には、市役所の職員は市役所の屋上に避難したそうですが、市役所に向かって避難しようとしている市民を見かけると、その人の所まで駆け寄り、おんぶして市役所の屋上まで運ぼうとしたところ、その市役所職員も二番津波にのまれてしまったということでした。現地でこの話を聞いていたら、“釜石のてんでんこ”、地震が起きたら何がなんでも、子供がいようが赤ちゃんがいようがとにかく山へ逃げるしかない。それは何百年の歴史があり、昭和三陸地震が昭和8年に起これ、その当時を覚えている人はほとんどいない。だけど言い伝えを漫画にして、そして3.11の1週間前に釜石市で実際に避難訓練をしていました。これは、別の地域の子供達や先生方にもぜひ何らかの方法で伝えていきたいと思っています。

最後に一番嫌な話をします。福島原発についてですが、この前の地震の時に、

東京、茨城、福島は震度5強でした。私はマンション7階に住んでいますが、地震の時にはビクビクして窓を開けてベランダに出ました。結構揺れて、感覚的には数分程度揺れていたと思います。それから数時間もしないうちに、福島原発は異常なしという情報が流れました。本当だろうかと思い、双葉町でボランティアをしている方に聞いてみたら、「今のところ連絡はありませんが、相当揺れたのでもしかしたら…という気持ちはあります」と。そして数日前に、汚染水タンクが三十何基ずれていたとニュースが出ました。ただずれていたのか、中の水が漏れていたのか、セチウム等はどうかわかりませんが、トリチウムは含まれています。トリチウムは自然界にも存在するもので、人体に入らない限りは影響がないと言われていますが、入らない可能性がないとは言えません。その汚染水タンクが1000基以上あるのにもう満杯で、来年の夏ころには、もう汚染水タンクを作る場所もありません。私は素人ですから、沸騰させて濃度を高めて、水だけ取ればいいじゃないかと。そしたら、東海村の後輩から「先生、あの水を沸騰させるエネルギーは何ですか？石油ですか、石炭ですか、原発ですか？莫大すぎてそれはできない」と言われました。トリチウムの半減期が約12年ですから、100年までいけば何とかかなりますが、あと90年、10年足らずで1000基、あと9倍増やして10000基、双葉町には帰れないのであれば、国が買い取って、汚染水タンクを10000基作るしかない。というような素人の考えをぶつけても、東電は答えが出ない。

福島原発を題材にした、“Fukushima 50”という映画を観ました。言いにくいですが、菅政権はこの原発を稼働開始して、増やそうとしています。その時に、カーボンフリー、いわゆるCO₂を減らすために石油・石炭の発電所を減らす。順序が逆だと思います。まずは原発をゼロにしてから、自然再生エネルギーを日本人が使うエネルギーの2倍、太陽光パネルを作る。太陽光パネルの買い取り電気量が、6、7年前は43円/kWhでしたが、現在は十数円です。採算が取れないと皆作りたがりません。もう一度30円程度に戻す、そして新しい建物は全て太陽光パネルを屋上に設置する、費用は全額国が負担する、窓や塀にも作る、それだけであつという間に再生エネルギーは50%超になるそうです。そういう切り替えをしたい。それが今はギリギリのところまで来ています。

私は両親が福井県出身で、先日福井に呼ばれて、高浜町の関係者に会いました。町長、役場の職員と関西電力が手を取り合って、原発稼働に動き出しました。しかし、チェックも何もしていない。古賀茂明という通産官僚が行って、「この電源はどこにあるんですか？」と聞きました。すると、「全部海側にある」

と言われ、「それでは駄目だ、福島と同じ状況になってしまう、1カ所でも山側に設置しておけば、原発は動くかもしれない」と古賀氏が話したら飛ばされてしまいました。そういう状況です。だけでも、本気で日本という国の再生を目指すのであれば、三階建て住宅、三世代住宅にして、家庭用エレベーターを無料にして、その住宅に太陽光パネルをつけるといったような形にすれば、国としてもどんどん変わっていく。アイディアはいろいろな形で出ているのだから、実際にやろうとすべきで、10年後、20年後のことなんか考えなくていい、という考えは違うと思う。考えて行動する、それはいわゆる、自然再生エネルギーをやりたいという気持ちです。伝統を守り歴史を守ることはとても大事です。しかし同時に、時代の変化の中で変えていく。コダックというカメラ屋、ポラロイドカメラって昔ありましたが、今はほとんどありません。その理由は、経営者が全く変えようとしない。これでいいんだ、ポラロイドってすごいんだと思い込んでいたが、現在はそれでは通用しない。変えようという勇気を持たない県や市、大学は駄目です。

前に一度触れた、アサヒビール会長で、NHK会長でもあった福地茂雄さんに立命館大学での講義に来ていただいた時に、変える勇気、アメリカンエクスプレスは、荷馬車での急行便を扱う会社だったが、自動車の走る姿を見て、時代の変化で、もう自動車が走ったらかなわないという感性でアメックスというカード会社になった、等を講演会で話していただきました。その時に講義を聞いていた学生の中の十数人がテレビ、新聞の記者になっています。秋田でも東京でも、学生は何か新しいことをやってみたい、そういう気持ちを常に持っています。私は去年からの1年、そしてあともう1年ですが、日本の大きな曲がり角に来ていると思います。ここでもって新しい何かをやるかどうか、重大な局面に立っているのかな、そう思います。やっとそのことが、霞ヶ関の上級国民の中にも出てきました。今の一流大学のエリートは、もう霞ヶ関に行こうなんて思いません。大体優秀な高校生は、日本の大学よりもアメリカの医学部に行ったり、IT系に進んだりと先取りしてやっていく。そういうことを真剣に考える時期に来ていると思っています。2021年3月、あの日から10年が経ちました。ノースアジア大学での講義が今回で最後か、あと1年かはわかりませんが、秋田県でもいろんな人と力を合わせればどんどん可能性は広がります。

それでは、質疑応答の時間にしたいと思います、ご清聴ありがとうございました。

藤 本 福岡先生、どうもありがとうございました。それでは、ご質問のある方は挙

手をしてお知らせください。

質問者 最近、情けないなあと思うことがありまして、例えばワクチンが問題になっていますが、ロシアや中国はワクチンを開発しているのに、日本製のワクチンは一向に出てこない、日本の企業も研究はしているようですけれども、まだ影も形も見えてこないところを見ても、ロシアや中国に追い超されたような気がしてなりません。なぜこのような事態になっているのか、福岡先生が何かご存じでしたらお願いいたします。

福岡 数日前に、富山県のジェネリック会社の日医工が業務停止命令を受けました。富山県は、ジェネリックという誰かが開発したものをすぐ安くできるのが良いと思っています。それが実を言うと、日本の第一三共や武田薬品も、高い開発能力がありますが、我が日本国が科学技術や企業に対する補助金は、採算が取れるかどうかかわからないような研究開発には実質的には国は出しません。結果、東京大学の優秀な先生方はほとんどがノーベル賞を取れない。文学の関係者は入っていますが、ほとんどが京都大学です。しかし結果として、日本は第一三共や武田薬品等の新製品開発、がんの特効薬は海外です。脳梗塞や血液をサラサラにする等、新しいものについての研究体制もできていない。このワクチンは、そこまでは儲からないのではと思っています。中国で作ったものはさまざまありますが、結果的には日本の国は科学や医学にお金を投資することがないので、後手に回ってしまっているのが現状で、医薬品会社はその点は理解しているということです。

藤本 他にご質問のある方いらっしゃいますか？

質問者 本日はどうもありがとうございました。3.11の震災から10年が経って、先生も我々も当時は10才若かったんですけれども、その後10年間を経て、教訓がありましたら教えてください。

福岡 3.11の時、ボランティアワゴン車でゼミ生5人とたくさんものを積んで東北の地を歩いて、いろんな方々の涙の中、たくさん話を聞けました。数限りないのですが、とにかく、先ほど触れた“てんでんこ”で逃げるということと、宮古の田老という地域に万里の長城と呼ばれる、15 m程の大きな防潮堤が2 kmくらいにまで渡っています。そこにゼミ生と駆け上って、こんな10m以上のものを作っても、津波は20m以上の高さで襲ってきて、結局中にいた方は、防潮堤もあるし、自分達は大丈夫と言って、1,000人程の方が亡くなりました。要するに、海には流れないので行方不明者はおらず、岸壁の内側で流されて亡くなっていました。その時に高台に逃げた人が言うには、高台から見ていて、二番津波で流されていく人達の見る光景がとても辛かったと聞いて、南三陸町

の戸倉村に行きました。今でもそこの方と付き合いがあります。あの時、南三陸町の戸倉の漁港のそばの住民は、伝えられていた通りに山に向かって皆歩き出した。その時に南三陸町の三階立ての防災センターの屋上に十数人が逃げて、最後まで新婚の24才の女性が、「皆さん地震です、津波です、逃げて下さい。」と防災無線で呼びかけ続け、最後に屋上に上った。最後に上った彼女は、そこにいた人達の中で一番下にいる状態で津波にのまれ、亡くなってしまった。そんな話をあちこちから聞いて、防災無線もいいけど、とにかく海のそばだったら逃げるしかない。今は、高知県か紀伊半島の方で地震が起きる可能性が高いそうですから、あの辺に高さ20m位の防災センターを作っておけばいいと思います。地震が起きたら津波まで20分はかかるでしょうからね。私は車では逃げられないし電動自転車を買おうと思っています。地震が起きたらベランダに逃げるか一番上の階まで行く。潰れても1、2階は駄目になるだろうという確率の問題だと思っているので、生き残った人の話を聞くと、そう感じます。亡くなった人のことは皆いい人だと言います。生き残った人が悪い人ではなくて、やはり「おばあちゃんがいる、あの人が逃げてきたから助けに行こう。」そう思っただけです。

藤 本 福岡先生、長時間にわたりどうもありがとうございました。熱のこもったお話をお聞きすることができました。福岡先生に感謝の拍手をお願いします。この後にゼミナールを開催いたしますので、どうぞご参加ください。本日はどうもありがとうございました。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「コロナ禍と日本の政治・経済 ーポスト菅政権の人材不足ー」

講師 白鷗大学 名誉教授

ノースアジア大学 総合研究センター客員教授

福岡 政 行

司会 ノースアジア大学 総合研究センター長

ノースアジア大学 法学部教授

道 端 忠 孝

日時 令和3年6月5日 午後1時00分～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館 271 教場

道 端 これから、ノースアジア大学総合研究センター主催、前期公開講座の講演会を開催いたします。この講演会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日司会を務めます、ノースアジア大学法学部教授で、総合研究センター長の道端と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、福岡政行先生にお越しいただいております。福岡政行先生は、白鷗大学名誉教授で、当センターの客員教授を務めております。本日の演題は「コロナ禍と日本の政治・経済－ポスト菅政権の人材不足－」でございます。レジュメを拝見しますと、菅政権のことはもちろんのこと、コロナワクチン接種の遅れ、来月に迫った東京オリンピック・パラリンピック、秋の総裁選等、私達にとって大事であり、興味のあるお話をしていただけるということで、ワクワクしております。それでは福岡先生よろしくお願い申し上げます。

福 岡 昨日からのニュースで、東北新社という会社の関係に、菅総理大臣の息子さんがいました。赤坂の料亭で4回に渡る接待は明らかに問題であるという第三者委員会の説明が昨日から出てきました。これだけやったらもう安倍晋三前総理の桜疑惑があつて、森友・加計学園の一件があつたり、いろいろあると東北新社総務省問題も同様に、いわゆる日本の検察がかなり骨抜きになっていることに対し、検察審査会が最近クレームを言うようになりました。そして、特に河井夫妻の広島事件、これについてはかなり検察が本気で追い込んだということで、これからはいわゆる第4の権力ではないですが、この検察が本気でもって動くということで、東北新社事件になるかも、という疑惑がありますので注意していただければと思っています。

もう一つ暗い話は、昨日の秋田魁新報によると、日本全体の人口が減ってきたということと、この秋田県、生まれた子供が昨年は4499人、私が何年も前から言ってきたことですが、亡くなった方が約1万5000人、1万人以上、毎年人口が減っているということです。私がこの大学に十何年前に来た時は、まだ107、108万人の人口でしたが、現在は95万人をきるところまで来た。秋田県の人口は本当に2050年の30年後、70万人を切る、毎年1万人ずつ減るわけですから、60万人程になると国土交通省のデータに出ているということです。昨日、西武デパートに行こうとしたら雨が降ってきたのでタクシーに乗って、買い物して帰ろうとしたら、まだ降っていたのでタクシーで往復しましたが、本当に人っ子二人くらいしか歩いてないし、川反が大変だということを含めて、この雰囲気、今はコロナで渋谷の交差点までもが閑散としています、なんだかこっちまで気持ちが沈んでしまう、大声でわーっと騒ぎたくてもできない。この人口の減り方、自殺者の数はちょっと少なくなりました。癌で亡く

なる方も 37 万人。私も前に大腸癌で 15 年前にお腹を切っていますが、秋田ご出身の工藤進英先生にもう大丈夫だ、頭と性格以外は治っていると言われましたが、日本全体元気がないという状態であります。

本論に入りますが、昨日は 16 時半ころに羽田空港に到着しました。飛行機は、3 分の 1 に減便されていて、羽田空港のレストランや売店も半分以上閉まっている状態です。空港の広いロビーも、人が 10 ～ 20 人くらいしか歩いていません。この状態が続けば、全日空も日本航空も大変です。ホテルも同様な状況です。東京では、昨年の講演会で触れた宅配のウーバーイーツがものすごく増えて、秋田はやっているかどうか分かりませんが、テレビ CM で配達員募集を大々的にしています。街中を走り回ってお店をまわり、商品をお届けする、という内容を学生に聞き大変だなと思いました。まさに昨日の羽田空港や今の秋田の夜の街、東京の夜の街もちろんそうですが、2050 年の人口が減った日本に似てきているのかな、そうなってくると、何かがんばってやろうというのは、心の持ちようですがなかなかできない。そんな時に何かアイデアを考えて「よし、きりたんぼの新しい何かをつくろう」とか、ちょっとしたアイデアが、世の中を変えていくと思います。人に会いづらい雰囲気の中で、何かちょっとしたアイデアで状況を変えることができる、それを今考えながら、毎朝 iPad でホームページだけは、更新をがんばっています。携帯電話もスマートフォンに替えました。テイクアウト、宅配（ウーバーイーツ）という状況であり、東京のレストランは 20 時で閉まります。アルコールも提供されません。アルコールのビールサーバーがある店でも、カバーがかけてあり提供はダメ。腹が立つことばかりですが、我慢を続けていくしかないと思っています。

それから、ひとり親はパート・アルバイトが多いですから、この人達から大体デイトフというか、コロナおさまるまでちょっと休んでてとなると、子供を抱えたお母さん達はわずかな貯金を切り崩しながら、生活しています。東京では子供食堂がふえつつあります。そこで野菜やお米等、食事を無料で配るところがあちこちでできています。こういうところに、国が自動的にバックアップするというのはどうか。コロナ担当大臣の河野は、大規模の 1000 人規模の企業からコロナワクチンを接種すると。こういう感覚が週刊文春で河野太郎のスクandalめいた話も出ていますが、お父様である洋平氏とは全然違う感じがあります。

ひとり親&年金の少ない国民基礎年金だけのような人達に、保障の 15 ～ 20 万出す。こういう感覚が厚生労働省中の教え子にはあっても、口に出して言える状況ではない。クビになったって、左遷させられたってやるべきだ、お金は

あるのか、なくてもアメリカみたいに 200 兆も使う、そしたらやはりある新聞記者は、先生が言ったように国家公務員、地方公務員、外郭団体の職員、教員、警察官含め約 290 万人います。この 290 万人の人件費は 26 兆円です。2 割カットすれば 5 兆円ですよ?? これを財源にしたら自動的に約 1000 数百万人の非正規・パート・アルバイト、ひとり親やシングルシルバーをバックアップできるだろうと言っていました。これが、政治の光が当たらないところに光を与える政治家の原点です。この 290 万人、そして 26 兆円、この辺を平均給与 46 歳 700 万円、一般の方 430 万円、アルバイト・パートの方 300 数十万円、ちょっとお金の入れ替えができないものと考えます。お金のことをある大学生に言うと、「仕事なんか今はどこでもありますから。パート・アルバイトや、派遣なんてかっこいいでしょ」と。派遣ってかっこいいですかね。「ハケンの品格」というドラマがあったけど、それは何もわからない脚本家がかっこいい女性が主役をやったからであって、そんなことよりも 70 歳、おそらくこれから年金受給は 70 から 75 歳になると思いますが、平均寿命は 90 歳ですから、その時にどうやって最低限でものんびり暮らせるか、そんなことを思って嫌な暗い話をしましたが、これで一応序文は終わります。

それではレジュメ 1 番目、菅政権が追い込まれてきて、軒並支持率は 30% 台になりました。30% を切ると、いわゆるイエローカード、20% を切るとレッドカードということです。ところが、東京新聞とテレビ東京が東京都だけやった支持率は 15% 台で、7、8 人に 1 人となります。この数字を見て、小池百合子はとにかく自民党と戦って誰かを担いでなんとか小池グループをさらに拡大し、そのあと都知事を辞めて政界に打って出る、そして二階さんとだけ時折会っています。

菅さんとは全く会いません。もちろん安倍グループは一切ありませんが、こういうことが実はあります。この辺がコロナやオリンピックの問題だけでなく、菅総理大臣の存在感というか、また東北新社の問題は、東京都民はすごくよくわかっています。衛星放送の問題、この辺が全県、全国的な 30% の半分、おそらく神奈川・千葉は 20% そのそこの数字ですから、東京・関東首都圏、大変な事態になっているとお考えいただいて結構です。菅政権を、昨年からは後手後手、遅すぎ、オソスガ政権と言ってきましたが、やっぱりやることが遅いです。のんびりしている性格ではないですが、非常に計算高い人です。私は過去にやりとりもしていました。私をバックアップしてくれている人は、いわゆる横浜のドン、藤木幸夫さんという 300 社ほどの海運会社の社長さんで、その方は福井県出身で、私の母と同郷で、大学は早稲田でしたので先輩にあた

ります。この30年、バックアップしてもらっています。ハマコーさんとテレビで激しくやりあっても、ある瞬間に私が一言、「ハマコーさん、藤木さんが元気ですかって聞いてましたよ」って言った時から、ハマコーさんは番組が終わると必ず私の所に来て、一礼して「藤木の親父によろしく」というくらいな方です。その関係で横浜で市長選を戦い、県知事選も戦って横浜ベイスターズで中畑清が監督になった時もバックアップしていただきました。

藤木さんの関係で菅さんとは結構親しかったのですが、情報だけで計算をしているなという発言が増えてきました。果たして一国としてのリーダーとしての風格や見識がいかがかな…と。「福岡先生がテレビに出ていないのもテレビタックルで余計な事を言うから順番にみんなはずされていくんですよ」、といういわゆるメディアチェックです。今週になってやっと新聞記者が記者会見で、かなり厳しく質問をするようになりました。ところが逆に、記者会見をやらないうえにほとんど官邸で立ちレポというか、パッと来てマイクがあるカメラの所に画面があって、原稿を見ながら5～10分、質疑応答の頃には行ってしまうという、発想がセコイということで、記者がきちんと座って記者会見をしてください、と言い出しました。新聞記者というドラマの脚本を書いた東京新聞の望月衣塑子という女性、かなり強引であることは間違いありませんが、彼女は社会部系なので、記者会見には基本的に出られないのですが、新聞記者は枠の中で出ることができますので、そういうこともあって記者会見は座ってやらない、人数制限をしているということですので、後手後手政権は頭に入れておいていただきたいと思います。

それからレジュメ2点目、ワクチンについては、自治医大の後輩の医者に聞いたら、まず二度目のワクチンを打って1週間、10日経ったら完全防護服を着た状態であるということです。99.999%くらい。秋田県はまだそんなに広がっていませんが、東京は65歳以上、75歳以上の後期高齢者から打ってくれています。葛飾区はその順番で私も1回目を打ちました。まだ10～20%程度ですが、これが広がっていけば、安心して孫にも会いに行けるようになるし、このドタバタの対応については、菅政権がワクチンを甘くみているのと、お金を本気で出さないというところです。イスラエルという国がほぼワクチンを打ち終わり、それを実行したネタニヤフ元首相は選挙で負けてはざされました。国民の皆はマスクを外して外を歩いている、これはイスラエルの財力によるものです。日本でも実を言うと、もう1年以上前から国内で作っているところがありました。ところが、厚生労働省が横を向いていたそうです。経済産業省は、とにかくやった方がいい、やらないと経済が死ぬと。しかし、どうもいろいろな

圧力があって、日本でのワクチン作りはあまり進んでいません。そのことでワクチン接種率がかなり低いですが、その責任の多くは菅さんと同時に河野太郎というワクチン大臣です。ちょっとカッコいいことやきれいごとだけ言って、仲間の一人である田村厚生労働大臣も、だんだんヨレヨレになってきました。

河野大臣、田村大臣の責任は大きいと言えますが、ドタバタの対応でワクチン接種が異常に遅れています。それから、アメリカ側から日本への渡航中止の勧告が出て、ちょっと雰囲気が変わりました。ちょっとオリンピック駄目だなと。もちろん選手団は可能です。オーストラリアのソフトボールチームが来て、群馬県の太田の方へ行っています。群馬県太田市長は私の仲間で、ずっと選挙を手伝ってきた男です。選手たちもホテルの中に閉じ込められています。アメリカが渡航中止、このニュースから日本の夜の街の経済はかなり深刻になりました。

レジュメ3番目のポイントに行きます。菅総理大臣の周囲からは、どうしてもオリンピックをやる、しかも有観客で、これが基本姿勢だそうです。どうしてもやりたい、観客も7万人収容できるんだから、せめて1～2万人でも入れて、間隔をあけての実施、プロ野球を見ておわकारの通り、ドーム球場も整然とやっています。甲子園はくつついてやっていますけれども、神宮もドームも、ちゃんと離れています。あれを見れば日本人はまじめだな、あれでやれば…という風に思っていますが、事態がだんだん深刻になってきた今、これはなかなか簡単ではないということで、緊急事態宣言をさらに6月末からオリンピックが終わるまで続けていけば、可能性は数%残ります。しかし緊急事態宣言で、7月いっぱい高齢者のワクチン接種、約3000万人がやっと終わります。ワクチンを打った人だけオリンピックの有観客になれるようでは、いくらなんでも…ということになる。そんなことを含めて、官邸周辺は緊急事態宣言を継続し、強引に1万人でも入れてやる、オリンピック中止の違約金は2兆円くらいですが、そのぐらいはなんとでもなるだろうと思うんですけども、オリンピック中止は戦争の時に日本もありました。

けれどもコロナで、パンデミックは世界中の病気ですから、これで広がったら大変だということも含めて、レジュメ以前には、オリンピック開催は五分五分とお伝えしましたが、もう一割を切って数%で決断をどうするか。昨日今日、東京あたりは400、500人という数字ですが、これで緊急事態宣言をはずしリバウンドすると、小池百合子周辺の医療関係者がしきりに言い出して、小池さん自身は一時はやる気満々でしたが、止める方向にかなり傾いてきている、そして二階幹事長はそれもやむを得ないな、と話しています。ただ官邸がどうし

でもやりたい、この辺の齟齬、ぎくしゃくが今の政治の渋滞、泥沼化につながっているとお考えいただいて結構であります。どうしてもやりたい、観客を入れてやりたい、という気持ちは変わらないということです。すべての決め手はワクチンですが、これは沖縄の今の事態が子供に広がっていて、小中学校を休校にすると、子供はかかってもわからない、だけれども家に戻れば沖縄は3世代、4世代家庭が多いですから、それがおじいちゃんおばあちゃんに広がっていく、このような事態をおそれて考えるような人達が、知事も含めて、琉球新報の記者達も「これは簡単ではないです。」と言われました。

ゴールデンウィークに多くの人が東京から、羽田から来て、そのあとに広がっていったということです。そのことも含めて、ワクチンは台湾にあげるよりもまず、ワクチンの良し悪しよりも自国民に打ち続けてはどうか。大学でも体育館を常駐にして、お医者さんに夜に来てもらって、時給1万でも2万でも、看護師さんか薬剤師さんをお願いするとか。東京では大接種会場として東京駅の丸の内の会場の場合だと、まずどの地下鉄を利用すればいいのかわかりません。私もほとんどわかりません。〇〇番の階段を上がってくださいと言われても、複雑で大変です。もうちょっとわかりやすい、かかりつけ医のところで接種できればいいのですが。いずれ緊急事態宣言をはずし、皆さん注意してくださいと話すだけ、7月に入ったらまた、500人1000人規模の感染が懸念されます、オリンピック直前だというのに。ちょっと計算がたつ人は、オリンピック中止の方向へと動いているということです。

レジュメ4番目、菅さんがダメでも、ポストに誰がいるの、という話ですが、レジュメに書いてあるとおり、石破茂はBSの番組に出演して話していますが、言っていることも客観性がないし、もういいんじゃないの、早く鳥取帰ればという気もします。元々彼は銀行マンですから、親の後を継いでやったということで、人は悪くないのですが、飛行機やプラモデルの話は好きで、一時間くらいしゃべっています。野田聖子も、小池百合子と組めば、という話もありますが、自民党ではちょっとまとまりきれないという感じがあります。岸田文雄は、悪い人ではないです。名門麻布高校出身で早稲田大学法学部卒です。麻布高校なら赤門行くだらうと思いますが、親のあとを継いで二代目。広島県の盲導犬ボランティアをした時、彼も一生懸命募金箱を持ってやってくれたので、私も盛り上げようとしたのですが、いざというときに逃げてきた。今回初めて、自分の仲間の広島選挙区の参議院議員を落とされて、今テレビできついことを言っていますが、やっぱり宏池会という御殿女中の多いこの派閥、加藤紘一さんとは長い付き合いですが、やはりいざというときに戦わない、不信任決議を

するとき、そういうときに逃げてきちゃう。

そんなことをやっているから、東大卒の官僚は限界があると言われてしまう。人間は負けてナンボだと。負け戦を戦えるような人間じゃないとトップなんかできない、と言ったことがあります。とにかく、岸田という男もちょっと弱い。裸になって戦ってみろという感じはあります。先程出た河野もダメです。西村は非常に利口な官僚ですが、計算が過ぎるし、イケメンですが、あまり計算をしないで損得抜きにしてやればなあと思います。加藤官房長官を前回褒めたと思いますが、私は加藤六月さんのバックアップを菅原文太さんと随分しました。娘婿だから、加藤官房長官は東大出のエリートだし、いいかなと思ったら、ある人から「こんなひどい奴はいない、計算しすぎ」だと。他に見回しても誰もいない、あとはどうでもいいような、どうしてこんなに人材がいなくなったのか。では自民党がダメなら、野党はどうか。枝野さんが最近テレビに出ていました。なんかグチャグチャしゃべっていましたが、彼は栃木県宇都宮高校卒業後に東北大学に進学し、司法試験に受かって、彼が1、2回生の時、私はバックアップしました。埼玉でもって、演説会を駅で立ってやりました。ただこの男はおそらく感性がないというか、感謝という二文字が全くないのかもしれない。ですからコメントを聞いていても、何を言っているのかがわからない、という現状です。彼に付いて行く人はいない。国民民主党の玉木代表も、ボーっとしているエリートです。本当に汗をかいてがんばるという感じではなく、トップの人間ではないです。エースとかそういう感じではないです。自民党に行けないで、野党から立候補して受かってやっているというのが多くて、人がいない、という感じなので何とも言えません。自民党も人がいない、野党もいないということです。

3.11の後、私はNHKで民主党の岡田克也と鳩山由紀夫とで党首討論をやりました。当時の民主党の支持率は30何%でした。その時のNHKの視聴率は、午後2時くらいでしたが10何%ありました。今は立憲民主党の支持率は6,7%くらいで、二桁になる様子も全くありません。それでも全野党共闘になればまだチャンスはあるだろうとある記者には言いました。可能性としては、枝野自身の気持ち、彼が玉木あるいは共産党、社会民主党に頭を下げられるかどうか。彼はどちらかという頭を下げるより仰け反るタイプです。なので今のところその可能性はないです。

結論ですが、解散総選挙は、おそらく野党はコロナの時に解散の不信任案を出せないと言ってきましたが、やっぱり出すのはまずいので出しません。コロナが落ち着かなければ解散はできなし選挙もできないというのは、官邸の中で

も永田町自民党や野党の中にもやはりありません。消去法でいって、8月のパラリンピックが終わってから、解散をして9月中下旬に総選挙というのが昨日あたりから流れ始めています。実際、解散権は総理大臣にありますので、これ以上支持率が下がる、東北新社問題を新聞テレビが取り上げるのかどうか、ワイドショーで取り上げてくれば、菅さんの息子さんを表に出してくるようなことまで、TBSやテレビ朝日はやるかどうか悩んでいます。それが出てきてさらに下がるようになると、一か八か解散ということ、総理大臣は考えているかもしれませんが、それだけはやめさせたいというのが実情であります。

次に、橋下維新の動向についてですが、なぜ橋下徹さんは、朝から夜中までテレビに出ているのか。これを、同級生であるコメンテーターの大谷昭宏、TBS政治部の記者や、ワイドショーのプロデューサー達に聞くと、表向き、維新には選挙用のお金がないのでテレビに出ているんですよ、選挙には出ませんが。これで選挙に出たらテレビとグルで選挙運動しているようなものですよ。そんなことは絶対言えませんが、昔2万%出ませんと言って選挙に出たことがあります。それを批判したら、彼からTwitterで因縁つけられて、ゼミOBの記者達が心配して手紙をくれるような状況でした。橋下維新は、土壇場出るような気がします。そして、菅政権と連立を組むのではない。選挙の争点を曖昧にするために、自民党もコロナ対策など不十分なところがある。でも野党には任せられないからという形で、出てくれば国民の三分の一はそう思っていますから、じゃあ一票入れようかということで、近畿地区で小選挙区、ところが大阪の選挙区はほとんど公明党とバッティングしています。ほとんど五分五分くらいです。公明党がどうするか、公明党がどこまでも付いて行きますとホームページでいろいろ発言していますが、あの温厚な山口那津男というリーダーは電話も出ません。それまでは電話に出たのに。まあ、何か言われて電話に出ないというのもちょっと小さいな、同じく葛飾区に住んでいて仲良しだったのですが。

公明党創価学会は、橋下維新が自民党と組むようなことを発言した瞬間に選挙協力をしない、共産党が入らなければ野党立憲民主党と方向性を一緒にするくらいのことを言うかもしれません。橋下自身の出馬は2万%ないと言っても、土壇場で選挙に出て、彼が出ればどうでしょう、おそらく維新の比例票は軽く500万票以上は行くでしょう。そうすれば一票につき何十円か入る場合、50億、60億のお金が入ってくれば、テレビに出なくてもよくなる。何か土壇場に出て、政治が混乱する。彼が例えば副総理無任所で連立を組むとしたら、話は全部そっちの方向に行ってしまう。コロナ対策とひとり親、シングルシ

バーのバックアップ支援で月 15 万円、そういうわかりやすいことを出したら、へたすると 1000 万票超えちゃいます。それくらいの計算は、非常に頭の良い、彼は早稲田ラグビー部ですけれども、そういうところがあるのかな。計算がされているのかなという気がします。公明党は悩んでいます。創価学会自体、私が住んでいる葛飾区はもともと多いところで、中学高校の後輩に、都議会議員も、区会議員もいます。動揺しているような感じは否めない、という印象を受けます。その時に、原発ゼロの小泉純一郎さんがどうするかということです。これは私も関与していますので、お願いはしています。小泉さんの城南信用金庫の前理事長さんに「何とか考えてくれ、名前だけでもいい。瀬戸内寂聴さんと小泉純一郎さんに、比例の名簿の 5、6 番目くらいにいてもらって、選挙運動もしなくていい、私達がやりますから」と言ってもなかなか返事はないです。もう政治はいいと。東北福祉大にお招きした時も、「政治の話はなしだからね」と会った瞬間に肩をたたかれてしまいました。本人は、やっぱり進次郎を男にしたいというか、非常にかっています。この進次郎が姉さん女房と結婚して、子供が生まれてから弱くなったというか、姉さん女房はわらじを履いてでも探せということわざがありましたが、骨抜きになっちゃって、ボーっとしているような感じですが、この進次郎くんが 20 人くらいの仲間と出てきて、とにかく非自民、非共産のかつての大連立のようなことを、公明党創価学会にも入ってもらって、社会党非社会民主党も入ってもらおうようなことをやってみたらと言っても、小泉さんは年をとった、という言い方をします。ですから、そのことも含めると動かないのかな、ただ土壇場で橋下維新が出るとか、連立を組むとかなった時に、非常に政治判断が早い方です。細川護熙さんはもうやらない、小泉さんが何もしないなら名前くらいを出す可能性はまだちょっと残っているかな、という感じがあります。

昨日で、天安門事件から 32 年経ちました。あの時は報道特集の仕事で、天安門広場にいました。アメリカ CIA の友人が「先生、ホテルに戻っていないとどうなるかわからないですから」と言われ、TBS のディレクターとホテルに戻って、最後は中継もなくなりましたが、こんなひどいことがあってもいいのか。亡くなった人数も定かではない、それから 32 年経って、あんなことは何でもないという中国共産党のメッセージを聞くと、変わらない国だなあ、この国と戦うのは大変だなと感じました。来週行われる党首討論、菅さんと野党党首、特に枝野が一番長い時間ですので、立憲民主党の関係者から「先生何かアドバイスありませんか」と言われたので、私は東北新社問題、息子さんの問題の情報をつかんで、それを 20 分徹底的にやる。質問は短く、相手が言って

きた答弁の言葉をつかまえて再質問をする。そういうアドバイスをしました。来週の党首討論は見ものです。

今日は、カーボンフリー、2030 年から何十年、CO₂ による温暖化だと言っておりますが、それよりもナノプラスチック、ペットボトルですね。昨日も NHK で長くやっていましたが、この微粒子が貝や魚の体内に入り、いずれ人間の口に入る。カーボンフリーと同時に、ペットボトルを全部紙パックにする。キャッスルホテルでアイスコーヒーを頼んでストローがついてきましたが、紙ストローでした。スターバックスも紙ストローです。プラスチック使用の全面禁止、この動きをぜひ国内でやっていただきたい。私を含め、受講者のみなさん、90%は OK ですが、子や孫には甚大な影響が出ます。このことは、カーボンフリーや温暖化の問題も大きいですが、プラスチックをゼロにするという運動は、本気で取り組みたい。ナノプラスチック、この問題はとても大きいので、ぜひ参考にしていただきたいと思います。

ホームページの中で、すごく反響の大きいものがありました。今週の月曜か火曜に書いた、「少し背伸びをしてみたら」という言葉です。これは高校三年生の冬に、友達に誘われて早稲田予備校に、年末年始に一週間だけ行きました。500 人ぐらいが教室でじーっとやっている姿を見て、「あっ、俺一年はここに来れないな」と思ったのですが、そんな年末のある日、予備校の英語の先生が、授業の最後に「みんな正月がんばれや」と言いつつ、「少し背伸びしてみたらどうだ。背伸びすると疲れるけどな、景色変わるぞ。何かやる気が出てくるぞ」という話をしたと。その時私は、旺文社やいろいろな試験で、早稲田大学の優しい学科がどことは言えませんが、商学部なんて言えませんが、優しい学科なら 50%以上で入れそうだと、政経学部政治学科は二割か三割、三田の大学は四割ぐらい、駿河台の明治大学は 6、7 割、で明治がいいなと思って、三田の大学はあまり好きではないのですが、その話を聞いたときに、少し背伸びをしてみる、すごく変な言い方だけど言っているその先生が笑いながらうれしそうに言う。なんとなく身近に感じて、よし、やってみよう、政治学科、法律は六法全書重いし、商学部は算数あるし、公認会計士はやりたくないし、それで正月から高校に行かないで一日 15 時間、ずっと勉強していました。この言葉をホームページに書いたら、友達や後輩が「先生、いい言葉ですよ」と。そんな反響がありました。大学では、年上の彼女が、「福ちゃんは普段から大体やる気がない、もっと視線を高くしてみれば」ということを言われて、それで大学院に本格的に行こうと思ったことがあります。何となく今の状況に満足しちゃう性格の人がいますが、私も 75 歳になって、よし、もう一回やってみ

ようと思って本を書き上げました。少し背伸びをしてみれば、そのことをぜひお孫さんや周りの方にさりげなく言って、がんばれというよりは何か感性のある人間はがんばれるような気がします。

長時間ご清聴、ありがとうございました。

道 端 福岡先生、ありがとうございました。お話を伺い、コロナワクチンの遅れ、菅政権について、総選挙の時期について等、さらには環境問題もお話をさせていただきましたけれども、これからの政治の行方に注目して参りたいと思います。この後、休憩をはさんでゼミナールを開催いたします。ご希望の方はぜひご参加ください。本日はお集りいただきありがとうございました。福岡先生にもう一度盛大な拍手をお願いします。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「解散総選挙 — どうなる政界地図 新総理は？ —」

講師 白鷗大学 名誉教授

ノースアジア大学 総合研究センター客員教授

福岡 政 行

司会 ノースアジア大学 総合研究センター長

ノースアジア大学 法学部教授

道 端 忠 孝

日時 令和3年9月4日 午後1時00分～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館 271 教場

道 端 こんにちは。これより、ノースアジア大学総合研究センター主催、前期公開講座の講演会を開催いたします。この講演会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日司会を務めます、ノースアジア大学法学部教授で、総合研究センター長の道端と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、福岡政行先生の2回目の講演会となります。本日の演題は「解散総選挙―どうなる政界地図 新総理は?―」です。皆さん、昨日はビックリしましたよね、秋田県出身の菅総理が総裁選に出ない、内閣を退陣されるということで、本日の新聞にも大きく載っておりでしたね。新総理がどなたになるのかを含めまして、ぜひ福岡政行先生にお聞きしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

福 岡 岸田文雄は麻布高校から二浪して東大に入った人です。彼の先輩の谷垣禎一は私の友人です。広島で集中豪雨による土砂崩れがあった前日の夜、岸田文雄は赤坂で夜中まで飲んでいたところをSNSにアップされたニュースを見て、テレビで「政治家失格である」と話したら私がクビになりました。でもやはり、政治家としてはふるさとは集中豪雨や洪水の事態になったら、たとえ東京から広島まで帰れなくとも、車で7、8時間とばして行けるわけですから、そういう姿勢が政治家の原点であると言い続けてきたこともあって、そのような批判をしました。悪い男ではないし、今回初めて戦おうという気力を見せたので、後輩ということもあってちょっと応援しようと思いましたが、もう時すでに遅しだなと感じていて、おそらく今日の夕方くらいから“河野太郎説”が流れるのではないかとと思っています。

いずれにしろ、この政局はダブルユー、安倍・麻生の二人がこの数年間牛耳ってきました。それは、先ほど出た河井夫妻の1億5,000万円、自民党の金庫から出すのはもちろん二階幹事長ですが、そんなことを二階さんに言えるのは、総裁しかいません。年齢的にも二階さんの方が上ですから。それに二階さんは貸しをつくっているということもあり、河井前法務大臣の問題や森友事件、桜疑惑の問題等、これらの問題を安倍昭恵さんは「うちの主人は演技がうまいから、みんな騙されてるの」と話しています。安倍晋三は去年入院したり、あちこち病院通いしていましたが、全部嘘だそうです。辞める口実を作っていたという、なかなかしたたかでしっかりしています。そして桜疑惑と広島の1億5,000万円、これだけは絶対に手をつけさせない。麻生太郎と、河野太郎は同じ派閥で河野洋平への義理もあります。そう考えていくと、勝負は黒幕のダブルユー、安倍・麻生の二人でまだ政治は動いている。そういうことを言うとテレビ局は使ってくれませんが、何人かディレクターが「先生、そろそろ

出てもらいたいです、テレビ局の上層部が駄目なんです。」と。河野太郎はパワハラ大臣が総理になって、大胆にやりそうですが、いろいろな意味でちょっと勉強不足なところがあるんです。だから良いブレーンが何人かいないと、思い込みが激しいところがあるので心配な部分もあります。菅さんは官房長官や幹事長を毎日呼んでいましたが、彼の偉いところは、今そんなことをするよりも、総辞職することを含めて何かお考えにならないと、自民党が泥船になってしまう、というようなことをかなり厳しく言ったそうです。おそらく、小泉進次郎は小泉純一郎さんに相談をされていたと思います。40歳そこそこでそんな役職に就かなくても、いくつか大臣を経てからということで、自分の土俵を知っている人間、それはやはり関東学院の野球部で球拾いから経験してきた男ですから、そういう部分では、秋田県出身の前総理とは少し違うのかなと、そこを高く評価しているところです。野田聖子は総理にはなれなくても、自民党幹事長ならどうでしょうね。序文のところはこれくらいにして、次に進みます。

もう遅いのですが、菅総理の弱点について。横浜市長選では菅さんの自分の選挙区でも、はっきり言って3割くらいしか票を取れていません。実を言うと、勝てるかもしれないと浜のドンがつきはねました。十何年前から、藤木さんは菅さんとも一緒に食事をしていました。その時から、菅さんは偉い人の顔色を窺って発言をされている人で、もちろん先輩でも違う時は私達はハッキリ違うと言うのが人の筋だと思いますが、藤木さんが義理と人情と恩返しの点で、菅は欠けていると周辺に言い出したということで、次の総選挙、本人ももしかしたら大変な結果になるかもしれない。体力については、ほとんど外食、ホテルニューオータニやパレスホテルなどの一流ホテルからのテイクアウトですが、やはりそんなに多くは食べられませんよね。だから結果的にはずいぶん体調が悪くなって、ご本人が眠れないと。菅さんは秋田の方ですからお酒を飲むと思うのですが、私はビール一杯飲むとすぐ寝ちゃうんですよ。だから疲れは残らないんですが、相当お疲れの様子なので、早くお体を回復させていただいて、がんばっていただきたいと思っております。

レジュメの2番目、本題はコロナ問題です。昨日、羽田空港で何度も体温を測られたり、秋田で言えは秋田空港を降りるとき、出ようとしたら、「ここに立って下さい」と言って体温を測られました。出る時もってというのが秋田県らしい気がします。現在、東京都葛飾区に住んでいますが、時々4人以内で知り合いのレストランや食堂に行きます。アルコール提供はもちろんないですが、19時になると食べている最中でも片づけ出すんですね。店側も20時で閉めなければいけないから、仕方ないですけども。空いているお店は駅前の東急スト

ア、イトーヨーカドー、コンビニ、薬局です。後はシャッターがバタバタと閉まっていく。もうどうしようもない状況です。中野の食堂の店主も、売上げが上がらないから1日閉めて何万円か貰って従業員の給料に充てた方が早いと。もうテレワークを含めて、みんなの気持ちが萎縮してしまっている。私はここ1、2年、水元公園まで毎日1、2時間歩いてきましたけれども、それでもやっぱりこういう状況だからこそ、何かやらないと気持ちが落ちてしまう。だから本も3冊書きました。全部電子書籍です。“明日死ねます”というタイトルの安楽死の随筆、これも来週出します。これは、亡くなられたある脚本家の方が安楽死したいということで、それをもじって書きました。

コロナワクチンについては、私は6月に2回、ファイザー製で接種しました。何千人、何万人に1人程度はかなり厳しい副作用が出ているようですが、来年3回目の接種しようと思っています。ワクチン接種とカクテル療法が、中等症の患者さんにはすごく効果があるそうです。ワクチン接種後、仮にかかっても早い段階でカクテルを投与すれば、症状の程度はインフルエンザ並みになるのではないかと。ここ10年では、年間3,000人がインフルエンザで亡くなっています。コロナでは、ここ2年で1万5,6,000人が亡くなっていることを見ると多いですね。ですから普通のインフルエンザのようにいつかはなるのかなと思っています。中等症後期、エクモ（ECMO；人工心肺装置）が必要な方が、まだ都内で1万何千人、全国では10万人弱いると言われています。自宅療養から野戦病院へ、しかし結果的には、野戦病院と言っても場所がありません。だったら、ガラガラであり使われていないホテルの客室を使って、医者や看護師さんを常駐させる等、とにかく自宅療養を避けるべきです。急に患者を運んでも、緊急処置ができるように、自宅療養ゼロを河野太郎か岸田文雄に目指してほしい。

今まではコロナ撲滅、コロナをやっつけようと言ってきましたが、これからはウィズコロナ、コロナと共に生きるしかありません。昨日の西村大臣と尾身会長は、日本経済はおそらく死ぬと言っています。だったらワクチンをとにかく早く接種してもらって、11月末くらいからワクチンパスポートを持っている人は旅行しても良い、旅行代は3割程度補助する、といったような形にするとか、ルールを作らないとウィズコロナの方向になかなか進めない。これはぜひ、皆さんもお考えいただいて、提言を秋田魁新報にしてみてもどうでしょうか。

次は、シングルシルバーについてです。生活をしていくのはおそらく大変でしょう。亡くなってから1週間、しばらく顔見ていないからのぞいてみようと思って行ってみると、そこでようやく発見される。一番辛いのは、シングルで過ごし

ていて、誰かに会いに行くのもなかなか行けないという今の状況だと思います。

シングルシルバー、ひとり親のバックアップと、コロナで失業された方、最低生活保護費にあたる 15 万円くらい、工場や自営業の方も、証明書等で払った税金分だけは返し、全所得の最低 5 割を保障するとか、それはもう国が出すしかないです。そういう具体的な策を十数兆円かけても、どうせ日本の国債の額は一千百数十兆円ですから、いいでしょう 30 兆円くらい増えても。などという、財務省の後輩に怒られてしまいますが。だって国の予算で収入の部は 100 兆円の内、30 何兆円国債ですからね。赤字国債、国債費、借金の利子を払っているのも 30 兆円、自転車操業ですよ。このような状態であるならば、今を生きよう、30 兆円くらい平気で国が出す、と岸田が言ったら、マイクを持って応援しますよ。コロナ失業者の救済については、皆さんぜひお考えいただきたいと思います。

続いて 3 番目、景気対策はウィズコロナではありますが、やはりもう何かやらなければいけない。今はもう、見たくないような事件いっぱいありますよね。教え子の大学の心理学の教員は、「先生、アメリカの研究によると、母性本能というものはないのかもしれない」と。嘘でしょ？母性本能で自分の子供を命がけでも助けるんでしょ？ある事件では、母親が子供を産んでそのままケースに入れて、押し入れに入れていたとありました。許せないことです。

コロナとの共存として、ワクチンパスポートを使用し、夜 9 時までだったら出歩いてもいいんじゃない？それでもって皆で元気になろうと。人間は、本来密、ベタツとついていないと駄目なんです。そこから子供も産まれて、人間は広がっていく。だから離れている状態ではちょっとね…。パラリンピックを見ている、やはりグータッチぐらいしたいですよ。皆の気持ちが下がっている。昨日も秋田に着いて、ちょっと出ようかなと思っても、川反まで行く気が起きない。結局、ホテルやコンビニで食事は済ませましたが、何だか悔しいから夜の 9 時くらいに街を歩いてみましたよ。テレワーク、テレストアディが続くと、コロナの後はリストラの可能性もあります。ユニ・チャームだったかな、現場以外は全員テレワークなんですよ。幹部の何人かが来て、あとはパソコンと携帯電話でやりとりです。人員要らないですよ、はっきり言って。私が経営者だったら、半分は外注する、機密保護さえしてくれたら、それで済んでしまう。コロナが終わった段階でも、テレワークはおさまらないで現場以外のリストラになるのではないかな。ますます秋田県以外は、経済深刻になる。

アイディアを考えることを含めて、テレワーク、テレストアディで言うと、早稲田大学のゼミと実習以外は授業がほとんど週一だそうです。授業料返せとい

う話になるし、他の大学がどうかかわからないのでノーコメントとしますが。しかし基本的に、優秀な子だったらそれで済んでしまう。今から 30 年前に、代々木ゼミナールでの講義に 1 時間来てくださいと頼まれたことがありました。そこで講義を引き受けたら、全部カメラがついていました。学生は 200 人前後いたのですが、全国の代々木ゼミナールで同時配信していますと。優秀な子だったら、十分テレワークやテレストアディで済んでしまう。ただ、それだけでは知識は教えられても、たくさんのかんことを教えられない。世の中は様変わりする。ぜひそこで皆さんからアイディアを出していただいて、きりたんぽの会社にも提案してみてください。辛子明太子だって、博多でタラコとキムチと一緒に食べたらうまいとなったのが始まりだったそうですよ。思わぬきっかけで生まれるものもあります。

総選挙は、ずれて 10 月解散となり、11 月になるかもしれませんが、今のところは 10 月 24 日（日）、投票という線で準備に入っています。しかしこれが 29 日に新総理河野太郎が決まって、翌日または数日内に内閣改造党三役をやって、小泉進次郎官房長官が組閣名簿を読み上げて、野田聖子が挨拶をして、国会でもって所信表明演説等いろいろとやると、10 月中旬くらいに解散になって、任期満了が 11 月にずれるかもしれませんが、やむを得ない場合は仕方ありません。いずれにしろ、この秋の解散総選挙ということで進んでいきます。今までは、政権交代の可能性は極めて大で、野党が統一候補を立て、枝野でいくしかない。それで候補の一本化をしたら、おそらく 70 議席がひっくり返ります。約 270 議席が 200 議席そこそこまで。公明党が約 20 議席とっても 233 議席には届かない。

後で詳しく触れますが、橋下徹さんはものすごい数のフォロワーさんがいますが、今から 10 年くらい前に、私は橋下徹さんをテレビで強く批判したことがあります。その当時関西の記者が、「先生、あんなに書かれて大丈夫ですか？」と個人名で徹底的に叩かれました。赤坂の料亭で森喜朗さんと食事をしたことがあります。その席に橋下徹さんも来ました。当時、私は森喜朗さんのブレーンをしておりましたので隣に座っていたら、橋下徹が「先生、何でいるんですか」と言ってきたので、「私は森さんの大学の後輩で、選挙の応援もした」というようなやりとりをしていたら、森さんが「先輩に対してその言い方はないだろう」と、少しもめたことがありますが、辛坊治郎が間に入る場面もありました。とにかく、何で維新の橋下徹がこんなにテレビにたくさん出ているのか。朝から夜までチャンネルを変えても出ている。大学の同級生であり、ジャーナリストの大谷昭宏に聞いてみたら、「関西では、維新はお金がないので、そ

れじゃないですかね」と言います。選挙は出ないと言うけど、昔もそう言って選挙に出たこともありました。私が思うには、関西の比例あたりに出て、当選者を増やそうと考えているのかなと。維新はこの形でいくと、30～50議席まで、比例含めて関西地区で勝つ可能性があります。そうすると、自民党は公明党ではなくて、自民維新の連立も選択肢に入るのかなと。このことについて、公明党の山口代表は気づいています。このあたりが大きなポイントになるのではと思っています。

おそらく、きちんとしたコロナ対策とウィズコロナの景気対策ができないと、あっという間に支持率が30%前後になって、自民党が河野太郎なら巻き返しをはかっていくだろうと思っています。以前、さいたま市で枝野幸男の選挙の応援をしたことがあります。悪い人間ではないですが、宇都宮高校を出て、東北大学法学部卒で弁護士資格を持つ利口な男ですが、弁護士そのままな印象です。3.11の震災時は菅直人総理の時代でしたが、当時官房長官であった枝野幸男の委員会でのコメントが、「放射能は大丈夫ですか？」と聞かれて、「直ちに人体には影響がない」と答えたそうです。こんなことを平然と言えるなんて、ふざけるなと思いました。悪い弁護士の心を持っているので、ならない方がいいなと思っています。力量としては、器用さがあるがずるいところがあります。

結論としては、10月解散で10月末、あるいは11月総選挙でこのまま行ったら、おそらく自民党は230、240議席くらいで単独過半数は取ると思います。それで公明党と組むか、あるいは維新と組むか。橋下徹は無任所で、副総理や、弁護士ですから法務大臣でもいいと思いますが、これが実を言うとポイントです。その時、野党の出番はありません。ただ、枝野が原発ゼロや、コロナによるシングルシルバー、ひとり親、失業者に向けた具体的な対策ができれば、野党でも選挙は勝つ気がしています。逆に、野党連合が約240議席、公明党を抱き込んでやるかということも考えられ、公明党は両にらみの様子がしてなりません。

レジュメ4番目、自民党と公明党の間に何かギクシャクしたものがあります。おそらく安保法や靖国問題等で創価学会婦人部が横を向いています。私は葛飾区なので、周りに創価学会の方がたくさんいて、昔は山口那津男の時には集会で応援したこともあり、仲良くやっています。しかし、創価学会婦人部は、今の自民党の高濱が嫌いということもあってギクシャクし、維新が楔（くさび）を打って政権を取りたいということがあるのではないかと。とにかく、人材不足です。野党の方がまだ人材不足ですので、外部から3人くらい、人を入れるく

らしいの覚悟を持ってやれそうですが、バッジのない人に大臣をやってもらおうというのは勇気がいります。それでもやってみればいいのではと思っています。元埼玉県知事の上田清司が、現在は参議院議員です。全国の首長と小池百合子が入っているかもしれませんが、次の衆議院選で地方の声を国会へというタイトルで、いろんな県知事や、人口 30 万人以上の市の市長、当選 3 回以上で 10 年近くやってる人達を集めてやろうとしています。皆さんも思い当たるかと思いますが、東北にも何人もいます。そこに例えば、石破茂や小泉進次郎が官房長官をやらない場合には抱き込んで、原発ゼロで小泉純一郎か瀬戸内寂聴先生から名前だけお借りするような形を取るとか。そうすると、私は比例だと 1,000 万票くらい取ってしまうのではないかと思いますし、公明党の 600 万票を超えだと思います。入れたい野党がないと考えている人が私の周りにも何人かいます。

これからの日本について触れなければいけません、この 1 週間ぐらいで城山三郎先生の“落日燃ゆ”をもう一度読み直しました。城山先生は大分県日田にある自由の森大学に講演に来てくれました。“これからの日本の在り方～落日燃ゆを語る～”というタイトルです。その時は夜も一緒に食事をして、翌日は日田の駅にお見送りに行きました。15 分くらい駅のホームでお話をできたのですが、今日のことを考えながら、明日の生き方を考える、そういうことを城山先生は“落日燃ゆ”の中で「何であんな時期に戦争やり続けたのか」という思いで書いたそうです。明日をどう生きるか、そんなことを何も考えない大本営（当時の軍部）があったんです。そのことを書きたかったと。小情況、自分の小さな状況だけではなく、大情況、世界のことを頭に入れないとリーダーは駄目になると。わずかな時間の中でお話されたことを全部暗記して、城山先生の電車をお見送りした後にノートに記しました。大作家である城山先生の伝記をぜひ見て下さい。愛知県の人間魚雷のメンバーに自分から志願してなっていったこともあります。終戦後に一橋大学入学、後に作家になるのですが、いろんな当時の体験が人間にとっては大事です。私の大学時代には、大隈講堂にいろんな方が来て、わからないなりに 60 分程度の講演を聞いてメモをとって、それがだんだんと年をとってくると意味が理解できるようになる。20 才で理解できることはあまりない。経験によって理解が深まるんです。城山三郎先生とは 2 回ほどお話する機会がありましたが、本当にすごい方です。

今の日本にとって、これから 5 年後、10 年後、大変なことになる。孫達を見ても、小学校も休み、息子もパソコンでテレストァディをやっているらしいが、後は何をしているのかと聞くと、ゲームをしていると。1 日にできるゲームの

時間を決めてやらせていると聞き、私は慌てて本屋に行って、小中学生の読む本を10冊程送りました。ちゃんと感想文を書け、書いたらじいじ（祖父）がデパートで何でも買ってやるというように何かしてあげないと、何も考えない。この私が毎朝2時間、アイパッド（iPad）でホームページを更新したり、2、3冊の本を書いたりしています。打ち間違いも時々あって指摘を受けますが、それでも書き続ければ、200頁の本が2冊、10頁の随筆が1冊完成します。何か変えようとする気持ちが出て来ます。それが城山三郎先生に教わったことであります。

六千数百万人の労働者のうち、正規労働者4,000万人、パート・アルバイト・契約・派遣労働者は2,000万人を超えました。これが、いずれ3,000万人ずつに変わる。そうしなければ、企業は生き残れないし、私が経営者だったら当然そうします。これからどんどん出てきますし、これが現実だろうと思っています。本当に政治家の指導力が問われるし、今の政治家は甘いです。だから、岸田でも河野でも駄目だし、ブレーンを何人かつけて本気で戦うような必要性が出てくるのではないかと思います。

それでは、そろそろ質問を受け付けたいと思います。本日はご清聴ありがとうございました。

道 端 福岡政行先生、どうもありがとうございました。次の内閣については、河野総理、小泉進次郎官房長官、野田幹事長ということでお話を伺いましたけれども、ご質問いただきたいと思います。ご質問したい方は挙手していただければマイクをお持ちしますので、マイクを受けとったらお名前を言ってご質問ください。ご質問のある方、挙手をお願いいたします。

質問者 本日は非常に貴重なお話をお伺いできました。どうもありがとうございました。先生がおっしゃるには、河野太郎さんが総理大臣になるのではないかとおっしゃっていましたが、仮に河野さんがなった場合に、脱原発ですとか、そういった話をするのかどうか、先生のお考えを聞きたいと思っています。

福 岡 河野太郎の頭の中に、原発ゼロはありません。ただ、彼が総理になった時に、間違いなく神奈川グループですので、小泉進次郎を官房長官にしたいと思います。彼なら話も上手だし、きっと台本も要りません。その時、小泉進次郎というよりも、小泉純一郎が原発ゼロを条件にすると言うかもしれません。しかし、進次郎の気持ちにもやはり原発ゼロの気持ちはありません。河野太郎もないと思います。ただ方向性として、エスディージーズ（SDGs）、いわゆる環境問題は世界的にも大きいので、20年後の2040年までにドイツのように原発ゼロへの方向へ動くかな、政策の端っこにあるかな、くらいで全面的にとはならないと

現時点では思っています。

道 端 それでは、本日はこれで終わらせていただきます。この後はゼミナールを開催予定ですので、ご希望の方はどうぞご参加下さい。福岡政行先生、どうもありがとうございました。皆様、福岡先生に大きな拍手をお願いいたします。

大学生の散文理解による再帰性の理解

— 2 次的誤信念理解と類推を規定する作業記憶 —

Facilitative effects of TOM and analogy use on understanding
the recursive plots of picture-books.

光 田 基 郎

はじめに

(1) 「心の理論」は3歳から5歳までの幼児が真実または自分の知識や心情と他人や絵本の登場人物の心情、意識内容または判断との矛盾を受容し、さらに多様な視点での類推を試みて、非現実的な他人の心情や誤解の経緯をも正しく理解し得る資質である。その研究の焦点は、幼児が真実または自分自身の意識、判断や信念の内容と矛盾する他人の行動、絵本の主人公の誤解や人を欺いて誤信念に従わせる意図をも理解し、その非現実的な展開を類推する能力の発達である。いわば、幼児が他人や絵本の世界が示す誤った判断や信念の内容と、真実または幼児自身の意識や信念の内容との不協和を認め、上記の「心の理論」に準拠して自分と他人との意識や信念内容の差や自他の視点差が原因と認めて上記の不協和を調整する過程が研究課題となる。特に4-5歳児が真実と絵本に描かれた誤解や欺きを統合する「誤信念理解」の下位技能の発達過程の図式化が上記の「心の理論」研究の基本的課題となる。本報告は、筆者が3-5歳児に電算画面で絵本を読み聞かせて上記の誤信念理解とその類推の年齢差を検討した報告（光田、2005、2006、2008、2009、2010、2011、2014、2015、2016a、2016b、2017）の補足である。本報告では大学生に誤信念理解を描いた絵本を読み聞かせて内容理解を求めた際、真実の抑制と類推、例えば「彼は壺に猛毒と思う」文で心的状態を示す動詞を補足する下線部分の文節が表現する2次的誤信念内容の意味理解に従う筋立ての類推などの諸技能の図式化を用いて先行研究（光田、2020、2021）を補足する。具体的には、「欺かれた振りで報復」を描いた絵本の理解における2次的またはその再帰的な誤信念内容と真実との対比、その類推の作業台となる作業記憶の負荷を変化させた条件下での上記の諸技能の図式化と、誤解（昨年報告）と欺きでの技能の対比が本報告の基調となる。

(2) 方法は、(イ) 大学生に画面で絵本を読み聞かせて「大蛇に襲われた役者が人に化けたタヌキを装って逃れ、さらに「タヌキはお金を恐れる」と欺いて大金を持参させた筋立てを理解させて、聞き手が上記の2次的な誤信念内容と、大蛇をこの誤信念内容に従わせる意図の双方を理解する際の下位技能の図式化を試みる。具体的には、2次的な誤信念内容(PernerとWimmer、1985)の理解とその下位技能として再帰的な文法構造の活用、真実の表象への抑制とその結果からの類推過程での反応選択とその作業台となる作業記憶の運用などの統合と活性化の様相を図式化する意図で上記の諸技能のクラスター分析を試みる。

(ロ)「誤解に由来する誤信念内容」のみに注目して、別の韓国民話絵本に描かれた「泣けばトラが来る」と母親に脅されても泣き止まない子でも「干し柿」と聞いて泣き止む様子を実際にトラが屋外で聞いて、「自分が来ても泣き止まない子でも干し柿と聞けば恐れて泣き止むから干し柿とは怖い猛獣だ」と誤解して逃げる筋立ての理解に必要な上記の技能の統合的な活用とその階層構造を図式化した結果と、上記(イ)の大蛇を欺いた絵本の内容理解での技能のクラスターでの類推の寄与を対比した。

(ハ) 狂言絵本を大学生に読み聞かせて、父が息子たちを欺いてアメの壺を「猛毒在中。触れるな」と偽って誤信念内容に従わせた意図の下でも、息子たちが好奇心から壺に接近、開封しては父に欺かれた事が分かってアメを食べてしまう内容を理解させた。息子たちがその後、故意に貴重な茶器を壊して「過失で貴重品を壊したから壺の毒に中って死んで詫びたいが中身はアメだった」と欺かれた振りで報復する筋立てを理解させた。上記の「壺に猛毒在中との2次的誤信念内容に従わされた振り」の理解では、上記の「父が壺に猛毒在中と欺いた」との心的内容を示す動詞を補う下位の文節で「壺に猛毒」との2次的な誤信念の内容が息子たちに理解され、さらに「欺かれた振りでの報復」でも父とは別の服毒を装う視点で活用される。いわば「同一の誤信念内容の再帰性」の理解を基本とした絵本の筋立ての理解が求められ、息子たちが真実と上記の誤信念内容とを対比して、真実を抑制して上記の「息子を欺いた時とは別の服毒を装った文脈であるが、父も同じ誤信念内容に従わせられる」報復の筋立てが理解される。この際には、心的内容を示す動詞を活用した文法の理解と、父が息子たちを欺いた後、その報復で息子たちが過失を恥じての服毒を装う文脈の差はあっても、息子たちが父に欺かれた振りをして報復する意図で、父に欺かれた時と同じ「猛毒在中」との誤信念内容を用いた類推を適用した経緯の理解が求められる。この際は、視点を変化させ得る思考の可塑性などの言語機能の発達(Farrantなど、2012)と、上記の類推、思考の柔軟性や文法理解などの諸技能の統合的な活用(Hoyosなど、2020)の検討の必要性を指摘し得よう。その対比操作の作業台となる作業記憶への負荷を3通り変化させた条件下での上記の下位

技能の統合的な活性化の様相の指摘が本報告の基調となる。下記の第 1 章では上記(イ) — (ハ) の各項目に関する若干の文献展望を通じてその実験に関する具体的な問題点を指摘し、第 2 章で述べる実験の視点を明らかにすることが基本的な課題となる。

第 1 章 絵本の読み聞かせにおける類推と誤信念理解

1 - 1. 絵本に描かれた誤信念理解における類推の寄与

(イ) (a) 基本的な発達観に従って上記の誤信念理解を活用した類推の実験の指針を求める試みが本項の課題となる。光田 (2021) は Hoyos など (2015) の「心の理論」の発達観における幼児の言語発達、特に統語的な発達への関心についての展望を試みた。Hoyos などの強調する様に、心的な状態を表現する文の動詞の使用法の習熟とその意味的・統語的機能の理解及び、これを補って意味を明らかにする「母が在宅」などの文節の活用とその習熟過程に関しては、これらの文を統合的に活用する対話の発達に伴う他者視点の理解を経た「心の理論の修正」の指摘が示唆的である。この点が 1 - 2 - (ロ) で後述する Hoyos (2018, 2020) の実験と同様に教授活動実験の指針となる。

(b) . Farrant など (2012) は 6 歳児と言語障害児を対象として、対人関係に恵まれて母子関係でも多くの対話を経験すれば、「彼は母が在宅と思っている」などと心的状態を示す動詞とそれを補う文節で「母が在宅」などの下位の文節を含めた複雑な文での表現を多くの人との関係で多用する故に、上記の彼以外の別人についても「彼女は母が不在と考える」など多様な視点での柔軟で可塑的なコミュニケーションの機会を得ては思考中の視点変更の促進のみでなく心の理論の習熟も促進されるとの仮説から、母子間の会話、思考の柔軟性と 2 肢選択の誤信念理解の成績の 3 者間に高い相関係数値を示した。以上の視点変更による誤信念理解の促進効果は次章で述べる 4 肢選択誤信念課題での検討課題となる。

(ロ) 上記の実行機能の発達並びにその作業台となる作業記憶の容量と類推とを関連付けた図式化の例では (a) Doumas など (2018) の電算モデルが挙げられよう。この報告は幾何学図形相互間でその形、数や大小関係または図形の 2 分割などの関係以外に、より複雑な図形間の対応付けの推理として図形を縮小して別の図形の内側に配置などの関係性の推理を求めて $A : B = C : D$ 型の 4 項目類推を求め、円を 2 枚横並びに描いた図と、同じ円を 1 枚描いた図とを対応させた後、その類推課題として正三角形 2 点の図に対応する図形と正三角形 1 点の図を選択させた。年長児用の類推課題では最初の A 項目に対応する 1 枚目のパネルには正五角形と正三角形を横並びに描いた図を、B のパネルではこの正五角形を縦に 2 等分した図の右に A 図の正三角形を縮小して縦に 2 枚並べた図を対応させ、類推の C 項のパネルでは正六角形と正方形とを横並びで提示した類推課題では D 項目に対応する図を描いたパネルを選択させた。ここでは正六角形を縦に 2

等分した図の右に正方形を縮小して縦に並べた図を描いたパネルが正解であるが、この際には上記のAとBの関係を推理してCとDとの関係に正しく写像する操作を命題の構造として図式化する試みを避けて電算モデルの流れ図での表現を試み、電算プログラムのDORA（類推による関係性の発見—Discovery of Relations by Analogy）で上記の関係性の学習をモデル化して、関係性の推理とその写像操作に関してはDORAの下位機能となる「図式と類推による学習と推論（LISA: Learning and Inference with Schema and Analogy）」プログラムによる類推の図式化を試みた点が特徴的である。以上のモデルでは課題と無関連の表象を抑制する制御機能の成熟が空間表象の類推と関係性の学習成果を規定する可能性を強調しながらも、上記の図式の統語的理解の促進手続きとしては少数の図形の配置を下位命題とした挙げたのみで、作業記憶での処理負荷の節減操作には論及し切れない。特に、この報告は $A : B = C : D$ と表記し得る4項類推の最初の2図形相互間の関係性から類推してこれと写像関係にある図形を選択させる手続きの下で、課題の複雑さを変化させた条件下での類推の成績についての3歳から14歳までの差を求めてその電算モデルでの演算結果の年齢差を指摘した反面、上記の電算モデルの内容は、図形相互間の関係の論理判断とその言語表現の発達の数式化よりも課題図形の具体性に規定される点を指摘し得よう。以上のDumasの報告は、課題の幾何学的な複雑さを変化させた条件下での類推のみに注目して、作業記憶容量の成熟と刺激の無関連属性による干渉抑止の指摘から作業記憶の効率的制御の発達を強調した一方、本報告が課題とする上記の2次的誤信念理解、その文章表現に必要な文法理解を基本とした誤信念内容の再帰性の理解促進とその図式には論及していない。この点については光田（2021）に引用した作業記憶の発達による無関連表象の抑止と処理機能の成熟及び、下記（b）のLISAによるシミュレーション及び次項で述べる関連性の図式化（SimmsとRickland、2019）による検討の必要性を指摘し得よう。

（b）Morrison, DumasとRichland（2011）は3－4歳児の類推発達に関して知識の増大と情報処理機能の成熟を強調し、作業記憶における個々の具体的表象相互間の類似性に由来する処理負荷の増大への抑止機能向上と、これらの表象間の多様で複雑な関連性への対処の習熟過程について上記のLISAモデルによるシミュレーションを試みた。この提言では構造化された知識表象を用いた類推の発達の先行研究に関してプライミングや図式化などの視点、類推における実行機能の言語化などに関する詳細な文献展望と電算モデルの活用を通じて類推のシミュレーションを成功させた。類推の例では「ネコがネズミを追う場面でイヌがこれを見ている」絵を基礎領域、その類推を求めた課題の目標領域では「男の子が女の子を追いかけて、母親がこれを見る」絵にネコを描いて、それぞれの対象の「追う—追われる」の関係の写像の基本となる対応関係を示す下位命題とその構造理解、作業記憶における下位命題相互間の対応付け並びに無関連反応の抑制

を具体的にシミュレーションした点が基本となる。以上の様に、類推の発達の基礎を作業記憶における下位命題相互間の関連性の図式化と写像の過程での無関連刺激の抑制に求める視点からは、後述する「欺かれた振りでの報復」の筋立ての類推における文法理解の効果の検討の必要性を指摘し得よう。しかしながら、二次的な誤信念理解を述べた文の再帰的構造の処理とそのモデル化にはさらに複雑で多様な変数への対処が必要であり、本報告では上記の二次的誤信念の理解における文法技能の重要性の指摘のみに留めて、そのLISAモデル化に向けた具体的な変数の選択とそのプログラム作成は今後の課題として残された。以下では上記の誤信念理解における文法理解と類推の役割に関する先行研究の展望が課題となる。

(ハ) 上記の関係性の理解による類推の発達過程として上記のSimmsとRicklandは (a) 具体的な知識領域で個々の対象とその属性の知識の発達の理解のほか (b) これらの対象相互間の具体的な関係性の知識と理解の発達による無関連表象の抑止とその際の作業記憶負荷の低減並びに、(c) 「樹木の幹と飲料用のストローの類似点について、いずれも細長いと言う見かけの類似性のみでなく、「これらの対象のいずれもが液体を吸い上げる機能」を比喩的で抽象的な表現から適切に説明し得る関係性の図式 (mind set) の事前教示によって4歳児の段階でも「イモムシが成長してチョウになると同様に、花の種が成長して花を咲かせる」との4項目類推の発達促進をも強調した。この報告は関係性の図式の活用とその言語化を示唆しているが、この関係性の図式が上記の作業記憶における処理の負荷を低減する過程並びに、無関連表象の抑制とその際に言語的発達と文法理解の果たす役割に関する詳細な論及を欠いた点も指摘し得よう。特に年少幼児が上記の関係性の図式とその命題表現を活用する類推の発達では、上記の文法理解と「心の理論の修正」との関係が問われよう。誤信念理解に関する上記の類推観に関しては、幼児の言語発達に伴う表象相互間の関係性の対比と抽象化並びにその指導を強調したHoyosなど (2018、2020) の指摘からの問題提起が本章での残された課題となる。(d) Hoyosなど (2018) は心の理論の発達に関して上記の言語説に準拠した一方で、上記の言語体系の習得から他者の誤信念内容の理解に至る発達過程に関しては、他人の思考又は信念の内容などと幼児自身の経験内容または既得知識の表象との比較や対応付けまたは関連付けを意図した推理と類推とを強調した点が特徴となる。その実験では4歳半から5歳の幼児に電算画面で吹き出し付きの漫画を見せる方法で「対象の予期しない移動、または所定の容器には予期しない物が在中」を課題とした古典的な2肢選択の誤信念課題を提示して、さらに質問によって「真実」の表象と「誤信念内容」とを対比させた結果から「年少児は既に容器とその本来の中身とは入れ替えられた今の中身を知っている」などと真実の表象を抑制せずに誤信念の理解にも欠けた誤応傾向を強調した。以上並びに光田 (2021) で紹介したHoyosなどの類推観では最初に比較された基礎—目的領域間

に共通の構造的な整合性の推理に向けた教示効果とその所産としてより抽象的な知識図式の形成と転移が強調された視点をも併せて考えた場合、幼児の誤信念理解における言語の寄与とその年齢差に関する検討の必要性を指摘し得よう。以下では3歳児の誤信念理解における言語能力の寄与を認めながらも、統語と意味理解の機能との未分化の指摘と作業記憶の寄与をも疑問視したSladeなど（2005）の実験と言語教示の効果を指摘したHoyosなど（2020）の指摘から、言語教示による類推の促進とその作業台となる作業記憶での処理資源の節減に関する問題提起が本章での残された課題となる。

1 - 2：誤信念理解とその類推における言語教示の効果

（イ）上記の文法理解及び言葉の意味理解の発達に伴う誤信念理解の促進に関してSladeとRuffman（2005）が平均年齢3歳8ヶ月の幼児に2肢選択の誤信念理解課題であるサリーアン型の「予期しない対象の移動」課題及び、菓子容器の中身を入れ替えて想定外の鉛筆を入れた場面の絵を幼児に見せてから、「内容の入れ替えられた事実を知らない子ならば容器の内容を聞かれた際には入れ替えられた鉛筆でなく、所定の食品在中と予想して答えれば正解」となる「誤信念内容の理解」課題の成績の規定要因として言語の発達に注目した実験が挙げられよう。この実験では、文の主語・述語関係の理解などを求めた文法理解検査の成績からは6ヶ月後には上記の誤信念理解の促進を予測し得ず、これらの統語理解と単語の意味理解の双方を総合した言語理解検査成績のみが6ヶ月後の誤信念理解検査成績の向上を規定する傾向を指摘して、言語発達の下位技能である統語と意味理解のいずれもが単独では誤信念理解を説明し得ないとの提言を試みた点が特徴的である。この点に関しては参加者の年齢差をも考えて緻密な実験計画の必要性を指摘し得よう。さらにSladeなどが記憶範囲法で測定した作業記憶検査成績が6ヶ月後の誤信念理解成績与える効果に関しても否定的な結果を指摘した結果には注目すべきでも、3歳児に「馬がシマウマを追う」絵の選択と「ネコがネズミを追う」絵などの選択を求めた課題の成績から作業記憶における統語と意味処理の負荷を論じた手続きについても参加者の年齢差及び、言語教示による誤信念理解促進効果をも考えた再検討の余地を指摘し得よう。

（ロ）誤信念理解における反応選択とその作業台となる作業記憶との関連で言語教示の効果を強調したHoyosなど（2020）は上記（イ）の菓子容器の中身入れ替え実験に類似した3課題を4 - 5歳児に与えた実験で、中身を入れ替えた現実とその事実を知らない子の誤信念内容との対比を教示した条件及び、言語教示効果以外に実験参加の幼児と家族との会話での心情表現、特に「思う」、「考える」などの動詞を用いる頻度による誤信念理解への促進を強調した。この実験結果は誤信念理解における真実と誤信念内容の対比、真実の表象の抑止並びにそれらの操作を電算画面で反復した結果を抽象化された

行動図式として後続の課題に適用し得た類推実験であり、4 – 5 歳児による推論、写像過程を具体化してその転移効果にまで論及し得た反面、幼児を対象としたこの実験と同一

の伝統的な類推観の下で年長児や成人の実験参加者を対象として、より複雑な知識図式と言語理解を活用した推理、写像を求めてその際の情報処理負荷を検討するには類推とその言語課題、具体的には後述する行動図式の再帰性や二次的誤信念内容などを取り入れやすい課題の選択の必要性を想定し得よう。この点が次章以下での課題となる。

第2章 実験と結果の考察

問題と目的

本章前半では大学生に欺き又は誤解を題材とした絵本各1点を画面で読み聞かせ、主人公が大蛇を欺いて誤信念内容に従わせる過程又は単なる誤解を題材とした絵本の筋立てを理解させ、高次または、2 次的な誤信念内容の理解とその下位技能である文法、各エピソードの再帰構造理解、真実の表象への抑制、類推と反応制御など下位技能をクラスタ分析によって図式化し、対比する。特に誤信念課題の選択肢数が作業記憶への負荷を変化させ、類推と筋立ての理解を抑止する程度を図式化（光田、2021）して、絵本の筋立て理解の下位技能の統合的活用の指針を模索する。本章後半の実験では題材とした狂言絵本を大画面で読み聞かせて、主人公が誤信念内容に従った振りをして報復する過程を題材とした絵本の筋立てを理解させた。目的は2 次的誤信念内容の理解とその下位技能である文法と再帰構造の理解、各エピソードで真実の表象抑制、類推と反応制御などの下位技能の構造化・図式化である。以下では、作業記憶負荷としてサリーアン型2 肢選択誤信念課題と4 肢選択課題で情報処理負荷を変化させた条件間での上記の技能の構造の差に注目した。

実験1

方 法

材料・参加者・課題：(イ) 材料・参加者：(a) 藤巻著「たぬきえもん」（福音館）より、田野久という役者が大蛇に名前を聞かれて狸と誤解されて飲み込まれずに命拾いした。役者が「人に化けた狸」を装い「狸はお金が怖い」と大蛇を欺いて、「大蛇はタバコ嫌い」と聞いては村人に伝え、大勢がタバコの煙でこの大蛇を追い払う。大蛇が「狸の嫌うお金で仕返し」の意図で役者の家に沢山のお金を投げ込んだので役者も村人も大金を得る話15画面の読み聞かせを電算に録音・録画して別の大学生45名（M；42，F；3）に大画面で読み聞かせた。(ロ)「トラと干柿」（藤巻愛著・福音館・韓国民話）より農家の母親が子どもに「泣き止まないとトラが来る」と脅しても泣き止まない時、干柿を

与えたら泣き止んだ。トラが聞いて「この子は自分が来た事を知っているのに泣き止まない程に強い子なのに、干柿と聞いて泣き止んだ。干柿は自分より強い」と誤解して恐れて逃げた時に、この農家に侵入した牛泥棒と鉢合わせする。盗人は牛を盗む気でトラに飛び乗るが、トラは干柿という怪獣に襲われたと恐れて盗人を背中に乗せて逃げる話17画面とその再認と下記の下位技能検査を教室大画面で別の大学生56名（M51, F 5名）に読み聞かせた。（ロ）検査項：（a）上記の内容の逐語・推理再認、（b）幼児用長文理解（留守番の3エピソードを画面で読み、その順序を再構成）、（c）図形の類推、（d）反応抑制、（e）文法理解（タクシーがトラックを牽く絵の選択）、（f）幼児用誤信念理解検査（2肢選択サリーアン課題）、（g）対象物の予期しない移動を述べた4肢選択の成人用誤信念検査（Birch など'07 に準拠：女の子が左端の青容器にヴァイオリンを入れたが、彼女の留守中に妹がこれを赤又は紫の容器に移し、赤容器の位置も元は青容器のあった左端位置に並べ替え、紫と緑容器の位置も変えて退室。姉が戻る時に4個の容器の何れを最初に開くかを質問し、上記4容器毎にその主観的確率を入力させた。（ハ）デザイン：上記（ロ-g）の誤信念理解課題で妹が（a）どの容器に楽器を移したか「不明」条件、（b）赤容器に移し、位置も姉が最初に楽器を入れた青容器の位置に並べ替えた「情報追加」条件と（c）紫容器に移した「情報無効」条件を級間変動因、姉が戻って最初に開く青、赤、紫と緑容器毎に入力した選択の主観的確率、絵本の内容再認と、誤信念理解も含めた上記（ロ）の各技能を級内変動因とする混合型共分散分析で変数間の相関を指摘し、次に重回帰と判別分析で上記（g）の容器の4選択肢の主観的確率の内容再認への寄与も検討した。

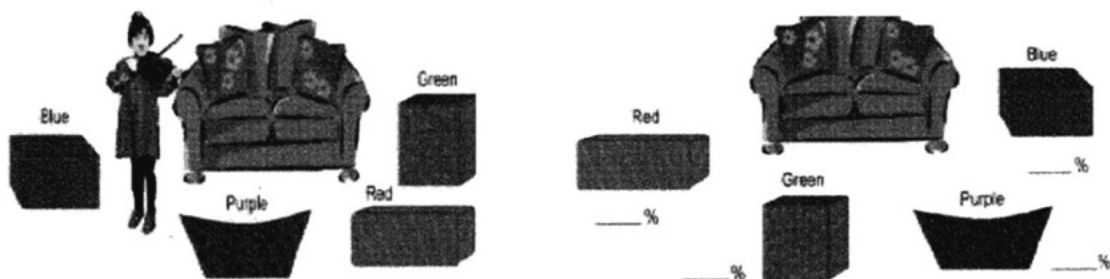


図1 実験に用いた画像（Birch'07の一部を改変）

結果と考察

（イ）方法（ハa-c）の3条件別に絵本の内容推理再認成績を求め、方法（ロ）の各変数の相関を求めて共分散分析の結果、絵本（a）の内容推理再認成績の主効果は、い

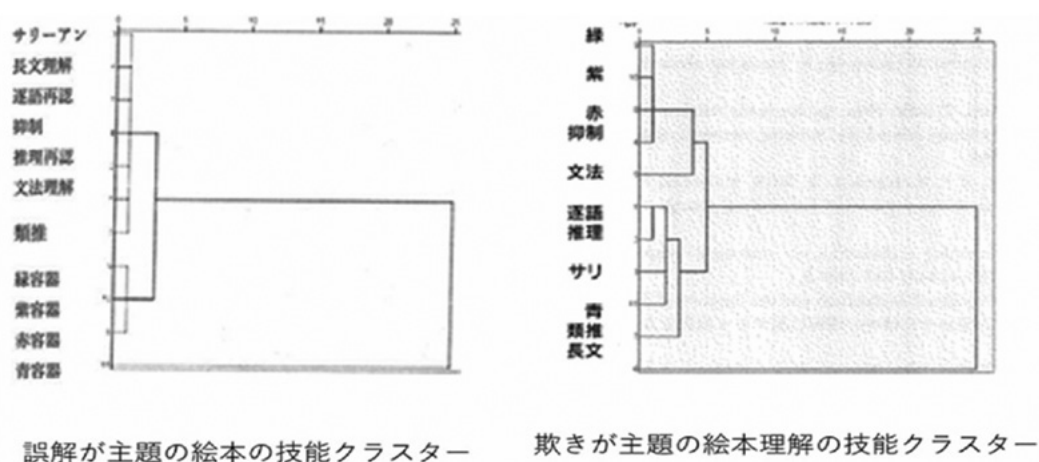


図2 技能クラスターの分析結果（右パネルは光田'21を再掲）

ずれか不明＝情報追加（赤を選好）＞情報無効（紫を選好）（5％水準）を示す。(b) 絵本 (b) では、いずれか不明群では上記の全ての変数の成績と再認成績の高い相関係数値（5％水準）と絵本の再認成績の高得点（1％水準）と、紫・緑容器への移動（情報無効）群で不明群とは逆の負相関係数値と絵本の再認成績低下（5％水準）も示された。以上より誤信念理解課題での干渉刺激数の増加による意味的類推の成績低下と、4肢選択での誤信念理解における干渉との対応を想定し得よう。(ロ) 内容の推理再認成績を従属変数とした重回帰分析と判別分析では「いずれか不明」条件では上記の欺き文、誤解文共に2肢選択誤信念課題と反応抑制のみ正の説明変数となる。以上より誤信念理解に於ける選択肢数による干渉を指摘した。(ハ) 図2に示すクラスター分析の結果から、(a) 大蛇を誤信念に従わせる意図を理解させた「欺き」の絵本では筋立て理解での作業記憶容量と第2クラスターはエピソード再認と類推、3番目が二次的誤信の理解に必要な文法と大学生の散文理解における再帰性の理解4肢選択誤信念理解での干渉及び真実の表象抑制のクラスターに3分され、(b) 誤解内容の理解の絵本では作業記憶と再認・類推と誤信念理解が統合されたクラスターと4肢選択の誤信念理解課題の2クラスターとなる。以上の考察と結論として、本実験は、成人の誤信念理解過程での作業記憶（処理）容量の寄与を絵本の内容理解を指標として検討し、4肢選択課題は誤信念内容の理解と真実の表象の対比よりも空間表象への図式操作能力と関連付けた。

実験2

問題と目的

実験2の課題は二次的誤信念内容の理解が可能ならば文の再帰構造を理解する文法を基本に、他人を欺いて誤信念内容に従わせる意図の理解も誤信念内容を認めるならば・・との皮肉や冗談も理解し得る。本実験は、父が息子たちを欺いてアメの壺を猛毒と偽った結果を用いて報復される過程を描いた狂言絵本の内容を大学生に画面で読み聞かせ、その理解における上記の文法理解、真実の抑制、誤信念内容と真実の対比及び類推並びにこれらの制御などの技能とその作業台となる作業記憶の関連をクラスタ分析や判別分析で検討した。さらに2肢選択のサリーアン型誤信念理解課題以外に4肢選択の誤信念理解における作業記憶の負荷についての指摘が課題となる。光田（2020、2021）は誤信念理解における作業記憶での情報処理負荷を検討して、サリーアン型2肢選択検査（参加者全員に実施）以外に4肢選択課題として「何れの容器に移動させたか不明」群と「青容器から赤容器に移動、容器の位置も変化（情報付加群）」または「紫容器に移動？（無関連情報群）」の対比結果から（a）再認成績は不明群＞情報付加群＝無関連群の結果を指摘したほか、（b）技能のクラスターも4肢誤信念理解課題と上記の言語表象操作との独立を指摘して、上記の4肢選択誤信念課題は言語表象より空間表象依存であって、言語表象とは別の文脈処理が必要（SimmsとRickland, '18）または妨害刺激（Thibautなど2010）として機能する傾向を想定したが、この点の追試も課題となる。

方 法

材料・参加者・課題：（イ）材料・参加者：狂言絵本「附子」（父にアメの壺を「猛毒が在中」と欺かれた息子たちがこの誤信念内容に従った振りをして欺きに報復する筋）14コマを大学生に画面で読み聞かせ、内容理解と逐語・推理再認、類推、上記の実験

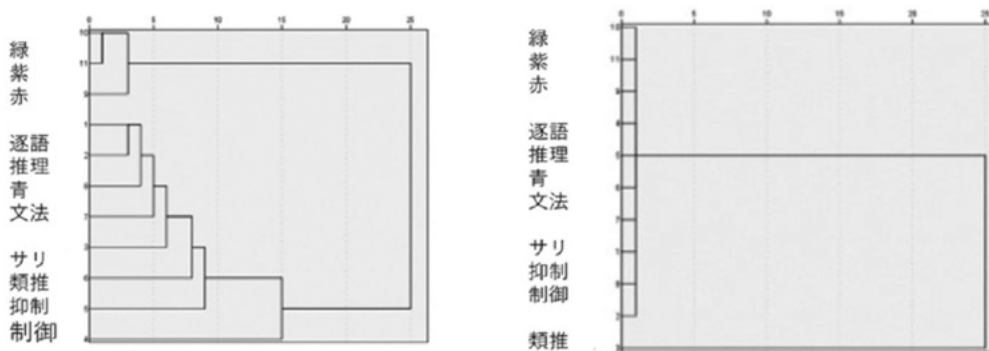


図3 何れか不明群（左）と情報無効群（右）のクラスター分析

と同様の反応抑止、反応制御、日本語文法理解及び上記実験 1 の場合と同一の 2 肢と 4 肢選択の誤信念理解検査を大学生 29 名 (M24、F5) に実施した。

結果：(1) 4 肢選択の誤信念理解課題の「移動先が何れか不明」群と、それ以外の位置情報付加（赤容器）群及び情報無効群（紫）別にクラスター分析した結果の一部が図 3 である。結果から (a) 父が息子たちを「猛毒在中」との誤信念内容に従わせる意図の理解に至るまでの多くの下位技能（逐語・推理再認から 2 肢選択の誤信念理解課題達成に至る正反応の抑制及び、その文章表現による再帰的構造の理解）と (B) その類推を用いた報復に至る反応制御の 2 クラスター及び、(c) 筆者のこれまでの発表と同様に、4 肢選択の誤信念理解課題での容器選択（緑、紫と赤）のクラスターが特徴的である。(d) 上記の移動先不明群外では上記 (c) の 4 肢選択の容器のクラスターとそれ以外の散文理解技能全てが対等に結合した 2 クラスターを得たが、信頼性は有意でない。クラスター分析を用いて 4 肢選択での誤信念理解成績と絵本の内容理解技能の布置が図 3 である。絵本の筋立て理解技能や類推との関係付けを検討した結果は、何れか群は筆者の上記の先行研究の場合と同様、同時提示且つ視覚（色/位置）手掛かりクラスターが顕在化した。

(2) 移動先が何れか不明群と、それ以外の位置情報付加（赤容器）群及び情報無効群（紫）別に推理再認成績を従属変数とした重回帰分析及び判別分析の結果から、(a) 何れか不明群のみ反応抑制、類推、2 肢選択誤信念課題と文法のそれぞれが有意な説明変数となる。それ以外の条件で有意な説明変数は得られず、(b) 推理再認成績も何れか不明群が高い正反応比を示す（5 %水準）以上の結果より 4 肢選択の何れか群は他の条件より作業記憶の負荷が軽減された結果、欺きの文脈強化と、2 次的な誤信念内容の強化と欺きへの報復を述べた絵本の文脈による誤信念内容の強化と真実の表象への抑制及び、(c) 上記の (I) 以外では作業負荷による類推の限定並びに、推論と写像を基本とした推理再認成績との負相関との対応をも想定し得る。(d) 図 3 に示す様に、文法理解と 2 次的誤信念の理解を基本として欺きを述べた絵本の内容理解技能の上位に類推と真実の表象の抑制並びに反応制御が位置付けられ「欺かれた振りで報復」を示す再帰性の理解の技能の階層性を示唆したと言えよう。この点が検討課題となる。

結論と考察

1. 上記の実験結果のクラスター分析から、4 肢体選択誤信念理解課題での作業記憶負荷の少ない「何れか不明」群のみ二次的誤信念理解の文章理解、真実の抑制とその類推による「欺かれた振り」及びその再帰構造のクラスターを図式化した、「位置情報付加（赤容器）」群では操作クラスターとそれ以外となる。

2. 4肢選択誤信念課題は上記の言語表象での2次的誤信念理解とは別のクラスターであり、視空間表象依存の操作に対応させ得よう。誤信念理解における知識表象の差と作業記憶での処理負荷の関連付けが課題となる。

結論にかえて

欺きまたは誤解を主題とした絵本の再認成績とその下位技能の相関に関しては欺きでは情報処理負荷の少ない「何れか」条件でのみ、多くの下位技能と推理再認成績とが高い相関係数値を示す。誤解の絵本では全ての課題条件で再認成績と各下位技能との高い相関係数値が得られた。この結果からは、欺きの理解での誤信念理解は複数の登場人物が注目されて、3人称で誤信念理解過程が理解され、誤解では実験参加者が単数の主人公に自己像を投影して1人称での誤信念理解に到達しやすい可能性を想定し得よう。幼児の実験では年長児ほど心的状態への注目と3人称での誤信念理解と人称での誤信念理解傾向（Brandtなど 2016）をも考えて、上記の欺き条件での類推の寄与とその制御が今後の課題となった。

文献

- Brandt S., Buttelmann, B. S., Lieven, E., & Tomasello, M. 2016, Children's understanding of first- and third-person perspectives in complement clauses and false-belief tasks. *Journal of Experimental Psychology*, 151, 131-141
- Burch, S.A., & Bloom, P. 2007. The curse of knowledge in reasoning about false belief. *Psychological Science*, 18, 382-386.
- Farrant, B. M., Maybery, M. T., & Fletcher, J. 2012. Language, cognitive flexibility, and explicit false belief understanding : longitudinal analysis in typical development and specific language impairment. *Child Development*, 83, 223-233.
- Hoyos, C., Horton, W. S., & Gentner, D. 2015. Analogical comparison aids false belief understanding in preschoolers. In D.C. Noelle, R. Dale, A. S. Warlaumont, J. Yoshimi, T. Matlock, C. D. Jennings, & P. P. Maglio (Eds.), *Proceedings of the 37th Annual Conference of the Cognitive Science Society*, Austin, TX : Cognitive Science Society. PP.1-6.
- Hoyos, C., Gentner, D. William S. Horton, L. E. 2018. Individual differences in relational relearning and analogical reasoning : A computational model of longitudinal change. *Frontiers in Psychology*, doi : 10, 3389/psyg.2018.01235.
- Hoyos, C., Horton, W.S., Simms, N.K., & Gentner, D. 2020. Analogical comparison promotes theory-of-mind development. *Cognitive Science* e12891 ISSN : 1551-6709 online DOI : 10.1111/cogs.12891
- Gopnik, K., & Wellman, H. 1994. The theory theory. In L.H. Hirschfeld & S. Gelman(Eds.), *Domain specificity in culture and cognition*. NY: Cambridge University Press., W.S., Horton, N. & Simms, K. 2020. Analogical comparison promotes theory-of-mind development. *Cognitive Science*, 44 Issue9, DOI : 10.1111/cogs.12891
- 光田基郎 2005. 電算画面上で読み聞かせた絵本の理解に関する4歳児と5歳児の差異. 大阪経大論集 第56巻 2号 85-96.
- 光田基郎 2006. 4 - 5歳児に電算画面で読み聞かせた絵本の理解における類推の寄与. 大阪経大論集 第57巻 6号 97-112.

- 光田基郎 2008. 4 - 5 歳児に電算 L. A. A. 画面で読み聞かせた絵本の内容理解における類推の寄与. 大阪経論集 第58巻 7 号 7-26.
- 光田基郎 2009. 類推と統語機能の発達電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解に与える効果. 大阪経大論集 第59巻 6 号 7-20.
- 光田基郎 2010. 類推と誤信念理解の発達が電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解に与える効果. 大阪経大論集 第60巻 6 号 1-16.
- 光田基郎 2011. 4 - 5 歳児の誤信念理解の差異と類推電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解に与える効果. 大阪経大論集 第61巻 6 号 7-23.
- 光田基郎 2014. 電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解における誤信念理解と類推の効果. ノースアジア大学総合研究. 第2号. 159-172.
- 光田基郎 2015. 電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解における誤信念理解と類推. 聖霊女子短期大学紀要第43号. 25-36.
- 光田基郎 2016a. 5 - 6 歳児に画面で読み聞かせた絵本の内容理解— 誤信念理解・類推と教示の効果—聖霊女子短期大学紀要 第44号 25-36.
- 光田基郎 2016 b. 絵本の内容理解における誤信念理解と類推 矢野喜夫, 岩田純一, 落合正行(編) 認知発達研究の理論と方法:「私」の研究テーマとそのデザイン. 東京:金子書房. 第5章. pp75-88.
- 光田基郎 2017. 電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解における意味的作業記憶. 大阪聖徳保育・福祉論叢 第22号 23-33.
- 光田基郎 2020. 大学生に電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解:誤信念理解・類推を規定する作業記憶の効果. ノースアジア大学総合研究. 第8巻. 141-155.
- 光田基郎 2021. 大学生の散文理解における知識利用—誤信念理解と類推を規定する作業記憶—. ノースアジア大学総合研究. 第9巻. 95-104.
- Morrison, R. G., Doumas, L. A. A., & Richland, L. E. 2011. A computational account of children's analogical reasoning : balancing inhibitory control in working memory and relational representation. *Developmental Science*, vol. 14:3, 516-529.
- Perner, J., & Wimmer, H. 1985 "John thinks that Mary thinks that..." : Attribution of second - Order beliefs by 5 - to ten year old children. *Journal of Experimental Child Psychology*, 39, 437-470
- Simms, N. K., Frausel, R. R., Richland, L. E. 2018. Working memory predicts children's analogical reasoning. *Journal of Experimental Child Psychology*, 166, 160-177. <https://doi.org/10.1016/j.jecp.2017.08.005>.
- Simms, N. K., & Richland, L. E., 2019. Generating Relations Elicits a Relational Mindset in Children. *Cognitive Science* 43 e12795, ISSN: 1551-6709 online.DOI: 10.1111/cogs.12795
- Slade, L. & Ruffman, T. 2005. How language does (and does not) relate to theory of mind : A longitudinal study of syntax, semantics, working memory and false belief. *British Journal of Developmental Psychology*, 23, 117-141.
- Thibaut, J.P., French, R., & Veznev, M. 2010. The development of analogy making in children:Cognitive load and executive functions. *Journal of Experimental Child Psychology* vol.106, 1-19.

〔研究論文〕

漱石文学における結婚と離婚 — 所有と愛をめぐる —

橋 元 志 保

I. はじめに

あまりにも有名な『坊っちゃん』のヒロイン。彼女はその美しさから、マドンナという徒名を与えられるが、その「うつくしい人」と初めて出会った坊っちゃんは次のような思いを抱く。

おれは美人の形容杯が出来る男でないから何にも云へないが全く美人に相違ない。何だか水晶の珠を香水で暖ためて、掌へ握つて見た様な心持ちがした。 (七)

香水を振りかけて暖めた「水晶の珠」が、マドンナの換喩として成立している。しかし、それを「掌へ握ってみた様な心持ちがした」とはどういうことだろうか。道後温泉へと向かう汽車の駐車場で見かけただけの「うつくしい人」。婚約していた貧乏な英語教師のうらなり君を見捨てて、帝国大学出身の文学士であり、松山中学の教頭でもある赤シャツと親しそうに話す「不慥なマドンナ」を一目見ただけで、坊っちゃんは芳香の薫る宝石への憧れにも似た所有欲を抱いたのだ。

また、小説『三四郎』において帝国大学の心字池の畔で出会った美しい女性と再会した主人公は、次のような思いを胸に抱く。

さうして思も寄らぬ池の女が庭の中にあらはれた。

二方は生垣で仕切つてある。四角な庭は十坪に足りない。三四郎は此狭い囿の中に立つた池の女を見るや否や、忽ち悟つた。——花は必ず剪つて、瓶裏に眺むべきものである。 (四)

三四郎が、「池の女」である美禰子と広田先生が借りた借家の庭で再会するや否や、

忽ち悟ったこととは何だろうか。「花」が「池の女」である美禰子の換喩であるなら、答えは一つしかない。美しい花を花瓶に生けてその美を身近なものとして楽しむように、美しい女性は男性に、つまりは自分に獲得されなければならない、ということだ。漱石の小説の主人公である二人の青年たちが以前から関心を抱いていた美しい女性に出会った時、その心に湧き上がってきたもの、それは所有欲にも似た憧れや恋情であると語り手は語っているのである。

憧れの人や愛する人を自分のものにしたいと考えるのは人間の自然の欲求ではあるが、所有に関する概念や権利は時代と共に変遷してきた。日本の近代とは、封建制度の崩壊と産業革命による急速な資本主義経済の発展により、それ以前とは比較にならないほど工業化が進展し、地方と都市部の、上流と下層の社会格差が広がった時代でもある。夏目漱石が作家として活躍した明治時代後期から大正時代初期は、日清・日露戦争の戦勝とも相俟って国内総生産も急速に上昇していった。欧米との経済格差を埋めるための開国以来の殖産興業政策が実を結びはじめていたのである。一方では、封建社会とは比較にならないほど多様なモノがあふれ、貿易の隆盛による舶来品は年々増加し、金があれば何でも買える消費社会、および政商などの成金が幅を利かせる時代の到来でもあった。⁽¹⁾

そのため、近代において「所有」という概念は、かつてないほど人々に意識され、かつ争いの要因ともなり、法的にも規定されてゆくこととなった。所有権とは、「物を全面的に支配する権利」であり、すなわち「法令の制限内において物を自由に使用、収益、処分できる」権利をいう。⁽²⁾しかし、歴史的に見ても人はモノや土地だけでなく、ヒトを所有、もしくは支配してきた。近代の日本においても家長たる男子は、家制度における戸主の権利として家族たちを、特に女性達を抑圧し、従属させて来たのである。その様相は、漱石の小説においても様々なかたちで書きこまれている。

また漱石は、その小説の対象の多くを明治時代の中流以上の家庭に限定して、主人公やヒロインの恋愛、友情、結婚、家庭生活の問題等から波及する物語として描いている。しかし、その裏面には経済問題や社会状況からの影響が周到に張り巡らされており、登場人物たちの心を揺さぶり、その行動や将来を変えさせるほどの力をもっている。本稿では、特に漱石の小説の描かれた結婚や離婚に注目し、主人公やヒロインの行動や人生の選択を「所有」というキーワードで読み解いていきたい。

II. 美と所有をめぐる

『坊っちゃん』や『虞美人草』のような漱石の初期の作品で問題になるのは、ヒロインの結婚をめぐる争いである。

「まだ御存知ないかなもし。こゝらであなた一番の別嬪さんぢやがなもし。あまり別嬪さんぢやけれ、学校の先生方はみんなマドンナマドンナと言ふといでるぞなもし。まだ御聞きんのかなもし」

<中略>

「其マドンナが不慥なんですかい」

「其マドンナさんが不慥なマドンナさんでな、もし」 (七)

『坊っちゃん』のマドンナは、顔を持たない。語り手にして主人公の「おれ」が「美人の形容などができる男ではないから」である。しかし、『坊っちゃん』の世界の中学教師たちは西洋美術に関する教養があり、松山の四十島の「傘の様に開いて」繁る松を眺めては「ターナーの画にありさうだ」と評したりしている。そのことから、読者は彼らがマドンナと騒ぐ女性の姿を、たとえばラファエロの描く聖母子像のマリアのような美しさではないかと想像するのである。

その美しいマドンナをめぐる、松山では坊ちゃんが赴任する前から騒ぎが持ち上がっていた。もともとは英語教師のうらなり君とマドンナの婚約は、松山藩の士族であった父が決めた家同士の結びつきであった。しかし、父が亡くなり、人の好いうらなり君が騙されて先祖代々の財産を失うと、その婚約は履行されなくなる。ちょうどその頃、よそ者ではあるが帝国大学出身の文学士である教頭の赤シャツが「交際」としてマドンナの家を頻繁に訪問し、すっかりマドンナやその母の気持ちを自分の方に靡かせてしまったのである。坊ちゃんや山嵐は憤慨するが、赤シャツは教頭という職権を利用して恋敵のうらなり君を延岡へと転任させてしまう。だが、赤シャツはマドンナを裏切って芸者買いをしていることが露見し、坊ちゃんと山嵐に成敗されることになるのである。

その後、「坊っちゃん」である「おれ」がマドンナの物語を語ることはない。『坊っちゃん』は度々映画化、ドラマ化されているため、マドンナが赤シャツを見限りうらなり君と旅立つ等のストーリーの改変も時々見受けられるが、⁽³⁾ 小説の中のマドンナはおそらく赤シャツと結婚するだろう。坊ちゃんと山嵐は赤シャツを成敗し、松山を去ったが、二人の行為は「警察へ訴へ」られる可能性があるものであった。赤シャツの不品行の証拠が二人の目撃証言のみである以上、赤シャツが負ったのは身体的苦痛だけであり、彼の身分・職業には何の影響も与えないからである。

また、松山の士族出身のうらなり君との婚約を破り、よそ者の学歴エリートである赤シャツと結婚するマドンナという存在は非常に明治らしい出来事として読者には捉えられていたであろう。というのも、三百年以上続いた封建社会においてはありえない破約と婚姻であったからだ。それを可能にしたのは、明治4年の「華族ヨリ平民ニ至ルマデ互ニ婚姻スルヲ許ス」という太政官布告であった。⁽⁴⁾ 封建的身分社会を打破し、四民

平等を実現し、国民国家の創設のために優秀な人材を育成しようとする新政府の政策は、満天下の若者たちには歓喜の声をもって受け入れられた。そして、始まったのが制定されたばかりの学校教育制度における熾烈な学歴資本の獲得競争である。『坊っちゃん』にはその勝者である赤シャツ、敗者である山嵐とうらなり、そして物理学校出身の中級エリートである「坊っちゃん」といった三者三様の明治の青年たちが書き込まれているのである。⁽⁵⁾

しかし、漱石の文学にはこの学歴資本の獲得競争に勝利しながらも、官僚にも資本家にもならず、社会に積極的に働きかけようとししない男性が数多く描かれている。特に中期や後期の作品においては、東京帝国大学をはじめとする最高の教育を受けた学歴エリートたちが様々な理由から無為徒食のまま歳月を送り、周囲の人々や家族を悩ませたり、怒らせたりする様子が繰り返し語られる。職業作家としての漱石の最初の連載小説である『虞美人草』でも同様であり、ヒロインである藤尾の兄甲野欽吾は、東京帝国大学で哲学を専攻しながらも卒業後二年が経過しても何もせず、高等遊民として日々を過ごしている。そして、『虞美人草』においては『坊っちゃん』とは異なり、美と才知と富が結びついたヒロインとして藤尾が造型されており、藤尾の結婚と甲野家の相続問題が関連して事件が起こるというストーリーになっている。

藤尾は若く美しい女性であるだけでなく、物語の冒頭部からプルタルコスの『英雄伝』の英訳本の一節を読みながら登場し、「紫の女」「クレオパトラ」「女王」としてのイメージが重ね合わされて語られる、開明的な才知にもあふれた華やかな存在である。一緒に『英雄伝』を読む英語の家庭教師は、東京帝国大学で純文学を専攻して恩賜の銀時計を拝領するほどの優秀な成績で卒業し、現在は博士論文を執筆中の学歴エリートの小野清三である。藤尾の父は外交官であったが、4ヶ月程前に外国で亡くなり、兄である欽吾がその長子として家督と財産をすべて相続した。普通の家庭ならば、もうすぐ24歳の藤尾は相応の良家へ嫁に行くべきであるが、藤尾の母は後妻であり、欽吾にとっては継母である。欽吾に世話になることに不安を感じる藤尾の母は、表向きは欽吾を立てながら、本心では藤尾に婿を取って甲野家を継がせたいと考えている。また藤尾は、子供の頃から父の金時計を玩具にして来た。その金時計を与える相手を、つまりは自分の夫を自分で選びたいと考えているのである。

しかし、その結婚相手を小野と考えた時から藤尾の不幸は始まっていたのである。実は、小野は京都で苦学をしていた頃に世話になった恩師井上孤堂の娘小夜子と内々の婚約を交わしていた。小野は、美と富貴に恵まれた藤尾と許婚の小夜子の間で苦しむ。藤尾は、真面目な学者の小野を「高尚な詩人です」「趣味を解した人です。愛を解した人です。温厚の君子です」と信じ切っていたが、小野は藤尾の美しさだけでなく、その富の持つ力に幻惑されているのである。

詩人程金にならん商売はない。同時に詩人程金の入る商売もない。文明の詩人は是非共他の金で詩を作り、他の金で美的生活を送らねばならぬ事となる。小野さんがわが本領を解する藤尾に頼たくなるのは自然の数である。あすこには中以上の恒産があると聞く。腹違の妹を片付けるに只の筆筭と長持で承知する様な母親ではない。殊に欽吾は多病である。実の娘に婿を取って、かゝる気がないとも限らぬ。折々に、解いて見ると、わざとらしく結ぶ辻占があたればいつも吉である。急いては事を仕損ずる。小野さんは大人なしくして事件の発展を、自ら開くべき優曇華の未来に待ち暮らしてゐた。(十二)

小野の目の前に開かれつつある「優曇華の未来」とは、詩人として何不自由なく「美的生活」を送れる中流以上の財産を所有している、甲野家の娘である藤尾との結婚であろう。藤尾が、女王クレオパトラのイメージと重ね合わされて語られている理由もそこにある。クレオパトラとは美と共にあらゆる富と権力を所有する女性であり、そのような女性に愛されるということは、その恩恵に浴することを意味するのである。

しかし、このような小野の思い描く未来も、自らの夫を選ぼうとする藤尾の意志も、「道義」を重んじる男性同士の紐帯によって、無残に打ち碎かれることになる。漱石の初期の小説の特色である勧善懲悪を目指すストーリーにおいては、意中の恋人を得るのも、財産を「所有」することになるのも、「道義」に叶う人間なのである。小野は、藤尾ほど美しくはないが、心優しい娘である小夜子の許に戻り、「道義」に背いた藤尾は死を与えられることになる。そして、藤尾の母は自分の犯した罪を悔いて欽吾に謝罪し、「道義」の価値を説き、悲劇の意味を語る彼の言葉によって物語は閉じられるのである。

しかし、このような悲劇が起こった背景には戸主が亡くなった場合、その配偶者にも長子以外の子どもにも財産の相続を全く認めない、明治民法の存在がある。明治31年に公布・施行された明治民法においては、すべての国民は戸主あるいは家族として「家」に所属することとされた。また戸主は「家」の代表者であり、戸主の地位と「家」の財産は一体であって、相続の際には前戸主のすべての権利・義務が、単独相続により新戸主に相続された。また戸主には家族を身分的に統制するために、家族に対する居所指定権とそれに伴う離籍権、婚姻・養子縁組に関する同意権とそれに伴う離籍権・復籍拒絶権、入家・去家についての同意権等の戸主権が与えられていた。また一方で、戸主は家族に対する扶養義務を負った。⁽⁶⁾ これほど戸主の権利が強固であり、配偶者や第二子以降の遺産相続がまったく認められない明治民法下においては、藤尾の母のように、先妻の息子である欽吾に扶養されるのを不安視して実の娘に婿を取らせたいと願うのも、無理からぬことであっただろう。⁽⁷⁾

また、新戸主が誕生すれば家族は再編されることとなり、実の兄妹であっても「家」

からは次々と排除されていくことになる。戸主の義務である家族の扶養にはもちろん戸主の所得の多寡という経済的な限界があり、特に女子は「片付ける」ために他家へ嫁がされることが多かった。たとえば父から長男の一郎へと戸主が移行する時期を迎えている『行人』の長野家では、一郎たちの妹であるお重は実の母からも早く「片付けたい」対象として見られているし、『三四郎』のヒロイン美禰子の唐突な結婚は兄が「近々結婚」するためであっただろう。

前述したように美禰子は、上京して間もない三四郎が東京帝国大学の池で出会った若く美しい女性である。同窓生である兄の繋がりで、三四郎の同郷の帝国大学理科大学の野々宮宗八や私淑することになる広田先生とも親しく、「本郷文化圏」⁽⁸⁾の華とも言えるような美しさと英語や芸術を理解できるような教養を兼ね備えた女性である。三四郎は出会ったその瞬間から美禰子に心を奪われていくが、どうやら彼女は野々宮との関係に悩んでいたらしい。野々宮を「責任を逃れたがる人」と述べる美禰子は自分のことを「お貰いをしない乞食」「迷子」「迷羊」と評する。両親がいないとはいえ、帝国大学法科大学出身の兄と「本郷文化圏」の瓦葺の門のある西洋間付きの家に住み、自分の名義の銀行預金まで所有しているような女性でさえ自らの将来に迷い、野々宮の妹よし子に求婚していたはずの「背のすらりと高い細面の立派な人」との結婚を決断してしまうのだ。

日本人として初めて海外留学をした女性達である津田塾大学の創立者、津田梅子や大山巖元帥の妻であった捨松と親しく、二度来日し、華族女学校や東京女子高等師範学校等で英語を教えた経験を持つアメリカ人女性アリス・メイベル・ベーコンは、『明治日本の女たち』を著し、次のように述べている。

日本の少女たちは十六歳くらいになると、嫁に行くのが当然とされる。「この男性と結婚したい」「この男性は嫌だ」などと主張する自由はたいてい許されるが、結婚そのものを拒否することはできない。相手を決めるのに時間をかけて、選り好みすることのも好ましくない。結婚せずに、生涯独身で過ごすという選択肢は、本人にもその両親にも存在しない。女性にとって結婚は死と同じく自然なもので避けられないのだ。だから、若い女性に許されている自由は、ひどく不幸になりそうな結婚だけは避けることができるという程度のものだ。⁽⁹⁾

また、ベーコンは上記のように述べながらも「何とか我慢できそうな相手であれば、それで十分だと考えられる」とも述べている。つまり、親同士が決めてしまう場合もあれば、男性が結婚相手を選ぶ場合もある。しかし、女性が結婚相手を選ぶことは非常に難しく、拒否権も場合によっては認められないということなのだ。そして、女性は結婚

すれば夫の「家」に入り、夫およびその家の戸主の命令にはほぼ従わなくてはならない。明治民法下において女性は、無能力者と同様に夫の管理下に置かれ、結婚前から所有していた財産の所有権は認められるものの、その管理・運用は夫が行うべきものとされ、また夫婦の間に生まれた子どもの親権も母ではなく、父のみに認められていたのである。⁽¹⁰⁾

美禰子のモデルとされている平塚らいてうが、日本女子大学校における奥田義人博士の民法の講義で上記の事実を知り、「主として親族篇と相続篇に規定された女性（妻および母）の地位の惨めさを知っておどろいた」のは有名な逸話である。⁽¹¹⁾ 漱石の弟子であった森田草平と起こした心中未遂事件から、小説の中では無意識に男性を誘惑する「無意識の偽善」アンコンシマス・ヒボクリットを行う官能的な女性として描かれた、⁽¹²⁾ らいてうはやがて女性の人権を主張し、婦人参政権の実現を願う女性解放運動の先駆者となっていく。明治民法下での結婚制度に疑義を抱いていた、らいてうは長い生涯を共にする伴侶となった奥村 博と出会っても自らの考えを貫き、二十年以上も事実婚を続けた。⁽¹³⁾

しかしながら、多くの女性にとって幸せとは言えない現実が待つ結婚を美禰子は選択したのである。お茶の水女学校、日本女子学校を卒業した才媛であり、テニス等のスポーツも得意であったらいてうをモデルとした美禰子は、同じように美しく才知には富んでも『虞美人草』の藤尾とは全く違った魅力をたたえている。小麦色の肌をして、日本人離れした二重の深い眸を持ち、「素直な足を真直に前へ運ぶ」女性。もしも後の時代に生まれていたら、彼女の前には様々な道が開かれていたであろうはずなのに、それは唐突に閉じられてしまう。

原口さんの画は出来上がった。丹青会は之を一室の正面に懸けた。

<中略>

美禰子は夫に連れられて二日目に来た。原口さんが案内をした。「森の女」の前へ出た時、原口さんは「何うです」と「二人」を見た。夫は「結構です」と云つて、眼鏡の奥からじつと眸を凝らした。

「此団扇を翳して立つた姿勢が好い。流石専門家は違ますね。能く茲所に気が付いたものだ。光線が顔へあたる具合が旨い。陰と日向の段落が確然して —— 顔丈でも非常に面白い変化がある」

「いや皆御当人の御好みだから。僕の手柄ぢやない」

「御蔭さまで」と美禰子が礼を述べた。

「私も、御蔭さまで」と今度は原口さんが礼を述べた。

夫は細君の手柄だと聞いて左も嬉しさうである。三人のうちで一番鄭重な礼を述べたのは夫である。

(十三)

「団扇を翳して立った姿勢」は、画家の原口からモデルを依頼された時に美禰子自身が提案したものである。それは三四郎と、そしておそらくは野々宮とも出会った「この顔の年、この服装の月、この髪の日が一番好きだから」、絵画に残そうとしたと考えられる。しかし、その美禰子の青春の形見ともいうべき絵姿も3人の会話の中では夫の所有物として回収されてしまう。美禰子は「金縁の眼鏡を掛けた」「背のすらりと高い細面の立派な人」の法律上の妻となったのだ。

III. 裁かれる愛

漱石は結ばれることのない恋人たちや愛の不在に苦しむ夫婦ばかりを好んで描いたのだろうか。『門』の宗助と御米夫婦は次のように語られている。

宗助と御米は仲の好い夫婦に違なかつた。一所になつてから今日迄六年程の長い月日をまだ半日も気不味く暮した事はなかつた。言逆に顔を赤らめ合つた試は猶なかつた。二人は呉服屋の反物を買つて着た。米屋から米を取つて食つた。けれども其他には一般の社会に待つ所の極めて少ない人間であつた。彼等は、日常の必要品を供給する以上の意味に於て、社会の存在を殆んど認めてゐなかつた。彼等にとつて絶対に必要なものは御互丈で、其御互丈が、彼等にはまた充分であつた。彼等は山の中にある心を抱いて、都会に住んでゐた。(十四)

「二人」は幸せなのだろうか。「御互丈」が「必要」で社会から隔絶し、「山の中にある心を抱いて、都会に住んでゐる」生活から充足感や幸福感は得られるのだろうか。そして、「仲の好い夫婦」と語り手が語る「宗助と御米」は、本当に愛し合っているのだろうか。

東京帝国大学法科大学出身の兄を持つ良家の子女であつた美禰子とは違い、『門』のヒロインの御米の出自は不明である。『門』の主人公の野中宗助は、「相当に資産のある東京ものの子弟として」京都帝国大学での青春を謳歌していた。その学友であつた安井は福井出身であつたが、夏休み明けに再会した時一人の物静かな若い女性を伴っていた。それが、御米である。安井は御米を自分の妹だと宗助に紹介したが、その後の彼らの世間を憚るような様子が「果たして本当に妹だろうか」という疑いの念を宗助に起こさせる。宗助の疑いは正鵠を射ており、石原千秋はおそらく「女学生」であつた御米と安井は横浜で知り合い、「駆け落ちに近い形で京都に逃れて来て、内縁関係に留まっている可能性が高い」と述べている。⁽¹⁴⁾

また、藤井淑禎の述べるように御米を玄人の女性として見る論も存在する。藤井はそ

の論拠として『門』の書かれた時期に注目し、その新聞連載の始まる半年ほど前の明治42年秋に漱石が親友の中村是公の招きで中国東北部・朝鮮半島へ旅行した後に書かれた小説であるから、彼が当地で目にした風物がこの作品には生かされており、それが御米の造型にも影響を与えたのだと指摘している。実際に『満韓ところどころ』の記述にもあるように、満韓旅行において「漱石としてはかつてないほど多くの接客業の女性たちと遭遇した」、その女性たちとの会話や目にした風俗が御米の造型に影響を与え、初対面の宗助に対して「若い女に有勝の嬌羞」を見せず、彼と恋に落ちて内縁の夫を裏切り、2度までも駆け落ちするような女性を描かせたというのである。⁽¹⁵⁾

藤井の玄人説を裏付けるかのように、御米が宗助と出会う前に、安井と暮らし始めた京都の借家について次のような記述がある。

それは京都に共通な暗い陰気な作りの上に、柱や格子を黒赤く塗って、わざと古臭く見せた狭い貸家であった。門口に誰の所有とも付かない柳が一本あつて、長い枝が殆ど軒に触りさうに風に吹かれる様を宗助は見た。(十四)

たとえば『それから』で平岡夫婦が入居するような東京の「貸家」とはまったく異なる描写である。それは単純に、京都と東京の風俗の違いを知らせているのと同時にその中に居る「影の様に静かな女」を暗示しているのだともいえよう。「古臭い」「柱や格子」、そして「柳」はやはり花柳界の女性を連想させるだろう。しかし、次の場面で宗助は、「垣根に沿うた小さな梅の木」から「其静かなうちに忍んでゐる若い女の影」を「想像」する。その「想像」の冷めやらぬうちに、「宗助は突然御米を紹介されたのである」。友人安井の「妹」として紹介された御米は、安井と同郷の越前ではなく「横浜に長く」いたのだという。安井自身も一時期横浜に暮らし経験があり、そのため「言葉や様子は毫も東京ものと異なる点」はない男であった。

「誰の所有とも付かない柳」と「小さな梅の木」のどちらが、御米のイメージによりふさわしいのであろうか。しかし、どちらにせよ小説『門』の中には御米の出自の決め手となる記述はなく、御米の過去は空白のままである。また宗助の側と違って、その両親や兄弟の有無、親類や友人のことなども何一つ語られないのである。その上、この小説の中で最も重要なことの一つであるのに、同様に全く語られないのは、なぜ御米がおそらく駆け落ちまでして暮らし始めた安井との生活を捨てて宗助を選んだのか、ということなのだ。

「誰の所有とも付かない柳」であるかのように、安井は正式に御米を妻に迎える気がなかったのであろうか。それとも「よく何処かに故障の起る」安井よりも、「身体が丈夫」で「楽道家」で「若い世をのびのびと」渡る宗助に御米は憧れや頼もしさを感じたので

あろうか。いずれにせよ語り手は、「二人」が結ばれた経緯を「大嵐は突然不用意の二人を吹き倒した」としか語らないのである。「突然」、「大嵐」のように「二人」を襲った恋に対する御米の躊躇や宗助の抑えきれぬ恋情といった心境は全く語られず、その事に対する「二人」の言説を取り上げることもない。そして、語り手は「二人」の罪の深さとその影響の大きさを提示する。「二人が起き上がった時は何処も彼所も既に砂だらけで」「世間は容赦なく彼等に徳義上の罪を背負した」のである。

曝露の日がまともに彼等の眉間を射たとき、彼等は既に徳義的に痙攣の苦痛を乗り切つてゐた。彼等は青白い額を素直に前に出して、其所に焰に似た烙印を受けた。さうして無形の鎖で繋がれた儘、手を携えて何処迄も、一所に歩調を共にしなければならない事を見出した。彼等は親を棄てた。親類を棄てた。友達を棄てた。大きく云へば一般の社会を棄てた。もしくは夫等から棄てられた。学校からは無論棄てられた。たゞ表向丈は此方から退学した事になつて、形式の上に人間らしい迹を留めた。是が宗助と御米の過去であつた。 (四)

語り手は「二人が」失つたものを述べ立てているが、おそらくこの恋によって「棄てた」ものの多さは宗助の方が上であつただろう。宗助は京都帝国大学の学生であつた頃、彼の「前途」に「棚引いて」いた「洋々の二字」を失つた。官界とも実業界とも関係のない、ただ御米と共に生きのびるための「瘦所帯」を張るための仕事に京都から離れた広島で就くしかなかった。父からは「廢嫡に迄されかゝつた」。そして、それは半年後に父の死を迎えた時にも暗い影を落とすことになる。遺産の管理や売却を頼んだ叔父に横領され、その叔父の死後は叔母によって遺産相続の件は有耶無耶にされてしまうのだ。

前節で述べたように、明治民法の規定によれば嫡出子で長男である宗助は本来ならば父の遺産すべてを受け継ぎ、また弟小六の扶養の義務を負うはずであつた。しかし、「宗助の邸宅」を売却して残った「四千五百円とか四千三百円」は、叔父によって「小六の財産」として残される過程で「神田の賑やかな表通りの家屋に変形」し、「まだ保険を付けないうちに、火事で焼けて」全て無くなつてしまったというのである。宗助は、「あんな事をして廢嫡に迄されかゝつた奴だから、一文だつて取る権利はない」とする叔父の考えから起こった出来事であつたという。その上、叔母は宗助が葬儀の後に「小六の学資として叔父に預けて行つた千円」は、「あれこそ本当に小六が使つちまつた」と言い、「叔父に保管を頼んだ書画や骨董品」は「真田とかいう懇意の男」に「売捌方」を頼んだが、「飛んだ馬鹿な目に逢つて」持ち逃げされてしまったと説明するのである。宗助は「叔母の仕打に、是と云ふ目立つた阿漕な所も見えない」と思いながらも、「此方にも云ひ分はあるが、云ひ出せば、とゞの詰まりは裁判沙汰」であると御米には告げ

る。父の遺産をめぐる叔父の処置に関する叔母の説明が一見情理を尽くしているようには見えながら、実は法的な正当性を欠くものであることを宗助も承知しているのである。それを糺すためには法の力を借りるしかないが、証拠が充分ない以上は諦めるしかない。宗助は早々に結論づける。新戸主である宗助に受け継がれるべき、父の遺産は叔父によって市場原理の働く世界に持ち出されて貨幣に変換され、従弟の安之助の事業の資本金五千元へと流通してしまったのである。⁽¹⁶⁾

そして、宗助に残された唯一の父の形見は「屏風が一つ」だけであった。

納戸から取り出して貰って、明るい所で眺めると、慥かに見覚のある二枚折であった。下に萩、桔梗、芒、葛、女郎花を隙間なく描いた上に、真丸な月を銀で出して、其横の空いた所へ、野路や空月の中なる女郎花、其一と題してある。宗助は膝を突いて銀の色の黒く焦げた辺から、葛の葉の風に裏を返してゐる色の乾いた様から、大福程な大きな丸い朱の輪郭の中に、抱一と行書で書いた落款をつくづくと見て、父の生きてゐる当時を憶ひ起さずにはゐられなかつた。 (四)

しかし、その屏風は狭い宗助の借家の座敷に置いては「場塞げで」「寧ろ邪魔な装飾」となってしまう。「真丸な縁の焼けた銀の月と、絹地から殆ど区別出来ない様な穂芒の色を眺めて、こんなものを珍重する人の気が知れないと云う様」であった御米は、ある日夫から「抱一の名」とその「画の価値」を聞かされて「道具屋」に売ることを思いつく。「抱一の屏風」を「道具屋」に鑑定してもらった御米は、宗助に「売つちや不可なくつて」と無邪気に尋ねるが、「折角親爺の記念だと思つて」叔母から屏風を取り返して来た宗助は複雑な思いを抱く。

けれども親から伝はつた抱一の屏風を一方に置いて、片方に新しい靴及び新しい銘仙を並べて考へて見ると、此二つを交換する事が如何にも突飛で且滑稽であつた。 (六)

抱一の屏風を売却しようとする御米の行為は、モノの交換価値を利用して市場で流通させ、利益を得ようとする宗助の叔父の行為と通底している。広島で「瘦所帯」を張っていた頃からおそらく質屋等に出入りして「大分経験を積んだ御蔭」かもしれないが、屏風を道具屋に値踏みさせる御米の行為は、宗助にとっては唯一の代替性のきかないモノを市場原理にさらされるという行為なのだ。石原千秋は、宗助が「＜家＞への執着を隠し持って」いることを指摘し、「御米は、屏風売却の発案者として、自ら知らずに内部から＜家＞をこわす力を働かせていたのである」と述べている。⁽¹⁷⁾

しかし、抱一の屏風の話はそれでは終わらない。崖上の家の住人であり、宗助たちの借家の家主でもある坂井家に屏風は買い取られ、宗助の前に再び現れるのである。屏風をじっと見つめたまま何も話さない宗助の様子を「ある程度の鑑賞家」と誤解した坂井家の主人は、「抱一の屏風」について批評する。

主人はやがて宗助の後に回って来て、指で其所此所を指しながら、品評やら説明やらした。其中には、さすが御大名丈あつて、好い絵の具を惜気もなく使ふのが此画家の特色だから、色が如何にも美事であると云ふ様な、宗助には耳新らしいけれども、普通一般に知れ渡った事も大分交つてゐた。(九)

坂井による「抱一の屏風」への批評には、二つの事実が見え隠れしている。一つ目は御米には「絹地から殆んど区別出来ない様な穂芒の色」が「斯んなものを珍重する人の気が知れない」と見えていたのに対して、坂井には「色が如何にも美事」に見えるということだ。漱石の小説には男性間のホモ・ソーシャルな関係が良く描かれているが、女性には理解できない書画骨董を愛でるという共通の趣味によってその絆が意識されたり、親密度が増す場合が見られる。⁽¹⁸⁾ 坂井と宗助の場合も同様で、この「抱一の屏風」を仲立ちとしてそれまではほとんど共通項のなかった二人の交流が深まっていくのである。「一般の社交」を嫌い、「個人としての朋友も多くは求めなかった」「孤独な宗助」にとって「坂井だけは取除」であり、御米との恋によって断ち切られた社会との繋がりの一部が修復されていくのである。

そして、二つ目は「さすが御大名丈あつて、好い絵の具を惜気もなく使ふのが此画家の特色」という「宗助には耳新らしいけれども、普通一般に知れ渡った事」である。「抱一」や彼の作品に対して「昔し父から聞いた覚のある、臆気な記憶」しか持たなかった宗助とは違い、坂井は「抱一」が江戸時代に活躍した絵師には珍しく上流武士階層の出身であることを知っており、宗助に話したに違いない。「抱一」は雅号であり、本名は酒井忠因、父は姫路酒井家初代藩主酒井忠恭の嗣子忠仰であり、宝暦11(1761)年に江戸の酒井家の別邸で生まれた。父母は早逝したため、七歳年上の兄である忠似が安永元(1772)年に家督を継いで第二代藩主となった。忠似は多芸多才で武道だけでなく、茶の湯、俳諧、絵画に至るまで一流の師に学んだ。兄弟は師を同じくしたため、抱一も若い頃から絵画は狩野永徳孝信、俳諧は馬場尊義という優れた師に学ぶことができた。忠似には持病があったようで、嫡子の忠道が成人するまでは抱一は酒井家内において藩主にもしものことがあった場合の後継者と見做されていた。しかし、甥の忠道が成長するとその地位を譲って同格の格式の大家の養子となることを促されるが、抱一は全く別の道を選んだ。寛政9(1797)年に築地本願寺にて出家し、表向きは浄土真宗の僧

侶となり、実際は市井へ出て文化人として生きることを決意したのである。酒井家の中屋敷を出て江戸市中に暮らし、町人や下流武士の文化人と交わりながら、やがて俳諧と絵画に長けた江戸の文化人の一人として頭角を現していくのである。⁽¹⁹⁾

「坂井」と「酒井」。同じ音を持つ苗字は偶然であろうか。坂井による「抱一の屏風」への批評にわざわざ「大名」の文字を忍ばせているところを見ると、そうではあるまい。階級を横断することになった文化人、抱一の「大名」としての生まれを喚起させる仕掛けとして「屏風」は「坂井」の所有にならなくてはならなかったのだ。幕府の要職を務めるような「大名」の一族から市井の絵師・俳人への転身の物語は、古ぼけた「剥げた屏風」の印象と相まって「没落」もしくは「大名」家からの排除や追放を感じさせるだろう。そのような「抱一の屏風」の物語への回路が「さかい」という名なのである。

そして、それは宗助というよりも、代助の物語に酷似している。『それから』『門』に『三四郎』を加えて三部作と見做す批評は根強いが、特に『それから』『門』の設定には共通点が多い。宗助に突き付けられた「抱一の屏風」の物語は、長井家の後継者のスベアとして次男坊の生をいきる『それから』の代助と、⁽²⁰⁾ 兄の誠吾、甥の誠太郎との関係を表すかのようだ。『それから』の物語の時間において大学を卒業してからというもの、「趣味の審判者」として「親の金とも、兄の金ともつかぬものを使つて」「高等遊民」の生活を送っていた代助はそろそろ三十代を迎えようとしており、甥の誠太郎は十五歳になっているからである。また、宗助も代助もその恋によって「家」からの放逐だけではなく、階級の転落を味わう点でも共通している。つまり、「抱一の屏風」は一方では坂井と宗助を結びつける機能を有しており、また一方では宗助に失われた過去とその階級からの転落を喚起させる記号ともなっているのである。

また、確かに御米が苦しい家計を少しでも助けるために「抱一の屏風」を売り払ったという行為は、宗助と御米の「家」を壊す力に繋がっていく。何故ならば宗助はこの後、交流を深めた坂井の家でもう一つの物語を持つモノと出合うからだ。それは坂井の弟が満州で蒙古人から譲り受けた「錦の袋に這入った一尺ばかりの刀」であった。蒙古で「冒険者」として暮らしている弟が突然日本に帰って来て、兄に「蒙古王」との商談を持ちかけたのである。坂井の弟は土産に「蒙古刀」と「蒙古人の天幕に使ふフェルト」をくれ、「向から一所に來た」友人を兄に紹介したがっているのだという。その友人の名は安井であった。「元は京都大学にゐた」という出自からも、紛れもなく御米を争ったあの安井であったのだ。

宗助は、坂井に見せられた「蒙古刀」に何を見たのだろうか。刀は武器であり、血と力を秘めている。弟を評した「冒険者」という言葉の響きは、当時の大陸にいたという馬賊たちの荒々しい生活を匂わせ、「一尺ばかり」もある「蒙古力」は宗助の罪を力づくで断罪するかのような輝きを放って彼の眼前に迫ってきたに違いない。それに耐えき

れなかった宗助は、坂井家の所有する崖下の家で営む御米との日常生活から逃れて、鎌倉の寺院での参禅に取り組むのである。そこで十日間もの間、粗食や粗末な寝具に耐えながら「心の実質」を太くし「自分を救ふ」ために「公案に向おう」と決心する。しかし、悟りを開くどころか、その糸口さえも掴むことが出来ずに修行に苦しみ続ける。また、その間中彼の心を悩ませ脅かしつづけたのは「父母未生以前」という公案のみならず「御米」と「安井」の存在であったのだ。

実際に安井に出会ったわけでも、直接何かを言われたわけでもない宗助が何故ここまで苦しんだのか。それは語り手が決して語らなかった安井から御米を奪った宗助の恋の顛末の中に隠されているのだろう。安井も宗助と同様に途中で大学を辞めて郷里に帰り、病気になり、そして満州へと渡ったのだという。御米を失ったことが、安井の人生をも狂わせ、宗助よりもひどい階級の転落を引き起こしている。その罪の深さに宗助は心底怯えたのであろう。しかし、不可解なのは、宗助は迷いながらも安井がすぐ近くに居ることを御米には全く打ち明けなかったのである。

柄谷行人によれば、「われわれがある女（または男）を情熱的に欲するのは、彼女（または女）が第三者によって欲せられているとき」だという。たとえば「代助の愛は、女がまさに他人の所有であるがゆえに高まったといえる」というのだ。⁽²¹⁾ とすれば、宗助の恐れは当時の安井の御米への愛の深さを知っていたからであろう。そして、その安井を裏切って彼の人生を狂わせた御米は、自らの人生も狂わせている。安井に対する罪の共犯者であり、この6年もの間「道義上切り離す事の出来ない有機体」となって共に生きてきた二人の間には間違いなく大きな亀裂が生じているのである。

物語の最後で、「御米は障子の硝子に映る麗らかな日影をすかして見て」、春の訪れを言祝ぐ。

「本当に難有いわね。漸くの事春になつて」と云つて、晴れ晴れしい眉を張つた。宗助は縁に出て長く延びた爪を剪りながら、

「うん、然し又じき冬になるよ」と答へて、下を向いたまゝ鋏を動かしてゐた。

（二十三）

周知の事実であるように春の次は夏であり、御米の言葉が季節の巡りについて述べたものであるのに対して、宗助は安井との再会という危機を乗り越えたことについて述べているのだ。そして、夫婦の姿勢は対照的である。宗助は縁側に蹲って顔を俯せて爪を切り、御米はうれしげに春の空を見上げている。安井との再会及び断罪という最悪の危機を偶然によって乗り越えた宗助は「是に似た不安は是から先何度でも、色々な程度に於て、繰り返さなければ済まない様な虫の知らせ」を感じている。この春が「小康」に

しか過ぎないことを「又ぢき冬になる」という言葉で表した宗助の真意は、御米に伝わることはないのである。⁽²²⁾

IV. 結婚という制度と恋愛

『それから』のヒロイン三千代は平岡という夫を持ちながらも、代助に惹かれていく。また、代助は三年振りに再会した亡友菅原の妹であり、またかつて自分が親友である平岡に妻として「周旋」した三千代について次のように考えている。

三千代が平岡に嫁ぐ前、代助と三千代の間柄は、どの位の程度迄進んでゐたかは、しばらく措くとしても、彼は現在の三千代には決して無頓着でいる訳には行かなかつた。彼は病気に冒された三千代をたゞの昔の三千代よりは気の毒に思つた。彼は小供を亡くした三千代をたゞの昔の三千代よりは気の毒に思つた。彼は夫の愛を失いつゝある三千代をたゞの昔の三千代よりは気の毒に思つた。彼は生活難に苦しみつつある三千代をたゞの昔の三千代よりは気の毒に思つた。 (十三)

『三四郎』において戯曲「オルノーコ」の科白として披露される「Pity's akin to love. (可哀想だた惚れたつて事よ)」という言葉を用いるまでもなく、同情が愛に変化していく様子が語られているのだろう。現在の三千代の境遇を何度も「気の毒」に思う代助は、まず彼女が苦しんでいる「経済問題」から救おうと努力する。「自分の勤めてゐる銀行の、京坂地方のある支店」に勤務していた頃に平岡が拵えた「五百円と少しばかり」の借金に苦しむ三千代を金銭的に援助しようとするのである。

しかし、裕福な長井家の次男であっても「親の金とも、兄の金ともつかぬものを使って」「高等遊民」の生活を送る代助は、纏まった額の金銭を得るための有効な手段を見出すことが出来ない。兄の誠吾にも嫂の梅子にも借金を断られ、「無能力な事は車屋と同等し」である事実を認識し始める。嫂の言葉によって無産階級の代表者である人力車の車夫と「今日に不自由のない」階級である自分が「無能力」である点では同格であると気づかされた代助はそのアイデンティティに揺らぎを感じる。まるで外界がそれに呼応したかのように、実家の嫂と別れてからの帰り道に代助は神楽坂で地震に遭うのである。

神楽坂へかゝると、寂りとした路が左右の二階家に挟まれて、細長く前を塞いでゐた。中途迄上つて来たら、それが急に鳴り出した。代助は風が家の棟に当る事と思つて、立ち留まつて暗い軒を見上げながら、屋根から空をぐるりと見廻すうちに、忽ち一種の恐怖に襲はれた。戸と障子と硝子の打ち合ふ音が、見る見る烈しくなつて、あゝ

地震だと気が付いた時は、代助の足は立ちながら半ば竦んでゐた。其時代助は左右の二階家が坂を埋むべく、双方から倒れて来るように感じた。(八)

『それから』のエンディングにおいて「赤い色」が「焰の息を吹いて」「くるくると回転」し始めるように、『それから』の物語世界は、代助の精神状態に呼応して変化を見せる。この場合も地震が契機となって「坂」を埋めるかのように、轟音と共に両側の建物が倒れこんで来るかのような錯覚を代助が感じたことが語られている。地震による建物の倒壊は人間の身体を押し潰すが、「地震が嫌」で「瞬間の動揺でも胸に波が立つ」代助は、一瞬の心象風景を現実世界における崩壊のように思い「一種の恐怖」を感じたのだらう。

そして、まるで余震のように起こる出来事はいわゆる「日糖事件」である。「砂糖を製造する会社の重役が、会社の金を使用して代議士の何名かを買収したと云ふ報知」を代助は新聞で知る。『それから』では簡潔に説明された「日糖事件」であるが、日本統治下にあった台湾に進出していた大日本製糖株式会社の取締役が自社に取って有利な「砂糖戻税法改正法案」及び「砂糖官営法案」の通過をはかるために、衆議院議員に賄賂を送り、会社に対して不正を働いた事件は、収賄容疑の代議士が20名にもおよび日糖の社長は自殺するという大規模な疑獄事件となった。⁽²³⁾ また、『それから』の物語世界において登場人物たちはこの「日糖事件」を繰り返し口にする。代助自身も、「日糖事件」を知るや否や、「自分の父と兄の関係している会社」にも同様のことが起こりかねないと考えているし、後に新聞社に入社した平岡はまるで脅迫するかのように「君の家の会社の内幕でも書いて御覧に入れやうか」「日糖事件丈ぢや物足りないからね」と代助に向かって云うのである。

「日糖事件」が象徴するように『それから』の背景にあるのは、日露戦争後の荒廃した世相である。代助が「敗亡の発展」と名付けたように、日露戦争を契機とする国内産業の発展により都市人口は急増して地価の高騰、地代の上昇を招き「粗悪な見苦しき構え」の「窮屈な家」が急増した。それだけではなく、代助の言う通り「道德の敗退も一所に来て」いた。たとえば地主が民法の規定を悪用して、地代の引上げ要求に応じない、借家経営を行う宅地賃借人の追出しをはかる事件さえ多発していた。民法の規定によれば「売買は賃貸借を破る」ことから、土地が売却されれば賃借権者は新地主からの土地明渡要求に従わざるを得ない。この点に着眼し、多くは仮装の売買を仕組んで賃借人に立ち退きを迫ったのである。⁽²⁴⁾ これを地震売買というが、日糖事件のみならずこのような不正が横行する社会を嫌悪して代助は「高等遊民」に甘んじているのであろう。彼が「日本の社会が精神的、徳義的、身体的に」「健全」さを失っており、「日本国中何所を見渡したつて、輝いてる断面は一寸四方も無いぢやないか」と断言するのも無理からぬ

ことではあった。

一方でまた、進展していく代助と三千代の恋は、代助に地主で高額納税者の佐川の娘との縁談を断らせる。この縁談こそは、「日露戦争後の商工業膨張の反動を受けて、自分の経営にかかる事業が不景気の極端に達している」ゆえに父が決めた「政略的結婚」であった。父は自分の携わる「実業なるものゝ困難と危険と繁劇と、それ等から生ずる当事者の心の苦痛及び緊張」を説いてから、「地方の大地主」の「一見地味であつて、其实自分等よりはずつと鞏固の基礎を有してゐる事」を述べ、「此比較を論拠として」代助に「今度の結婚」を受けるように勧める。しかし、代助は同様に地主の娘でありながら、「日露戦争の当時、人の勧に応じて、株に手を出して全く遣り損なつてから、潔く祖先の地を売り払つて、北海道へ渡った」父しか持たず、「親類はあれども無きが如し」である三千代を愛し続けるのである。

二人の恋が深まり、どうしても離れられなくなった時、代助は平岡に次のように告げる。

「君は三千代さんを愛してゐなかつた」と静かに云つた。

「そりや」

「そりや余計な事だけれども、僕は云はなければならない。今度の事件に就て凡ての解決者はそれだらうと思ふ」

「君には責任がないのか」

「僕は三千代さんを愛してゐる」

「他の妻を愛する権利が君にあるか」

「仕方がない。三千代さんは公然君の所有だ。けれども物件ぢやない人間だから、心迄所有する事は誰にも出来ない。本人以外にどんなものが出て来たつて、愛情の増減や方向を命令する訳には行かない。夫の権利は其所迄は届きやしない。だから細君の愛を他へ移さない様にするのが、却つて夫の義務だらう」

(十六)

代助の説く「心の自由」と夫婦愛の理想は美しい。しかし、これほど明治時代の結婚や妻の立場とかけ離れた言葉もないであろう。アリス・メイベル・ベーコンは「日本の夫婦関係に平等という概念はない」⁽²⁵⁾と述べているが、多くの女性にとって結婚は夫や夫の両親への従属と服従を意味しており、それは妻として家事一切を取り仕切るだけでなく、夫の理不尽な仕打ちや暴力、不貞等も受け入れることでもあった。また、現実的には三千代は「公然」として夫である平岡の「所有」であり、代助と三千代の恋は姦通罪に抵触する可能性がある。明治13年に公布された刑法によると「有夫の婦、姦通したる者は六月以上二年以下の重禁錮に処す。其相姦する者又同じ。此条の罪は本夫の告

訴を待て其罪を論ず」とある。⁽²⁶⁾ 同時に民法では妻の場合のみ姦通は無条件の離婚理由とされ、夫の不貞は法律のみならず社会的にも批判されないという、性の二重規範が強化されていった。⁽²⁷⁾ ただ三千代は心臓病を患っているから、二人の恋はプラトニックなものに過ぎず、たとえ平岡が告訴しても姦通罪としては成立しないであろう。しかし、代助の告白を聞いた平岡が行ったのは、告訴ではなく脅迫または強請といわれる類の行為である。代助の父に宛て息子が「親の名誉に関わる様な悪戯をしている」者と解釈されるような文章で、自分の「細君」とのこれまでの関係を書き送ったのである。

そして、代助の告白を受けて「どうも運命だから仕方がない」と一度は妻を譲ることを了承していたはずの平岡が前言を翻した理由は、『それから』の冒頭部から提示されていた借金問題であろう。平岡は銀行員として京坂地方に赴任していた時期に三千代との子供を失い、また続けて彼女は心臓を病んだために、おそらく妻としての務めを果たせなくなった。その時に続いた平岡の放蕩が原因で五百円もの借金が出来てしまい、銀行にもいられなくなったのである。代助が用意した「二百円」他の金は転居の費用や毎日の生活費等に使われてしまった。また、物語の後半では平岡は新聞社に再就職するが、様々な付き合いに忙しくて三千代にろくに生活費も渡さないのであるから、律儀に借財を返していつているとは思えない。つまり、「五百円と少しばかり」の借金はいまだに残っているのである。それを埋めてあまりある金を得る手立てを見つけたために、平岡は行動したのである。

平岡のみならず、『それから』の登場人物たちの様々な行動の原因は不思議なほど金銭に関する問題を孕んでいる。兄の去った後、代助は「僕は一寸職業を探して来る」と「日盛りの表」へ飛び出していくが、初めて自らの手で金銭を得るようになる時、代助がそれまで住んでいた「麴麴を離れ水を離れた」「贅沢な世界」はすべて「親の金とも、兄の金ともつかぬもの」によって長年支えられていたことを知るだろう。その世界の崩壊を目の当たりにしても三千代の「存在」を自分の「責任」として負うことが出来た時、代助の恋は本物となるのであろう。というのも、父との最後の会見を前にして代助は次のように考えていた。

最後に彼の周囲を人間のあらん限り包む社会に対しては、彼は何の考も纏めなかつた。事実として、社会は制裁の権を有してゐた。けれども動機行為の権は全く自己の天分から湧いて出るより外に道はないと信じた。かれは此点に於て、社会と自分との間には全く交渉のないものと認めて進行する気であつた。

代助は彼の小さな世界の中心に立つて、彼の世界を斯様に観て、一順其関係比例を頭の中で調べた上、

「善かろう」と云つて、又家を出た。

(十五)

代助は三千代との恋を「自然の命ずる通り発展」させる道を選ぶのであるが、語り手は代助がその「社会的危険を承知」していたとも語っていた。しかし、彼はいわゆる現実世界とは隔絶した「彼の小さな世界」に住んでいたのである。特に大学を卒業して以来、すなわちこの4、5年のもの間「自家特有の世界」で、「趣味の審判者」として「進化」し続けていた。そして、三千代との恋においても彼なりに「正当な道」を歩もうとしたのであるが、それは「彼の小さな世界」における道徳や信義に従ったものであり、現実の社会が要求する規範からは逸脱したものであった。おそらく、「地震」を恐れる「臆病」な代助の性質は、自らの「小さな世界」が父や兄によって支えられている脆く儚いものであること、「社会の制裁」を受けるまでもなく父からの「物質的供給の杜絶」によってたちまち崩壊するような、脆弱な基盤の上に成立した世界であることを心の何処かで認識していたからに違いない。

以上のように『それから』に描かれた代助と三千代との美しい恋愛の裏面には、驚くほど綿密に経済的な問題が張り巡らされている。「趣味の審判者」として代助が作り出す美しい「小さな世界」と日露戦争後の殺伐とした社会が対比的に描き出されているのである。

V. おわりに

妻の「心の自由」を説いた代助の言葉に、夫の平岡は「拳を握つて」「己を抑える様にして」耳を傾けていた。しかし、『行人』において漱石はまったく逆方向から「女の心」に対するアプローチを行っている。長野一郎は妻の不義を疑い、弟の二郎に対してメレディスの言葉を引用しながら、次のように告げる。

「おれが霊も魂も所謂スピリットも攫まない女と結婚してゐる事丈は慥だ」

「兄」(二十)

一郎は妻の本心が分からず、「居ても立ってもいられない」ほど苦しんでいた。妻である直は自分の「考え慣れた頭を逆に利用して」「わざと考えさせるように仕向けて来る」のだという。そして、その妻の心の中にいるのは「不幸にしてお前だ」と二郎に告げ、「直の節操を御前に試してもらいたい」という「驚く」ような要請を行うのである。

この場合の不義は、一郎も認めているように「何も文を拾つたとか接吻しているところを見たとかいう実証からきた話」ではなく、あくまでも心の中の問題である。正に、『新約聖書』の「マタイの福音書」にある「だれでも、情欲をいだいて女を見る者は、すでに心の中で姦淫を犯したのである」⁽²⁸⁾ という原始キリスト教の厳しい倫理観を踏襲する

かのような疑義であり、一郎の本心は妻の節操を試すというよりも、妻の心が自分になれば断罪したいのであろう。

また一方で、物語の冒頭部では二郎の友人の三沢の家で一時預かっていた「娘さん」のことが語られている。いわゆる出戻りであった「娘さん」は婚家で夫に苛め抜かれて「少し精神に異状を呈していた」。「黒い眉毛と黒い大きな眸」を持った「蒼い色の美人」であったその「娘さん」が不憫で三沢は忘れられないのだという。『行人』においても複数の結婚や夫婦のかたちが語られているが、特徴的であるのは「心」の問題を取り扱っているということだ。

多くの小説において、漱石は結婚や夫婦の幸せは描かなかった。徹底して男女の心の擦れ違いやその不幸を描いた作家だともいえる。宗助や代助は愛する女性を手に入れるが、その生活や前途は不安に満ちている。一郎は相応の家柄の美しい妻を迎えたが、結婚後何年経ってもその心を所有することは出来ない。そして、不幸なのは女性たちも同じなのだ。女性が生涯を通して続けられる職業に就くこと自体が難しく、その上結婚すれば夫婦間の不平等が著しい法制度の下「無能力」と規定されて財産も所有することができず、常に夫に依存して生きるしかない。一郎の妻の直はその不幸な結婚生活について、次のように述べている。

「男は厭になりさへすれば二郎さん見たいに何処へでも飛んで行けるけれども、女は左右は行きませんから。妾なんか丁度親の手で植付けられた鉢植のやうなもので一遍植られたが最後、誰か来て動かして呉れない以上、とても動けやしません。凝としてゐる丈です。立枯になる迄凝としてゐるより外に仕方がないんですもの」

「塵労」(四)

自らを「鉢植」と見做す女性の心境はいったいどのようなものであろうか。まだ二十代の若い女性の言葉とはとても思えない、未来や希望といったものを全く感じさせない悲しい言葉である。「誰か来て動かして」くれることを望んでいるようにも取れるし、「立枯」になる可能性を受け入れて全てを諦めてしまっているようにも受け取れる。当時の若い日本女性についてアリス・メイベル・ベーコンは次のように述べている。

しかし、ちょうど視野が広くなり、もっと知識を増やして自分を磨こうと思うようになった途端、さまざまな厳しい制限が課されるようになる。彼女の世界は徐々に狭められ、少しずつ苦労が増えていく。こうして、それまで人生は可能性に満ちていると感じ、喜びにあふれた将来を夢見ていた少女は、ほんの数年のうちに、疲れて意気消沈した女性になってしまうのだ。⁽²⁹⁾

正に美禰子から直、三千代への変貌を思わせるような同時代の言説である。明治という近代国家においては法の下での男女の不平等だけではなく、良妻賢母という社会的な規範も女性たちを縛っていた。⁽³⁰⁾しかし、漱石の文学に描かれた女性たちを抑圧する側であり、「所有」する者である男性たちもそれほど幸福そうではない。三千代との恋に殉じて「精神の自由」を説いた代助の「それから」は語られず、「世の中が真赤になり」彼が「自分の頭が焼け尽きる迄電車に乗って行かうと決心」するところで物語は終わる。恋する相手と結婚した宗助はやがてまた巡って来る人生の冬に怯えて蹲っている。封建制度が崩壊し、かつてないほど個人の権利が保障され、自由にモノと金が流通する資本主義経済の発展期にあっても、人はそう簡単に幸福を得ることはできない。しかし、そのような近代社会を反映した小説において、結婚という制度を通じて個人の幸福や精神の自由について表現した点に時代的な意義があったと考えられるのである。

〔注〕

- (1) 小風秀雅 編『日本の時代史23 アジアの帝国国家』（吉川弘文館 平成16年4月）
- (2) 編集代表 伊藤正己・園部逸夫『現代法律百科大辞典』第4巻（株式会社ぎょうせい 平成12年3月）
- (3) 2016年フジテレビ版新春ドラマスペシャル『坊っちゃん』では、エンディングが原作と異なり、マドンナは転勤する古賀（うらなり）と共に九州の延岡へと旅立って行く。
- (4) 明治4年8月23日に公布された「太政官布告 第四三七」には「華族ヨリ平民ニ至ル迄互婚姻被差許候条 双方願ニ不及其時々戸長へ可届出事」とあり、封建時代に存在していた身分による結婚の障壁が撤廃された（井ヶ田良治・山中永之佑・石川一三夫・岩村 等・中尾敏光編『史料 日本近代法』法律文化社 昭和58年6月）。
- (5) 小野一成は、学歴社会が形成されつつある明治時代後期において、東京物理学校をはじめとする理工系の実力ある各種学校の出身者は、トップエリートである帝大卒に次ぐ存在として認められるという「一種の社会的コンセンサスがあった」と述べている（小野一成『『坊っちゃん』の学歴をめぐる―明治後期における中・下流エリートについての一考察―』片岡 豊 小森陽一編『漱石作品論集成 第2巻 坊っちゃん・草枕』（株）桜楓社 平成2年12月）。
- (6) 山中永之佑編『日本近代法論』（法律文化社 平成7年5月）
- (7) 中山和子は『『虞美人草』は明治民法下の家督相続にからむ遺産相続小説』だと述べている。また夫を失った継母の身分が「人一倍」「不安定」であることを指摘している（『『虞美人草』―女性嫌悪と植民地―』中山和子著作集コレクション1 漱石・女性・ジェンダー』翰林書房 平成15年12月）。
- (8) 前田 愛「夏目漱石『三四郎』本郷」（『前田愛著作集 第5巻 都市空間のなかの文学』筑摩書房 令和元年7月）
- (9) アリス・メイベル・ペーコン著 矢口祐人・砂田恵里加訳『明治日本の女たち』（みすず書房 平成15年9月）
- (10) 同注（6）
- (11) 差波重紀子『平塚らいてう 信じる道を歩み続けた婦人運動家』（山川出版社 令和元年2月） 青木生子・岩淵宏子編『日本女子大学に学んだ文学者たち』（翰林書房 平成16年12月）
- (12) 『三四郎』執筆時に、漱石が「ゾーデルマンの『アンダイング・パスト』」のヒロイン「フェリシタス」を引き合いに出しながら、森田草平に向かって「僕は例の『無意識なる偽善者』を書いて見よう」と「串談半分」に述べたという談話が残されている（『文学雑話』『漱石全集』第25巻（岩波書店 平成8年5月））。

- (13) 1941年に平塚らいてうは、長男敦史が技術将校として入営するために現行の結婚制度への反感を捨てて、博と入籍した。そのような事実からも、また二人の子ども達のために婦人参政権運動から遠のいた時期があったことから、愛情深い母親としてのらいてうの一面が窺える。
- (14) 石原千秋「〈家〉の不在『門』」(『反転する漱石』増補版 青土社 平成28年10月)
- (15) 藤井淑禎「『門』の御米－満韓旅行の副産物」(成城大学文芸学部『成城文藝』第247号 令和元年4月)
- (16) 佐藤 泉「『門』－未発の罪についての法」(『日本近代文学』第52集 平成7年5月)
- (17) 同注(14)
- (18) 「ホモ・ソーシャル」とは社会学において男性同士の友情・絆が男女間の「ヘテロ・ソーシャル」な関係よりも優先されるという社会現象を指すが、たとえば『門』の坂井と宗助、『行人』の一郎と二郎、そして父と二郎の関係において、書画骨董等を通じて、その親密性を語ろうとする語り手の姿勢が見られる。
- (19) 井田太郎『坂井抱一 俳諧と絵画の織りなす抒情』(岩波書店 令和元年9月)
- (20) 石原千秋『漱石の記号学』(講談社 平成11年4月)
- (21) 柄谷行人「『漱石論集成』」(第三文明社 平成13年6月)
- (22) 『門』の末尾の宗助と御米の会話に関しては様々な解釈があり、たとえば柄谷行人は夫婦の会話が「平行線」で終わっていることに注目し、『道草』の末尾に「よく似て」おり、『門』は、漱石が中年の日常をはじめとらえた作品であるとしている(前掲書)。一方で、重松泰雄は、「あの宗助のことば」は『門』の結びとして、まことに象徴的なことばであり、「ありきたりの季節の運行を意味するもの」ではなく、「運命の厳かな支配」(十三)のごときものを示唆する言葉であると述べている(重松泰雄「『門』の意図」赤井恵子・浅野 洋『漱石作品論集成 第7巻 門』(株)おうふう 平成9年4月)。
- (23) 同注(6)
- (24) 同注(6)
- (25) 同注(9)
- (26) 総合女性史研究会編『時代を生きた女たち 新・日本女性通史』(朝日新聞出版 平成22年4月)
- (27) 同注(26)
- (28) 日本聖書刊行会『新約聖書』(『聖書』新改訳 いのちのことば社 平成20年1月)
- (29) 同注(9)
- (30) 小山静子『良妻賢母という規範』(勁草書房 平成3年10月)

〔附記〕 本文の引用は、『坊っちゃん』は『漱石全集』第2巻(岩波書店 平成14年5月)、『三四郎』は『漱石全集』第5巻(岩波書店 平成14年8月)、『それから』及び『門』は『漱石全集』第6巻(岩波書店 平成6年5月)、『行人』は『漱石全集』第8巻(岩波書店 平成14年11月)に拠る。引用に際して、ルビは適宜省略し、旧字は新字に改めた。

いじり、助言、陰口、愚痴、我慢における 行動選択と効果の認識との関連

瀧澤 純

要約

これまでの多くの研究では、他者の欠点に気づいたときの対処行動が包括的に扱われることがなく、未解明な点が残されていた。本研究は、いじり、助言、陰口、愚痴、我慢という5つの対処行動について、効果の認識を明らかにすることを目的として行った。友人の欠点に対する対処行動を仮想の場面から選択し、対処行動の効果の認識を回答する調査を行った。研究1は自由記述法による調査、研究2はリッカート法による調査を行った。結果、我慢はストレスが増加し、人間関係が悪化する対処行動であると認識されていた。我慢以外の4つの対処行動はストレスの増加と人間関係の悪化についての見込みが少ない対処行動であると認識されていた。重要な点として、選択した対処行動は、その対処行動に関する効果の認識と関連していた。これらから、いじめの防止と介入における、いじりなどの対処行動の有効性について考察を行った。

1. 問題と目的

人が他者の欠点に気づいたとき、その欠点をその他者本人に言うか言わないかという、ある種の選択が必要となる。本人に言うならば、冗談めかして指摘することも、欠点を直すように真剣に伝えることもできるであろう。本人に言わないならば、第三者に面白おかしく話すことも、第三者に真剣に話すことも、誰にも言わずにいることもできるであろう。

近年、他者の欠点に気づいたときの行動をどうとらえるべきかが議論になっている。瀧澤（2015）は、欠点について本人のいる場所で話題にするか本人のいない場所で話題にするかを第1の軸として、行動を選択する側が冗談になるようにして話題にするか冗談にならないように話題にするかを第2の軸として、行動を5つに分類している。これによると、本人のいる場所で冗談になるように話題にするのが「いじり」、本人のい

る場所で冗談にならないように話題にするのが「助言」、本人がいない場所で冗談にならないように話題にするのが「陰口」、本人がいない場所で冗談にならないように話題にするのが「愚痴」、話題にしないようにするのが「我慢」と、5つの対処行動を挙げている。

これまでの多くの研究では、これら5つの対処行動のいずれかが登場するものの、5つの対処行動すべてが扱われていない。対人コミュニケーション場面でのストレスに関する研究では、悪口（陰口）、愚痴、我慢が取り上げられているが（加藤，2000，2005，2008；町田，2009）、いじりや助言が扱われていない。ネガティブ・フィードバックに関する繁樹・村上（2008）では、助言が取り上げられているが、その他4つの対処行動は扱われていない。いじり、からかい、いじめについての差異を検討した望月・澤海・瀧澤・吉澤（2017）のように、近年はいじりが取り上げられているものの、この研究においてもその他4つが扱われていない。また、空気が読めない行動への対処について検討した小岩・小松・若島（2020）では、いじり、助言、我慢に該当する概念に関連する項目が存在するが、陰口と愚痴については項目に含めることができていない。

5つの対処行動すべてを扱った研究としては、前述した瀧澤（2015）、対処行動と自閉症スペクトラム指数との関連を明らかにした瀧澤（2018）がある。しかしこれらによってもなお、人が対処行動をどのような動機で選択して、対処行動によってどのような効果が生じて、次の対処行動の選択にどう影響するのかわかっていない。特に、効果が個人がどのように認識しているのかという点は、対処行動の結果予想が反映されているだけでなく、次の対処行動を選択する際の動機も反映されうる重要な要素である。そこで本研究では、個人が認識する対処行動の効果を「効果予測」と呼ぶ。そして本研究では、5つの対処行動全ての効果予測を捉え、比較することを重視して、調査によって検討を行う。これにより、対処行動を選択する際の動機についても考察を行う。

効果予測を明らかにすることは、応用的な意義もある。仲間外れにするなどの関係性攻撃は（e.g. 坂井・山崎，2004）、陰口の後に生じる可能性がある。陰口などの対処行動における効果予測を理解することによって、関係性攻撃の予防や介入をより適切に行うことができるであろう。また、個人が用いている対処行動が、効果予測とどのように関連するのかを理解すれば、個人に応じた介入を行うことも可能になる。しかし、前述のように、対処行動についての効果予測は十分に明らかにされていない。そこで本研究は、いじり、助言、陰口、愚痴、我慢という5つの対処行動について、効果予測を明らかにすることを第一の目的とする。そして、対処選択と効果予測の関連を明らかにすることを第二の目的とする。

2. 研究 1

2.1 目的

研究の第一の目的は、いじり、助言、陰口、愚痴、我慢という5つの対処行動について、効果予測を明らかにすることである。研究の第二の目的は、対処選択と効果予測の関連を明らかにすることである。

2.2 方法

2.2.1 調査対象者

東北地方の大学にて心理学の授業を受講している学生、計151名に調査への回答を依頼した。後述する質問紙の項目のうち、仮想の対処選択、理想の対処選択のうち1項目以上が未回答であった4名を除き、合計147名を分析対象者とした。効果予測にのみ未回答があった場合は、分析対象者に含めている。分析対象者の性別の内訳は男性96名、女性39名であった。年齢の平均値は19.87、標準偏差は0.95であった。

2.2.2 質問紙

質問紙を、仮想の対処選択、理想の対処選択、効果予測の順で構成した。

仮想の対処選択 場面も質問項目も瀧澤（2015）と同様であり、調査対象者自身が友人のAさんの落ち着きがないという欠点に対処する仮想の場面を用いた。なお、瀧澤（2015）ではこの課題の名称を「実際の対処選択」としていたが、場面を想定した仮の選択であるため、本研究での名称を「仮想の対処選択」と改めた。

調査対象者自身が想定場面のような状況にいる場合、どのような対処を行うかを尋ねた。質問の文言は「あなたが実際にこのような場面にあったとき、Aさんの嫌なところについて、あなたはどのように行動しますか。」とした。さらに、a～eの5種類の対処のうち、調査対象者自身が行うと思われるもの1つを選択するようにした。選択肢はaが「Aさんのいる場所で、冗談になるように、落ち着きがないことを話題にする（あなたとAさん以外の人もいる場合も含みます）…いじり、本人の前での冗談」、bが「Aさんのいる場所で、冗談にならないように、落ち着きがないことを話題にする（あなたとAさん以外の人もいる場合も含みます）…アドバイス、叱り、嫌味」、cが「Aさんのいない場所で、冗談になるように、落ち着きがないことを話題にする…陰での冗談」、dが「Aさんのいない場所で、冗談にならないように、落ち着きがないことを話題にする…愚痴、悩み相談」、eが「誰にも話題にしない…我慢する、独り言を言う」であった。これらの選択肢を読むことによって、5種類の対処の定義が調査対象者にとって明確になるようにした。以後、a～eの対処それぞれを、いじり、助言、陰口、愚痴、我慢とする。

理想の対処選択 仮想の対処選択と同様の方法で、理想とする対処を尋ねた。質問の

文言は「このような場面にあったとき、Aさんの嫌なところについて、どう行動すべきだと思いますか。あなたが実際にどうするかではなく、あなたにとっての理想を教えてください。」とした。

効果予測 5種類の対処それぞれへの効果の認識を検討するため、利点と欠点を尋ねた。回答は、文字を記入する自由記述法で行うようにした。

2.2.3 手続き

教室で一斉に、質問紙の配布を行った。回答を開始する前に、回答内容は学術的な目的でのみ使用すること、調査の結果は個人が特定できない形で公開されること、調査終了後であっても回答内容の削除を申し出ることが可能であること、研究に関する問い合わせ先を説明した。調査への参加は授業の成績などに関係がなく、回答を途中でやめることも未回答にすることも自由に行ってよいと伝えた。研究参加またはデータ使用に同意しない場合は、質問紙を白紙のまま提出するように依頼した。

2.3 結果

2.3.1 対処選択

仮想の対処選択における人数と割合は、いじりで51名（35%）、助言で25名（17%）、陰口で13名（9%）、愚痴で22名（15%）、我慢で36名（24%）であった。理想の対処選択における人数と割合は、いじりで51名（35%）、助言で62名（42%）、陰口で5名（3%）、愚痴で7名（5%）、我慢で22名（15%）であった。助言は仮想よりも理想として選択されていた。これは、瀧澤（2015）を追認する結果であった。

2.3.2 効果予測

調査対象者は5種類の対処それぞれについて利点と欠点を記述したため、調査対象者1名につき10個の記述があった。よって、分析対象者147名の記述1470個について分析を行った。最初に、著者がこれらの記述を類似性によって分類し、分類の名前を表すカテゴリーを作成した。その後、調査対象者1名の10個の記述それぞれが、各カテゴリーのうちどれに該当するかを判断した。カテゴリーの修正を行うたびに、この判断を修正した。なお、各カテゴリーに該当した人数を正確に集計するため、1個の記述の中に同一カテゴリーに該当する記述が2個以上あった場合も、1として数えた。

以上の分析から、効果予測についてのカテゴリーを「Aが改善」「Aが非改善」「ストレス減少」「ストレス増加」「Aと関係良化」「Aと関係悪化」「周囲と関係良化」「周囲と関係悪化」とした。また、効果予測ではないその他のカテゴリーを「冗談」「非冗談」「遠回し表現」「相談」とした。カテゴリー名と記述の例をTable 1に示す。

Table 1 効果予測とその他のカテゴリー名と記述の例

カテゴリー名	記述の例
効果予測	
A が改善	気付かせる、注意できる、指摘できる、変わる、第三者を通して伝わる
A が非改善	伝わらない、直らない、本気でとらえられない、悪化する、変わらない
ストレス減少	ストレス減少、ストレスなく、気持ちが楽に、自分がスッカリ
ストレス増加	ストレスが増す、不快になる、気が沈む、自分がパンク、情緒不安定
A と関係良化	仲が悪化しない、傷つけない、仲良く、ケンカならない、相手を考えて
A と関係悪化	傷つく、関係悪く、バカにされた、気にする、怒る、イライラ
周囲と関係良化	場の空気乱さない、周りが笑顔に、周囲が安心、周りを傷つけない
周囲と関係悪化	空気が悪くなる、悪い雰囲気になる、自分が悪くなる、自分の価値が下がる
その他	
冗談	冗談、笑い、明るい感じで、楽しい、話のネタ、盛り上がる、ふざけ
非冗談	冗談に聞こえない、いじめに、笑いにならない、からかわれ、ハブる
遠回し表現	軽く、やんわり、遠回しに、それとなく、本気でなく、間接的に
相談	共感してもらう、仲間ができる、協力してもらう、アイデアを得る

カテゴリーの判断基準について述べる。行動の主体や対象が不明確である場合には、5種類の対処のうちどの記述であるのかを判断材料として考慮して判断した。それでもなお行為の主体や対象が不明確である場合は、どのカテゴリーにも含めなかった。また、1個の記述が複数のカテゴリーに該当することがあった。例えば、陰口の欠点に「相手に伝わらない。万が一、相手の耳に入ると傷つけてしまう。」という記述がされていた場合、「A が非改善」と「A と関係悪化」の両方に該当すると判断した。さらに、未回答もあったため、合計人数は必ずしも分析対象者合計147と一致しない。

各カテゴリーに該当した人数を集計した (Table 2)。各対処行動で最も多く該当したカテゴリーをみると、いじりや助言によってAの欠点が改善する効果が、陰口や愚痴によってストレスが減少する効果が、我慢によってストレスが増加する効果が予測されていた。いじりと助言における「A が改善」の人数の差は42と大きく、いじりではAが改善しないという予測も69あったことから、Aが改善する効果を予測する記述はいじりより助言において多かった。また、いじりと助言ではAとの関係が悪化することが予測されており、その記述はいじりより助言で多かった。陰口や愚痴に大きな差はみられないが、調査用紙でも定義していた通りに、陰口は冗談、愚痴は相談に関する記述が多かった。我慢はAや周囲との関係を維持する、または関係を良くする効果を予測する記述が多かった。

Table 2 各対処行動の利点と欠点についてのカテゴリー該当人数

カテゴリー名	いじり		助言		陰口		愚痴		我慢	
	利点	欠点	利点	欠点	利点	欠点	利点	欠点	利点	欠点
効果										
A が改善	70	0	112	1	5	22	6	28	1	1
A が非改善	0	69	0	2	17	34	11	29	6	17
ストレス減少	4	0	2	0	37	0	59	0	5	0
ストレス増加	0	0	0	5	0	4	1	5	6	96
A と関係良化	35	1	8	0	15	1	10	1	77	1
A と関係悪化	0	52	1	104	0	31	1	21	0	5
周囲と関係良化	14	0	0	0	5	0	1	0	49	0
周囲と関係悪化	0	0	1	8	2	19	3	32	0	1
その他										
冗談	34	15	0	0	26	3	0	0	1	0
非冗談	0	18	2	0	0	13	0	4	0	0
遠回し表現	33	0	0	0	3	0	0	0	0	0
相談	0	0	0	0	12	0	38	1	0	0

2.3.3 対処選択と効果予測

各対処行動で最も多く該当したカテゴリーの該当人数が、対処選択によって変化していたかを検討する。そのために、クロス集計表を作成して、Fisherの直接確率計算（片側検定）を行った。作成したクロス集計表は、仮想の対処選択（いじり、その他4種類）×いじりの利点でAが改善（該当、非該当）、仮想の対処選択（助言、その他4種類）×助言の利点でAが改善（該当、非該当）、仮想の対処選択（陰口、その他4種類）×陰口の利点でストレス減少（該当、非該当）、仮想の対処選択（愚痴、その他4種類）×愚痴の利点でストレス減少（該当、非該当）、仮想の対処選択（我慢、その他4種類）×我慢の欠点でストレス増加（該当、非該当）の5つであった。結果、すべての分析で、仮想の対処選択と効果予測との有意な関連はみられなかった（ $ps > .221$ ）。

理想の対処選択についても同様の分析を行った。その結果、理想の対処選択と効果予測との有意な関連がみられたのは、理想の対処選択（助言、その他4種類）×助言によってAが改善（該当、非該当）のみであった（ $p = .046$ ）。理想の対処選択として助言を選択した場合、その他4種類の対処行動を選択した場合に比べて、助言によってAが改善するという記述が多かった。その他4つの分析では、理想の対処選択と効果予測との有意な関連はみられなかった（ $ps > .181$ ）。

2.4 考察

研究1の第一の目的は、いじり、助言、陰口、愚痴、我慢という5つの対処行動について、効果予測を明らかにすることであった。結果から、5つの対処行動には特徴がみられた。本研究の効果予測は該当する記述をした調査対象者の数にすぎないが、人が実際に行う対処選択もこれらの予測に基づいていると推察できる。例えば、いじりと助言は相手の欠点の改善と相手との関係の悪化を予測して行われ、いじりより助言にて改善への効果を強く予測して行われるであろう。陰口や愚痴はストレス減少を予測して行われるが、人づてに相手に伝われば相手との関係が悪化すること、話の聞き手となった周囲の人との関係が悪化する懸念を感じて行われるであろう。我慢はストレスが増加するが、相手とも周囲とも関係維持ができると予測して行われるであろう。

研究1の第二の目的は、対処選択と効果予測の関連を明らかにすることであった。しかし、研究1からは、対処選択と効果予測の関連がみられたのは1つのみであった。この理由としては、実際に関連がないことが結果に反映された可能性と、研究1における方法の問題があった可能性がありうる。方法の問題として、研究1では各効果がどの程度あてはまるのかの該当性が測定できておらず、効果に該当する記述をした調査対象者の数を集計したのみであった。そこで、研究2では質問項目への該当性を量的に評価するために、リッカート法を用いる。研究1での記述には行動の主体や行動の対象があいまいであるものがみられたため、主体と対象を明確にした質問項目を作成する。

3. 研究2

3.1 目的

研究の目的は、研究1と同様である。ただし、研究1では自由記述法によって回答を求めたが、研究2ではリッカート法によって回答を求める。

3.2 方法

3.2.1 調査対象者

東北地方の大学と短期大学にて心理学の授業を受講している学生、計148名に調査への回答を依頼した。後述する質問紙の項目のうち、仮想の対処選択、理想の対処選択、効果予測のうち1項目以上が未回答であった18名を除き、合計130名を分析対象者とした。分析対象者の性別の内訳は男性89名、女性41名であった。年齢の平均値は19.69、標準偏差は2.04であった。

3.2.2 質問紙

質問紙を、仮想の対処選択、理想の対処選択、効果予測、AQ尺度の順で構成した。

対処選択は研究1と同様の方法で行ったが、効果予測は研究1とは異なる方法で尋ねるようにした。AQ尺度は、若林・東條・Baron-Cohen・Wheelwright (2004) による50項目を使用した。以降の分析では使用していないため、割愛する。

効果予測 対処がどのような効果を生じさせるかについて尋ねた。対処それぞれについて6項目に回答するようにした。調査では回答時間を15分以内に抑える必要があったため、項目を限定した。研究1の「各対処行動で最も多く該当したカテゴリー」から項目1「◎の行動をすると、Aさんの嫌なところが改善する。」、項目2「◎の行動をすると、自分のストレスが減る。」、項目3「◎の行動をすると、自分のストレスが増える。」の3項目を作成し、項目4「◎の行動をすると、Aさんとの関係が悪くなる。」、項目5「◎の行動をすると、Aさん以外の周囲の人との関係が悪くなる。」、項目6「◎の行動をすると、Aさん以外の周囲の人との関係が良くなる。」という3項目を加えた。これら6項目それぞれを5種類の対処について尋ねるために、◎には5つの対処行動のうちいずれかを示すようにした。よって、効果予測6項目×対処5種類となり、合計は30項目であった。回答は「そう思わない (0)」、「わずかにそう思う (1)」、「ややそう思う (2)」、「かなりそう思う (3)」、「非常にそう思う (4)」の5件法で行った。

3.2.3 手続き

研究1と同様に行った。

3.3 結果

3.3.1 対処選択

仮想の対処選択における人数と割合は、いじりで61名 (47%)、助言で10名 (8%)、陰口で12名 (9%)、愚痴で23名 (18%)、我慢で24名 (18%) であった。理想の対処選択における人数と割合は、いじりで50名 (38%)、助言で54名 (42%)、陰口で8名 (6%)、愚痴で7名 (5%)、我慢で11名 (8%) であった。研究1と同じく、助言は仮想よりも理想として選択されていた。

3.3.2 効果予測

効果予測30項目の平均値と標準偏差をTable 3に示す。対処行動 (5種類) による項目の平均値の差を検討する1要因分散分析を行った。その結果、すべての項目で対処行動による差がみられた ($F_s(4, 516) > 15.70, ps < .001$)。Bonferroni法による多重比較の結果をTable 3に示す。

Table 3 効果予測の平均値（標準偏差）

項目	対処行動					多重比較
	いじり	助言	陰口	愚痴	我慢	
1 Aさんの嫌なところが改善する。	1.66 (0.97)	2.46 (1.16)	0.46 (0.80)	0.56 (1.02)	0.36 (0.90)	助 > い > 陰愚我
2 自分のストレスが減る。	2.16 (1.11)	2.16 (1.34)	2.16 (1.15)	2.46 (1.16)	0.46 (0.91)	い助陰愚 > 我 愚 > 陰
3 自分のストレスが増える。	1.16 (1.12)	1.36 (1.16)	0.86 (1.04)	0.96 (1.09)	2.86 (1.38)	我 > い助陰愚 助 > 陰愚
4 Aさんとの関係が悪くなる。	1.16 (1.09)	2.16 (1.22)	1.56 (1.31)	1.56 (1.35)	0.96 (1.38)	助 > 陰愚い我 陰 > い我 愚 > 我
5 Aさん以外の周囲の人との関係が悪くなる。	0.86 (1.01)	1.46 (1.15)	1.26 (1.12)	1.36 (1.18)	0.66 (1.13)	助陰愚 > い我
6 Aさん以外の周囲の人との関係が良くなる。	1.26 (1.10)	1.26 (1.19)	1.36 (1.06)	1.46 (1.16)	0.56 (0.93)	い助陰愚 > 我

3.3.3 対処選択と効果予測

仮想の対処選択によって項目の平均値の差がみられるかを検討するために、片側検定の t 検定を行った。研究1と対応する分析のみ報告する。仮想の対処選択でいじりを選択した場合、いじりを選択しない場合に比べて、項目1「Aさんの改善」をより高く評価していた ($t(128) = 2.27, p = .012$)。仮想の対処選択で助言を選択した場合、助言を選択しない場合に比べて、項目1「Aさんの改善」をより高く評価していた ($t(128) = 1.71, p = .045$)。仮想の対処選択で愚痴を選択した場合、愚痴を選択しない場合に比べて、項目2「自分のストレス減少」をより高く評価していた ($t(128) = 1.76, p = .040$)。陰口と我慢に関しては、有意な差はみられなかった (陰口: $t(128) = -.80$, 我慢: $t(128) = -.12$, n. s.)。

理想の対処選択でも同様の分析を行ったところ、理想の対処選択でいじりを選択した場合、いじりを選択しない場合に比べて、項目1「Aさんの改善」をより高く評価していた ($t(128) = 2.42, p = .001$)。助言、陰口、愚痴、我慢に関しては、有意な差はみられなかった (助言: $t(128) = .10$, 陰口: $t(128) = -1.16$, 愚痴: $t(128) = 1.51$, 我慢: $t(128) = 0.44$, n. s.)。

3.4 考察

研究2の第一の目的は、いじり、助言、陰口、愚痴、我慢という5つの対処行動について、効果予測を明らかにすることであった。研究1と同様に、研究2においても、5

つの対処行動には特徴がみられた。本研究の結果から、人が実際に行う対処選択もこれらの予測に基づくと推察できる。研究1と同様に、いじりと助言は相手の欠点の改善を予測して行われ、いじりより助言にて改善への効果を強く予測して行われるであろう。また、助言は相手との関係の悪化を予測して行われるであろう。いじり、助言、陰口、愚痴は自身のストレス減少を予測して行われるが、我慢はストレス増加を予測して行われるであろう。助言、陰口、愚痴は周囲との関係が悪くなることが予測される一方で、関係が良くなることも予測して行われるであろう。

研究2の第二の目的は、対処選択と効果予測の関連を明らかにすることであった。仮想の対処選択によって差がみられた3つの項目と、理想の対処選択によって差がみられた1つの項目は、自身が選択した行動の利点が高く評価されていた。対処選択は、対処行動の効果の認識と結びついていると考えられる。

4. 総合的考察

研究1と研究2より、5つの対処行動の効果予測を明らかになった。研究1では自由記述法、研究2ではリッカート法という異なる回答方法を用いたが、多くの結果が共通していた。研究結果に一定の信頼性があると考ええる。

研究の結果から、我慢とその他4つの対処行動は、ストレスと人間関係についてトレードオフの関係になっており、対処行動は目的に応じて使い分けられていることが推察される。すなわち、我慢を選択する場合はストレスが増加するリスクを受け入れるかわりに、人間関係が悪化するリスクを避けることができる。また、我慢以外の対処行動を選択する場合はストレスが増加するリスクを避けることができるかわりに、人間関係が悪化するリスクを受け入れることになる。また、このようなトレードオフの関係から、ストレスがすでに高い人物では、いじり、助言、陰口、愚痴の行動選択が起こりやすいと予測できる。いじり、助言、陰口、愚痴がより強い攻撃に変化すると仮定すれば、本研究はストレスが高い人物が攻撃やいじめに及ぶ仕組みを間接的に示したといえる。

本研究は、いじめ防止教育やいじめ発生後の介入への示唆を与えるものである。文部科学省（2021）によると、いじめ被害者のうち「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。」のような言葉によるいじめを経験した割合は、小学校で57.9%、中学校で63.2%、高等学校で61.0%、特別支援学校で51.2%となっており、すべての学校種で半数を超え、いじめの種類としては最も多い。このようないじめの加害者への介入を行うとき、加害者から被害者への攻撃行動を別の行動へと置き換える方法がありうる。本研究から、助言と陰口と愚痴に比べて、いじりは相手や周囲との関係が悪化するリスクが少ないため、置き換える行動としてはいじりがより適切だと考えられる。いじめ防止のために、教育場面でいじりを利用できる可能性が提示されているが（大石・大石、

2019；瀧澤，2019，2021）、本研究はこれらの補強となるであろう。ただし、本研究で扱っていない場面、例えば、他者への欠点への認識が特にないが周囲に同調していじめを行っている場合など、全てのいじめ場面でいじりへの置き換えが適切となるのかはわからない。今後の検討が必要である。

最後に、陰口がストレス解消の効果をもつなど、本研究の多くの結果は常識の範囲を出ていないかもしれない。しかし、これら効果を数値化し、共通性や相違性の程度を明確にしたという点で、本研究の意義があると考ええる。

付記

本稿の研究2は、AQ尺度と対処行動の関連を検討した瀧澤（2018）、学校でのいじりといじめの役割を検討した瀧澤（2019）で報告されている調査と同一である。ただし、本稿の研究2は、異なる分析を行っている。

引用文献

- 加藤司（2000）. 大学生用対人ストレスコーピング尺度の作成 教育心理学研究, 48, 225-234.
- 加藤司（2005）. 失恋ストレスコーピングと精神的健康との関連性の検証 社会心理学研究, 20, 171-180.
- 加藤司（2008）. 対人ストレスコーピングの基本次元の検証—対人ストレスコーピング尺度と失恋ストレスコーピング尺度— 東洋大学人間総合研究所紀要, 8, 171-182.
- 小岩広平・小松眞峰・若島孔文（2020）. 現代青年の友人集団における「空気」を読めない言動への対処行動 心理学研究, 91, 312-322.
- 町田佳世子（2009）. コミュニケーション能力、ストレス対処、意欲の関連 札幌市立大学研究論文集, 3, 35-44.
- 望月正哉・澤海崇文・瀧澤純・吉澤英里（2017）. 「からかい」や「いじめ」と比較した「いじり」の特徴 対人社会心理学研究, 17, 7-13.
- 文部科学省（2021）. 令和2年度児童生徒の問題行動・不登校答生指導上の諸課題に関する調査
- 大石由紀子・大石英史（2019）. いじめ問題における「いじり」概念に関する考察—いじめ未然防止教育の観点から— 山口県立大学学術情報, 12, 39-49.
- 坂井明子・山崎勝之（2004）. 小学生用P-R攻撃性質問紙の作成と信頼性、妥当性の検討 心理学研究, 75, 254-261.
- 繁榊江里・村上史朗（2008）. 安全マネジメントにおけるネガティブ・フィードバックの効用 —対人コミュニケーションの観点からのアプローチ— 実験社会心理学研究, 48, 52-62.
- 瀧澤純（2015）. 他者の欠点に気付いたときの行動選択—いじりか、助言か、陰口か、愚痴か、我慢か— 総合研究（ノースアジア大学総合研究センター紀要）, 3, 187-196.
- 瀧澤純（2018）. 自閉症スペクトラム障害傾向と他者の欠点への対処との関連 総合研究（ノースアジア大学総合研究センター紀要）, 6, 187-198.
- 瀧澤純（2019）. 「いじり」が「いじめ」につながる可能性 教育心理学年報, 59, 267-268.
- 瀧澤純（2021）. いじめ・非行に気づき関わる 村上香奈・山崎浩一（編著） 子どもを支援する教育の心理学 ミネルヴァ書房, 135-146.
- 若林明雄・東條吉邦・Baron-Cohen, S.・Wheelwright, S.（2004）. 自閉症スペクトラム指数（AQ）日本語版の標準化：高機能臨床群と健常成人による検討 心理学研究, 75, 78-84.

執筆者紹介（掲載順）

- | | |
|---------|-----------------------|
| 成 島 出 | 「いのちの停車場」 監督 |
| 橋 本 五 郎 | ノースアジア大学 客員教授 |
| 福 岡 政 行 | ノースアジア大学総合研究センター 客員教授 |
| 光 田 基 郎 | ノースアジア大学経済学部 教授 |
| 橋 元 志 保 | ノースアジア大学法学部 教授 |
| 瀧 澤 純 | ノースアジア大学法学部 准教授 |

総合研究 第 10 号

2022年（令和4年）3月31日発行

編集・発行 ノースアジア大学総合研究センター
秋田市下北手桜守沢46-1
TEL 018-836-6592 FAX 018-836-6530
URL <http://www.nau-grc.jp>

印刷 秋田活版印刷株式会社
秋田市寺内字三千刈110-1
電話 018-888-3500



General Research

The 10th issue

March, 2022

CONTENTS

Lectures

Dialogue between Mr. Izuru Narushima, Filmdirector and
Tadayoshi Michihata, New Director of General Research Center..... Narushima Izuru

How Will Japanese Politics Change ? Hashimoto Goro

Look Back Japan2020! – unpredictable Year – Fukuoka Masayuki

Prospects of japan2021!? – Olympic is holding –..... Fukuoka Masayuki

Politics and economy of Japan under corona bruise
– lack of man power in post suga cobrimets – Fukuoka Masayuki

Dissolution and general election
– what it will be japanese politics and next prime minister? –
..... Fukuoka Masayuki

Articles

Facilitative effects of TOM and analogy use on understanding
the recursive plots of picture-books. Mitsuda Motoo

An Essay of Marriage and Divorce in the Novels by Soseki
Natsume from the Viewpoint of Love and Ownership Hashimoto Shiho

Relationship between Action Selection and Effects Perception for
Ijiri, Advice, Backbiting, Grumble, or Patience Takizawa Jun



North Asia University General Research Institute
Akita, Japan

